

# 平成18年 人口動態統計月報年計(概数)の概況

目　次		頁
調査の概要		1
結果の概要		
1 結果の要約		2
2 出生		4
(1) 出生数		4
(2) 合計特殊出生率		6
3 死亡		8
(1) 死亡数・死亡率		8
(2) 死因		10
4 婚姻		14
5 離婚		16
統計表		
第1表 人口動態総覧の年次推移		20
第2表 人口動態総覧(率)の年次推移		24
第3表 出生数の年次推移, 母の年齢(5歳階級)別		28
第4表 出生数の年次推移, 出生順位別		28
第5表 死亡率(人口10万対)の年次推移, 性・年齢(5歳階級)別		29
第6表 死亡数・死亡率(人口10万対), 死因簡単分類別		32
第7表 死因順位(1～5位)別死亡数・死亡率(人口10万対), 性・年齢(5歳階級)別		36
第8表 人口動態総覧, 都道府県(16大都市再掲)別		42
第9表 人口動態総覧(率), 都道府県(16大都市再掲)別		44
第10表 主な死因の死亡数・死亡率(人口10万対), 都道府県(16大都市再掲)別		46
参　考		
合計特殊出生率について		48
人口動態総覧(率)の国際比較		52
分母に用いた人口		52

厚生労働省大臣官房統計情報部

担当係：人口動態・保健統計課 月報調整係

電話：03-5253-1111 (内線7476)

          03-3595-2813 (ダイヤル)

この概況資料は、厚生労働省ホームページに掲載しています。

掲載場所：「統計調査結果」→「最近公表の統計資料」→「平成18年人口動態統計月報年計(概数)の概況」

(URL) <http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/geppo/nengai06/index.html>

# 調 査 の 概 要

- 1 調査の目的 我が国の人口動態事象を把握し、人口及び厚生労働行政施策の基礎資料を得ることを目的とする。
- 2 調査の対象及び客体 「戸籍法」及び「死産の届出に関する規程」により届け出られた出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の全数を対象としているが、本概況では平成18年に日本において発生した日本人の事象を客体とした。
- 3 調査の期間 平成18年1月1日～平成18年12月31日
- 4 調査の方法 市区町村長は、出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の届書に基づいて人口動態調査票を作成する。
- 5 報告の系統
 

市区町村	—	保 健 所	—	都 道 府 県	—	厚 生 労 働 省
		└─┬─┘				
		保健所を 設置する市		・特別区		
- 6 結果の集計 集計は、厚生労働省大臣官房統計情報部で行った。

## 利用上の注意

- 1 印刷公表している人口動態統計の資料は次のとおりである。

<p>人口動態統計速報 数値：調査票を作成した数</p> <p>集計客体：日本における日本人及び外国人、並びに外国における日本人 いずれも前年以前発生のものを含む</p> <p>公表：毎月 (調査月の約2か月後)</p>	<p>人口動態統計月報 数値：概数</p> <p>集計客体：日本における日本人 (前年以前発生ものを除く)</p> <p>公表：毎月 (調査月の約5か月後)</p> <p>※ <span style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">：毎年(年間合計) (調査年の翌年6月)</span></p>	<p>人口動態統計年報 数値：確定数 (概数に修正を加えたもの)</p> <p>集計客体：日本における日本人 (日本における外国人、外国における日本人及び前年以前発生ものは別掲)</p> <p>公表：毎年(調査年の翌年9月)</p>
--	---	--

※本概況は中央の破線の部分である。

- 2 表章記号の規約
 

計数のない場合	—
統計項目のありえない場合	・
計数不明又は計数を表章することが不適切な場合	…
比率が微小(0.05, 0.00005未満)の場合	0.0, 0.0000
減少数(率)の場合	△

なお、掲載の数値は四捨五入してあるので、内訳の合計が「総数」に合わない場合がある。
- 3 用語の説明
 

自 然 増 加：出生数から死亡数を減じたもの

乳 児 死 亡：生後1年未満の死亡

新 生 児 死 亡：生後4週未満の死亡

早期新生児死亡：生後1週未満の死亡

死 産：妊娠満12週以後の死児の出産

周 産 期 死 亡：妊娠満22週以後の死産に早期新生児死亡を加えたもの

合計特殊出生率：その年次の15歳～49歳までの女子の年齢別出生率を合計したもので、1人(期間合計)の女子が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子ども数(特殊出生率)に相当する。(実際に1人の女子が一生の間に生む子ども数はコーホート合計特殊出生率である。)
- 4 この概況で使用した数値は、平成17年以前は確定数である。
- 5 昭和47年以前は沖縄県を含まない数値である。昭和19～21年は資料不備のため省略した。
- 6 都道府県別の表章は、出生は子の住所、死亡は死亡者の住所、死産は母の住所、婚姻は夫の住所、離婚は別居する前の住所による。

## 結果の概要

### 1 結果の要約

#### (1) 出生数は増加

出生数は109万2662人で、前年の106万2530人より3万132人増加し、出生率（人口千対）は8.7で、前年の8.4を上回った。

出生数を母の年齢（5歳階級）別にみると、減少を続けていた20歳代は20～24歳が増加に転じ、25～29歳の減少幅が前年の1割に縮小し、前年減少した30～34歳が再び増加に転じた。

また、出生順位別にみると、いずれの出生順位も減少を続けていたが、すべて増加に転じた。

#### (2) 死亡数は増加

死亡数は108万4488人で、前年の108万3796人より692人増加し、死亡率（人口千対）は8.6で前年と同率となった。

死因別にみると、死因順位の第1位は悪性新生物、第2位は心疾患、第3位は脳血管疾患となっている。全死亡者に占める割合はそれぞれ、30.4%、15.9%、11.8%であり、死亡者のおよそ3人に1人は悪性新生物で死亡したことになる。

#### (3) 自然増加数は増加

出生数と死亡数の差である自然増加数は8174人で、前年の△2万1266人より2万9440人増加し、自然増加率（人口千対）は0.1で、前年の△0.2を上回り、いずれも、前年は、統計の得られていない昭和19年から21年を除き、現在の形式で調査を開始した明治32年以来初めてマイナスとなったが、本年は再びプラスとなった。

出生数が死亡数を下回った県は前年と同じ36道府県であり、出生数が死亡数を上回った県は、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、愛知県、滋賀県、大阪府、兵庫県、福岡県、沖縄県の11都府県となっている。また、16大都市別にみると、出生数が死亡数を下回ったのは静岡市、京都市、大阪市、北九州市の4市となっている。

#### (4) 死産数は減少

死産数は3万912胎で、前年の3万1818胎より906胎減少し、死産率（出産（出生＋死産）千対）は27.5で、前年の29.1を下回った。死産率のうち、自然死産率は11.9で、前年の12.3を下回った。人工死産率は15.6で、前年の16.7を下回っており、低下幅は自然死産率より大きい。人工死産率は概数による率のある昭和23年を除き最低となった。

(5) 婚姻件数は増加

婚姻件数は73万973組で、前年の71万4265組より1万6708組増加し、婚姻率（人口千対）は5.8で前年の5.7を上回った。

平均初婚年齢は夫、妻ともに上昇傾向となっており、平成18年は夫30.0歳、妻28.2歳で、夫、妻ともに前年より0.2歳上昇している。

年齢（5歳階級）別にみた妻の5年初婚率（女子人口百対。概ね、5年以内に未婚から初婚となる割合（%）を表す）は、20～24歳は前年の横ばいから上昇して17.4となり、25～29歳、30～34歳、35～39歳はいずれも前年に続き上昇して、それぞれ、30.8、12.9、3.9となっている。

(6) 離婚件数は減少

離婚件数は25万7484組で、前年の26万1917組より4433組減少し、離婚率（人口千対）は2.04で、前年の2.08を下回った。

表1 人口動態総覧

	実 数			1) 率		平均発生間隔	
	平成18年	平成17年	対前年増減	平成18年	平成17年	平成18年	平成17年
出 生	1 092 662	1 062 530	30 132	8.7	8.4	分 秒 29"	分 秒 30"
死 亡	1 084 488	1 083 796	692	8.6	8.6	29"	29"
乳児死亡	2 863	2 958	△ 95	2.6	2.8	183' 35"	177' 41"
新生児死亡	1 444	1 510	△ 66	1.3	1.4	363' 59"	348' 5"
自然増加	8 174	△ 21 266	29 440	0.1	△ 0.2	…	…
死 産	30 912	31 818	△ 906	27.5	29.1	17' 0"	16' 31"
自然死産	13 419	13 502	△ 83	11.9	12.3	39' 10"	38' 56"
人工死産	17 493	18 316	△ 823	15.6	16.7	30' 3"	28' 42"
周産期死亡	5 096	5 149	△ 53	4.6	4.8	103' 8"	102' 5"
妊娠満22週以後の死産	4 043	4 058	△ 15	3.7	3.8	130' 0"	129' 31"
早期新生児死亡	1 053	1 091	△ 38	1.0	1.0	499' 9"	481' 46"
婚 姻	730 973	714 265	16 708	5.8	5.7	43"	44"
離 婚	257 484	261 917	△ 4 433	2.04	2.08	2' 2"	2' 0"

	平成18年	平成17年
合計特殊出生率	1.32	1.26

注：1) 出生・死亡・自然増加・婚姻・離婚率は人口千対。乳児・新生児・早期新生児死亡率は出生千対。死産率は出産（出生+死産）千対。周産期死亡率及び妊娠満22週以後の死産率は出産（出生+妊娠満22週以後の死産）千対である。

## 2 出生

### (1) 出生数

平成18年の出生数は109万2662人で、前年の106万2530人より3万132人増加した。

第1次ベビーブーム期(昭和22~24年)に生まれた女性が出産したことにより、46~49年には第2次ベビーブームとなり、1年間に200万人を超える出生数であった。50年以降は毎年減少し続け、平成4年以降は増加と減少を繰り返しながら、ゆるやかな減少傾向であったが、平成13年から5年連続で減少し、平成18年は6年ぶりに増加し、平成16年に次ぐ出生数となった。(図1)

出生率(人口千対)は8.7で、前年の8.4を上回った。

出生数を母の年齢(5歳階級)別にみると、平成18年は19歳以下、25~29歳、45歳以上の階級で減少となったが、25~29歳の減少幅は前年の約1割に縮小しており、減少を続けていた20~24歳が12年ぶりに増加に転じ、前年減少した30~34歳が再び増加に転じた(表2-1)。

出生順位別にみると、いずれの出生順位についても平成13年から5年連続で減少し、平成18年は6年ぶりに増加しており、第1子1万2162人、第2子9222人、第3子以上8748人の増加となっている(表2-2)。

第1子出生時の母の平均年齢は上昇傾向にあり、平成18年は29.2歳である(表3)。

図1 出生数及び合計特殊出生率の年次推移

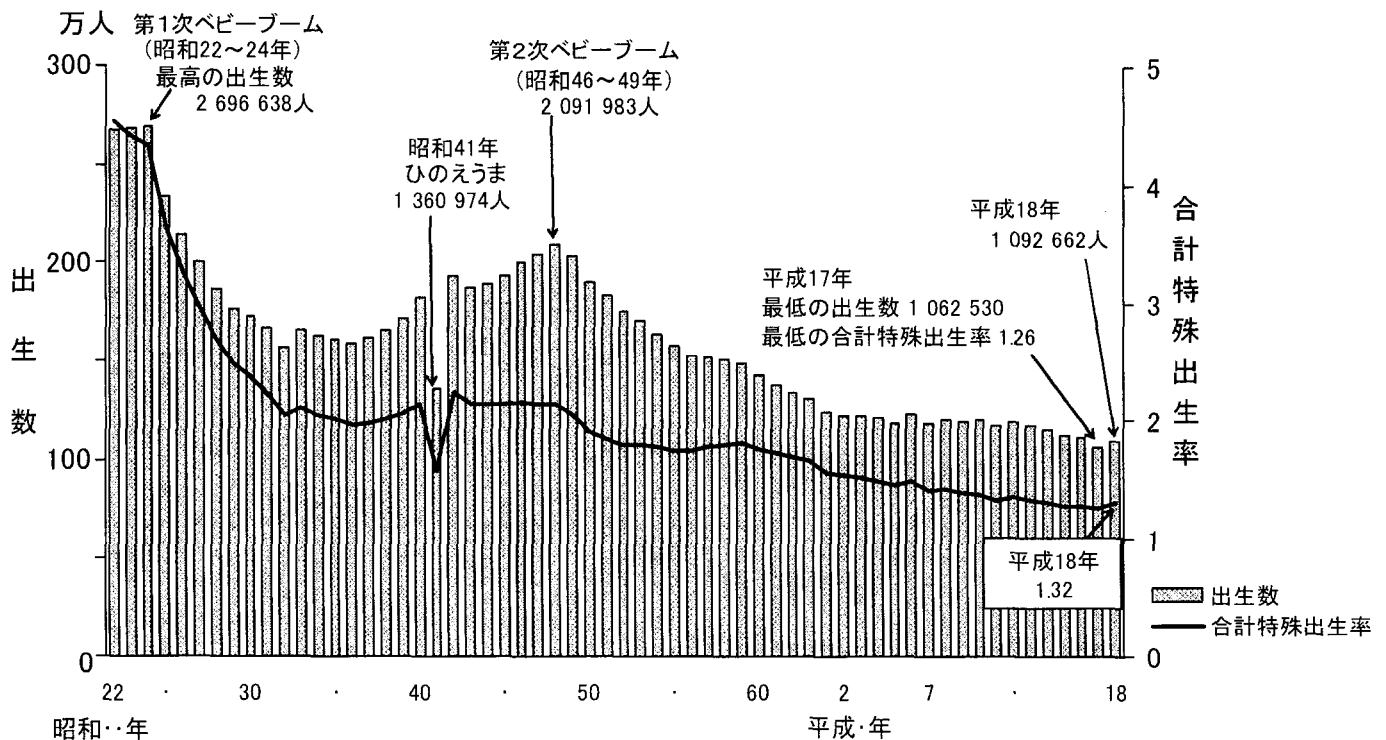


表2-1 母の年齢（5歳階級）別にみた出生数

母の年齢	出生数				対前年増減		
	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	16年-15年	17年-16年	18年-17年
1) 総数	1 123 610	1 110 721	1 062 530	1 092 662	△ 12 889	△ 48 191	30 132
～14歳	49	45	42	41	△ 4	△ 3	△ 1
15～19	19 532	18 546	16 531	15 933	△ 986	△ 2 015	△ 598
20～24	142 068	136 486	128 135	130 229	△ 5 582	△ 8 351	2 094
25～29	395 975	370 220	339 328	335 766	△ 25 755	△ 30 892	△ 3 562
30～34	408 585	415 903	404 700	417 773	7 318	△ 11 203	13 073
35～39	139 489	150 222	153 440	170 773	10 733	3 218	17 333
40～44	17 478	18 790	19 750	21 605	1 312	960	1 855
45～49	402	483	564	523	81	81	△ 41
50歳以上	19	16	34	9	△ 3	18	△ 25

注：1) 総数には母の年齢不詳を含む。

表2-2 出生順位別にみた出生数の年次推移

出生順位	出生数				対前年増減		
	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	16年-15年	17年-16年	18年-17年
総数	1 123 610	1 110 721	1 062 530	1 092 662	△ 12 889	△ 48 191	30 132
第1子	547 170	537 913	512 412	524 574	△ 9 257	△ 25 501	12 162
第2子	419 100	417 647	399 307	408 529	△ 1 453	△ 18 340	9 222
第3子以上	157 340	155 161	150 811	159 559	△ 2 179	△ 4 350	8 748

表3 第1子出生時の母の平均年齢の年次推移

	昭和40年	50	60	平成7年	15	16	17	18
平均年齢	25.7 歳	25.7	26.7	27.5	28.6	28.9	29.1	29.2

## (2) 合計特殊出生率

平成18年の合計特殊出生率は1.32で、前年の1.26を上回った。

昭和40年代は、第2次ベビーブーム期(昭和46～49年)を含め、ほぼ2.1台で推移していたが、50年に2.00を下回ってから低下傾向となり、平成18年は6年ぶりに上昇し、平成14年と同率となった。(統計表第2表、図2)

年齢(5歳階級)別に内訳をみると、低下を続けていた20歳代が上昇に転じ、前年低下に転じた30～34歳が再び上昇したため、15～19歳と45～49歳を除く各年齢階級で上昇した。この結果、平成17年に続き、30～34歳が25～29歳を上回り、平成18年は新たに35～39歳が20～24歳を上回り、40～44歳が15～19歳を上回った。(表4-1、図2)

出生順位別にみると、どの出生順位も上昇に転じており、特に低下を続けていた第3子以上は、12年ぶりに上昇に転じた(表4-2)。

都道府県別にみると、合計特殊出生率が高いのは沖縄県(1.74)、宮崎県(1.55)、島根県(1.53)等で、低いのは東京都(1.02)、北海道(1.18)、京都府(1.19)等大都市を含む地域であった(表5、図3)。

表4-1 合計特殊出生率の年次推移(年齢階級別内訳)

年 齢	合 計 特 殊 出 生 率							対前年増減		
	昭和50年	60	平成7年	15	16	17	18	16年-15年	17年-16年	18年-17年
総 数	1.91	1.76	1.42	1.29	1.29	1.26	1.32	0.00	△ 0.03	0.06
15～19 歳	0.0205	0.0229	0.0185	0.0280	0.0275	0.0253	0.0250	△ 0.0005	△ 0.0022	△ 0.0003
20～24	0.5128	0.3173	0.2022	0.1892	0.1859	0.1823	0.1871	△ 0.0033	△ 0.0036	0.0048
25～29	0.9331	0.8897	0.5880	0.4490	0.4388	0.4228	0.4352	△ 0.0102	△ 0.0160	0.0124
30～34	0.3569	0.4397	0.4677	0.4333	0.4364	0.4285	0.4516	0.0031	△ 0.0079	0.0231
35～39	0.0751	0.0846	0.1311	0.1678	0.1755	0.1761	0.1886	0.0077	0.0006	0.0125
40～44	0.0106	0.0094	0.0148	0.0227	0.0239	0.0242	0.0286	0.0012	0.0003	0.0044
45～49	0.0004	0.0003	0.0004	0.0006	0.0006	0.0008	0.0007	0.0000	0.0002	△ 0.0001

注：年齢階級別の数値は各歳別出生率を合計したものであり、15歳及び49歳にはそれぞれ14歳以下、50歳以上を含んでいる。

表4-2 出生順位別にみた合計特殊出生率の年次推移

出生順位	合 計 特 殊 出 生 率							対前年増減		
	昭和50年	60	平成7年	15	16	17	18	16年-15年	17年-16年	18年-17年
総 数	1.91	1.76	1.42	1.29	1.29	1.26	1.32	0.00	△ 0.03	0.06
第 1 子	0.8622	0.7611	0.6607	0.6382	0.6371	0.6240	0.6517	△ 0.0011	△ 0.0131	0.0277
第 2 子	0.7595	0.6950	0.5209	0.4740	0.4762	0.4643	0.4820	0.0022	△ 0.0119	0.0177
第3子以上	0.2876	0.3078	0.2410	0.1783	0.1753	0.1717	0.1831	△ 0.0030	△ 0.0036	0.0114

図2 合計特殊出生率の年次推移（年齢階級別内訳）

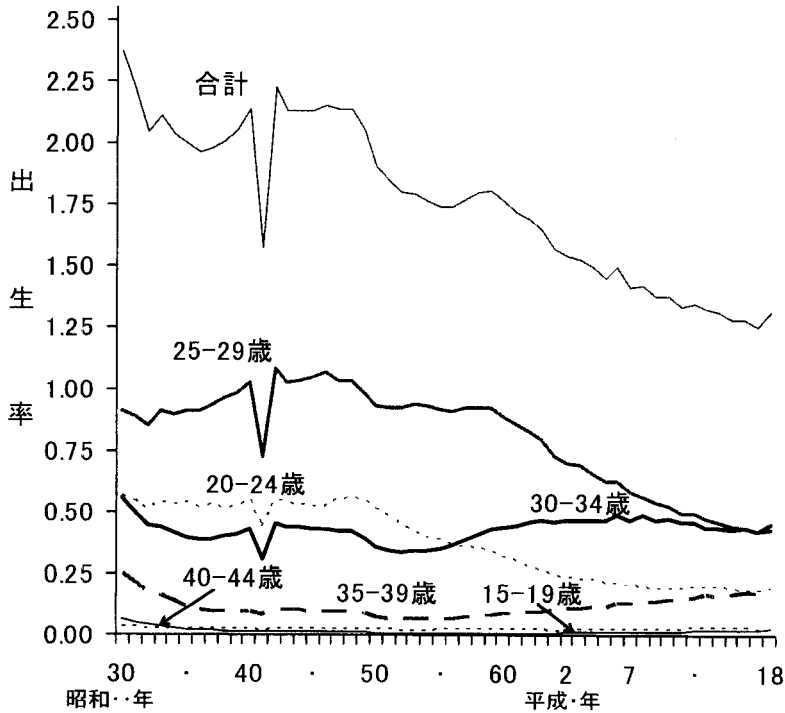


図3 都道府県別合計特殊出生率(平成18年)

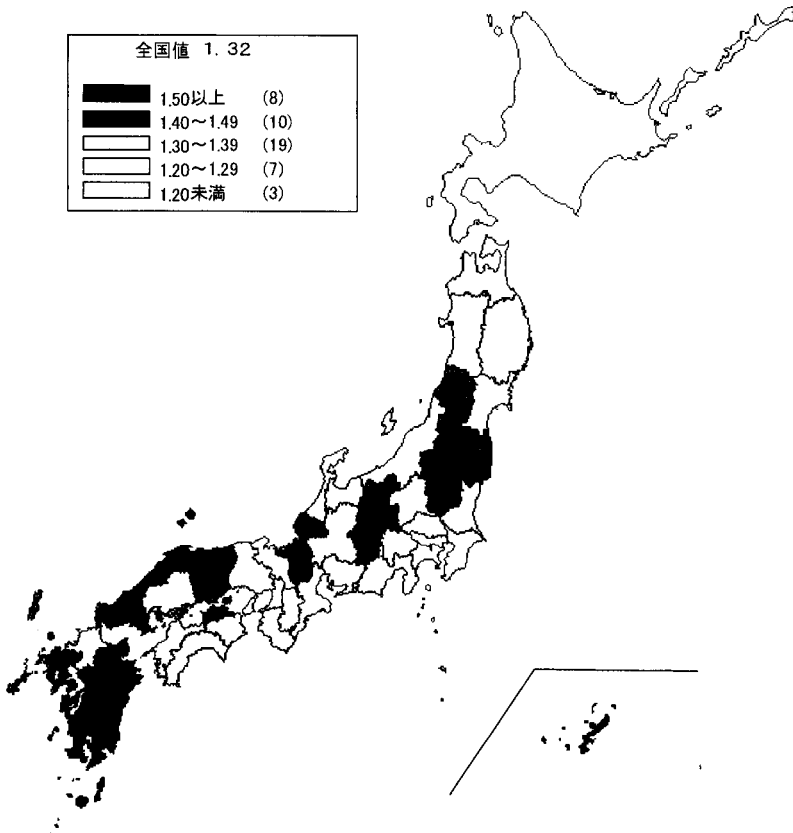


表5 都道府県別にみた合計特殊出生率

都道府県	平成18年	平成17年
全 国	1.32	1.26
北 海 道	1.18	1.15
青 森 県	1.31	1.29
岩 手 県	1.39	1.41
宮 城 県	1.25	1.24
秋 田 県	1.34	1.34
山 形 県	1.45	1.45
福 島 県	1.49	1.49
茨 城 県	1.35	1.32
栃 木 県	1.40	1.40
群 馬 県	1.36	1.39
埼 千 県	1.24	1.22
千 葉 県	1.23	1.22
東 京 都	1.02	1.00
神 奈 川 県	1.23	1.19
新 潟 県	1.37	1.34
富 石 県	1.34	1.37
福 山 県	1.36	1.35
山 井 県	1.50	1.50
山 梨 県	1.34	1.38
山 長 県	1.44	1.46
岐 静 県	1.35	1.37
愛 知 県	1.39	1.39
三 重 県	1.36	1.34
滋 賀 県	1.35	1.36
滋 賀 県	1.41	1.39
京 大 阪 府	1.19	1.18
兵 庫 県	1.22	1.21
奈 良 県	1.28	1.25
和 歌 山 県	1.22	1.19
和 歌 山 県	1.34	1.32
鳥 取 県	1.51	1.47
島 根 県	1.53	1.50
岡 山 県	1.40	1.37
山 口 県	1.37	1.34
山 口 県	1.40	1.38
徳 島 県	1.31	1.26
香 川 県	1.42	1.43
愛 媛 県	1.37	1.35
高 知 県	1.33	1.32
福 岡 県	1.30	1.26
佐 賀 県	1.50	1.48
長 崎 県	1.49	1.45
熊 本 県	1.50	1.46
大 宮 市	1.45	1.40
大 宮 市	1.55	1.48
鹿 児 島 県	1.51	1.49
沖 縄 県	1.74	1.72

注：分母に用いた人口は、  
 平成18年は、全国は各歳別日本人人口、  
 都道府県は5歳階級別総人口。  
 平成17年は、全国は各歳別日本人人口、  
 都道府県は5歳階級別日本人人口。



### 3 死亡

#### (1) 死亡数・死亡率

平成18年の死亡数は108万4488人で、前年の108万3796人より692人増加し、死亡率（人口千対）は8.6で前年と同率となった。

昭和30年以降は70万人前後で推移していたが、昭和50年代後半から増加傾向となり、平成2年以降は80万人台、平成7年以降にはほぼ90万人台となり、平成15年から4年連続で100万人台となっている。

昭和20年代に多かった0～14歳の死亡数が減少し、昭和50年代後半から死亡率の高い高齢者数の増加を反映して75歳以上で増加しており、平成18年の死亡数の約6割を占めている。

(図4)

年齢（5歳階級）別に死亡率（人口10万対）をみると、15～19歳と40～44歳を除いた、各年齢階級で前年より低下している（表6-1）。

死亡率性比（男の死亡率/女の死亡率×100）を年齢（5歳階級）別にみると、全年齢階級で100以上となっており、男の死亡率が高いことを示している。また、15～24歳と45～79歳の各年齢階級では、男の死亡率が女の死亡率の2倍以上となっている。（表6-2）

図4 死亡数及び死亡率の年次推移

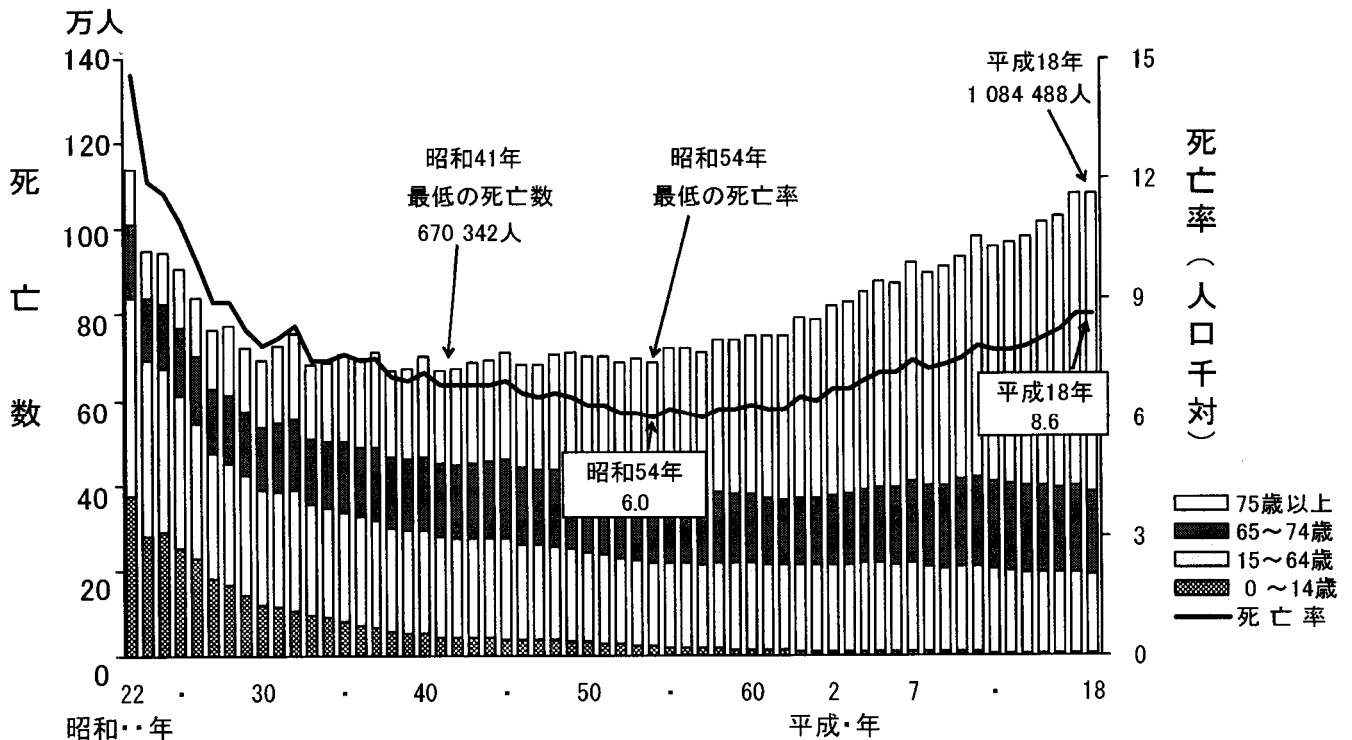


表6-1 年齢（5歳階級）別にみた死亡数・死亡率（人口10万対）

年齢階級	死亡数			死亡率		
	平成18年	平成17年	対前年増減	平成18年	平成17年	対前年増減
1) 総数	1 084 488	1 083 796	692	859.7	858.8	0.9
0～4歳	3 939	4 102	△ 163	72.3	73.9	△ 1.6
5～9	612	655	△ 43	10.4	11.1	△ 0.7
10～14	573	590	△ 17	9.6	9.8	△ 0.2
15～19	1 778	1 802	△ 24	28.0	27.6	0.4
20～24	3 168	3 370	△ 202	44.5	46.9	△ 2.4
25～29	3 948	4 170	△ 222	50.7	51.5	△ 0.8
30～34	5 622	5 952	△ 330	59.6	62.0	△ 2.4
35～39	7 388	7 469	△ 81	81.3	86.9	△ 5.6
40～44	10 062	10 238	△ 176	128.5	128.5	0.0
45～49	15 295	15 754	△ 459	201.6	205.9	△ 4.3
50～54	26 373	28 964	△ 2 591	316.5	331.3	△ 14.8
55～59	51 066	49 579	1 487	474.9	484.9	△ 10.0
60～64	58 266	62 258	△ 3 992	720.0	730.1	△ 10.1
65～69	79 282	80 829	△ 1 547	1 045.2	1 088.9	△ 43.7
70～74	117 349	120 825	△ 3 476	1 729.3	1 821.1	△ 91.8
75～79	159 253	159 362	△ 109	2 953.0	3 029.1	△ 76.1
80～84	178 405	174 185	4 220	4 895.9	5 109.4	△ 213.5
85～89	166 758	165 385	1 373	8 626.9	8 947.0	△ 320.1
90～94	130 489	127 573	2 916	14 694.7	15 167.7	△ 473.0
95～99	53 979	50 503	3 476	22 969.8	23 894.8	△ 925.0
100歳以上	10 340	9 578	762	35 655.2	37 771.1	△ 2 115.9

注：1) 総数には年齢不詳を含む。

表6-2 性・年齢（5歳階級）別にみた死亡数・死亡率  
（人口10万対）・死亡率性比(平成18年)

年齢階級	死亡数		死亡率		死亡率性比 <sup>2)</sup>
	男	女	男	女	
1) 総数	581 392	503 096	944.3	779.0	121.2
0～4歳	2 155	1 784	77.2	67.1	115.1
5～9	347	265	11.5	9.3	123.7
10～14	357	216	11.7	7.4	158.1
15～19	1 206	572	37.0	18.5	200.0
20～24	2 169	999	59.3	28.9	205.2
25～29	2 630	1 318	66.3	34.5	192.2
30～34	3 746	1 876	78.2	40.4	193.6
35～39	4 845	2 543	105.3	56.7	185.7
40～44	6 610	3 452	167.2	88.9	188.1
45～49	10 235	5 060	268.8	134.0	200.6
50～54	17 650	8 723	424.5	208.9	203.2
55～59	35 161	15 905	660.5	293.0	225.4
60～64	40 978	17 288	1 041.4	416.0	250.3
65～69	54 159	25 123	1 494.0	634.3	235.5
70～74	77 683	39 666	2 490.6	1 081.7	230.2
75～79	99 672	59 581	4 288.8	1 941.4	220.9
80～84	93 680	84 725	6 975.4	3 683.7	189.4
85～89	69 594	97 164	12 103.3	7 154.9	169.2
90～94	43 024	87 465	19 467.9	13 113.2	148.5
95～99	13 322	40 657	29 604.4	21 398.4	138.3
100歳以上	1 734	8 606	43 350.0	35 858.3	120.9

注：1) 総数には年齢不詳を含む。

2) 死亡率性比＝男の死亡率/女の死亡率×100

## (2) 死因

### ① 死因順位

平成18年の死亡数・死亡率（人口10万対）を死因順位別にみると、第1位は悪性新生物で32万9198人、260.9、第2位は心疾患17万2875人、137.0、第3位は脳血管疾患12万8203人、101.6となっている（表7）。

主な死因の年次推移をみると、悪性新生物は、一貫して上昇を続け、昭和56年以降死因順位第1位となり、平成18年の全死亡者に占める割合は30.4%となっている。全死亡者のおよそ3人に1人は悪性新生物で死亡したことになる。

心疾患は、昭和60年に脳血管疾患にかわり第2位となり、その後も死亡数・死亡率ともに上昇傾向を示している。平成18年の全死亡者に占める割合は15.9%となっている。

脳血管疾患は、昭和26年に結核にかわって第1位となったが、45年をピークに低下しはじめ、56年には悪性新生物にかわり第2位に、更に、60年には心疾患にかわり第3位となりその後も死亡数・死亡率ともに低下を続けた。平成18年の全死亡者に占める割合は11.8%となっている。

（図5、図6）

図5 主な死因別死亡数の割合（平成18年）

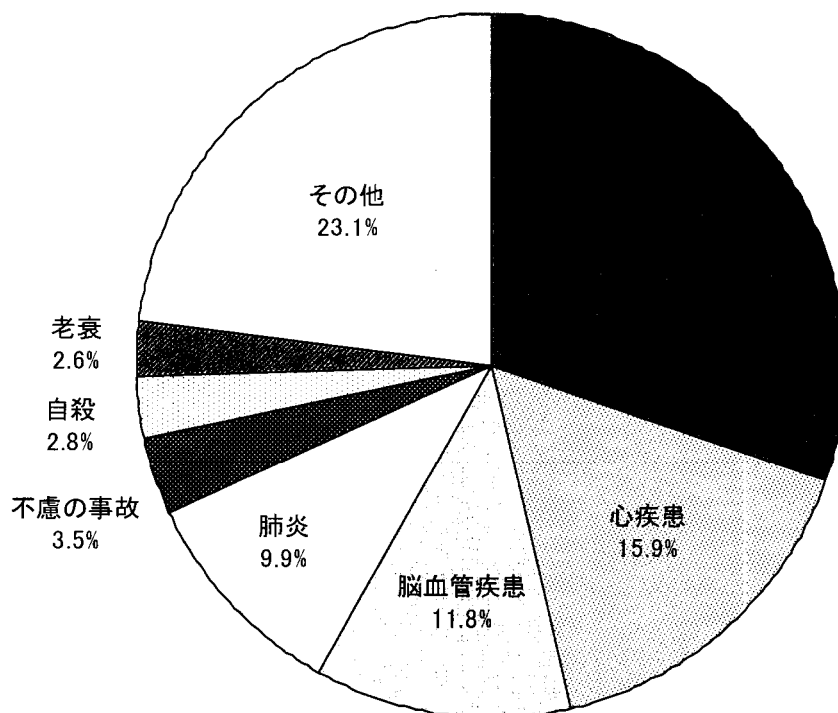
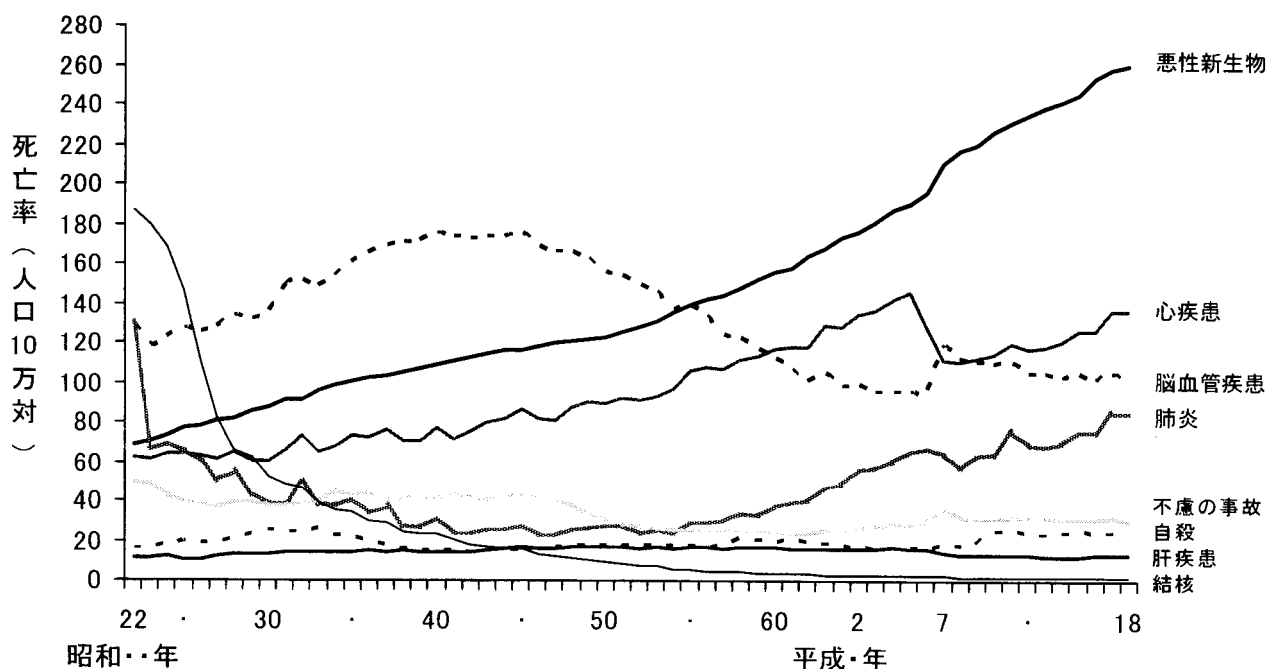


表7 性別にみた死因順位別死亡数・死亡率（人口10万対）

死 因	平成18年						平成17年	
	総 数		男		女		総 数	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
全 死 因	1 084 488	859.7	581 392	944.3	503 096	779.0	1 083 796	858.8
悪 性 新 生 物 (1)	329 198	260.9	197 984	321.6	131 214	203.2	325 941	258.3
心 疾 患 (2)	172 875	137.0	82 715	134.3	90 160	139.6	173 125	137.2
脳 血 管 疾 患 (3)	128 203	101.6	61 314	99.6	66 889	103.6	132 847	105.3
肺 炎 (4)	107 189	85.0	56 544	91.8	50 645	78.4	107 241	85.0
不 慮 の 事 故 (5)	38 145	30.2	23 265	37.8	14 880	23.0	39 863	31.6
自 殺 (6)	29 887	23.7	21 401	34.8	8 486	13.1	30 553	24.2
老 衰 (7)	27 745	22.0	6 867	11.2	20 878	32.3	26 360	20.9
腎 不 全 (8)	21 182	16.8	9 739	15.8	11 443	17.7	20 528	16.3
肝 疾 患 (9)	16 248	12.9	10 897	17.7	5 351	8.3	16 430	13.0
慢性閉塞性肺疾患 (10)	14 341	11.4	10 891	17.7	3 450	5.3	14 416	11.4

注：1）（ ）内の数字は死因順位を示す。  
 2）男の10位は「糖尿病」で死亡数は7 254、死亡率は11.8である。  
 3）女の9位は「糖尿病」で死亡数は6 378、死亡率は9.9である。  
 4）「結核」は死亡数が2 267、死亡率は1.8で第26位となっている。

図6 主な死因別にみた死亡率の年次推移



注：1）平成6・7年の心疾患の低下は、死亡診断書（死体検案書）（平成7年1月施行）において「死亡の原因欄には、疾患の終末期の状態としての心不全、呼吸不全等は書かないでください」という注意書きの施行前からの周知の影響によるものと考えられる。  
 2）平成7年の脳血管疾患の上昇の主要因は、ICD-10（平成7年1月適用）による原死因選択ルールの明確化によるものと考えられる。

## ② 年齢別死因

平成18年の死因を性・年齢（5歳階級）別に構成割合で見ると、5～14歳では不慮の事故及び悪性新生物が、15～19歳及び20歳代では不慮の事故及び自殺が多く、30歳代、40歳代では自殺及び悪性新生物が多い。40歳代からは年齢が高くなるにしたがって、悪性新生物の占める割合が多くなり、男では60歳代で、女では50歳代でピークとなる。それ以降は男女とも心疾患、脳血管疾患、肺炎の占める割合が、年齢が高くなるとともに多くなり、男では90歳以上で肺炎が最も多く、女では85歳以上100歳未満で心疾患、100歳以上では老衰が最も多くなっている。（図7-1）

また、減少を続ける1歳未満の乳児死亡数は平成17年に続き3000人を下回り、その死因別構成割合をみると、先天奇形、変形及び染色体異常の占める割合が多い（図7-2）。

図7-1 性・年齢階級別にみた主な死因の構成割合（平成18年）

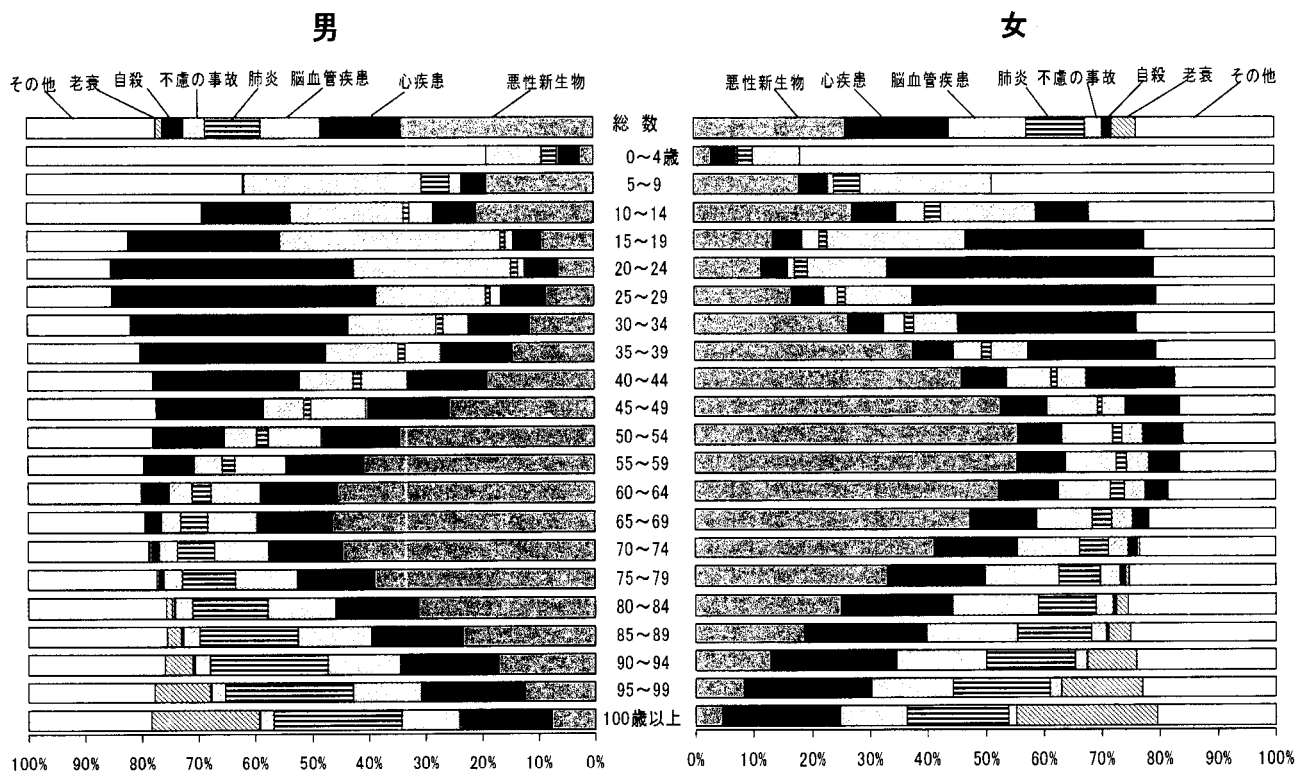
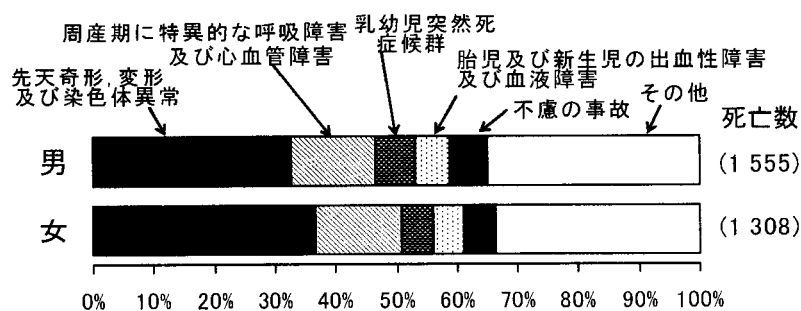


図7-2 乳児死亡の主な死因の構成割合（平成18年）



### ③ 部位別にみた悪性新生物

悪性新生物について死亡数・死亡率を部位別にみると、男の「肺」は上昇傾向が著しく、平成5年に「胃」を上回って第1位となり、平成18年の死亡数は4万5927人、死亡率（人口10万対）は74.6となっている。

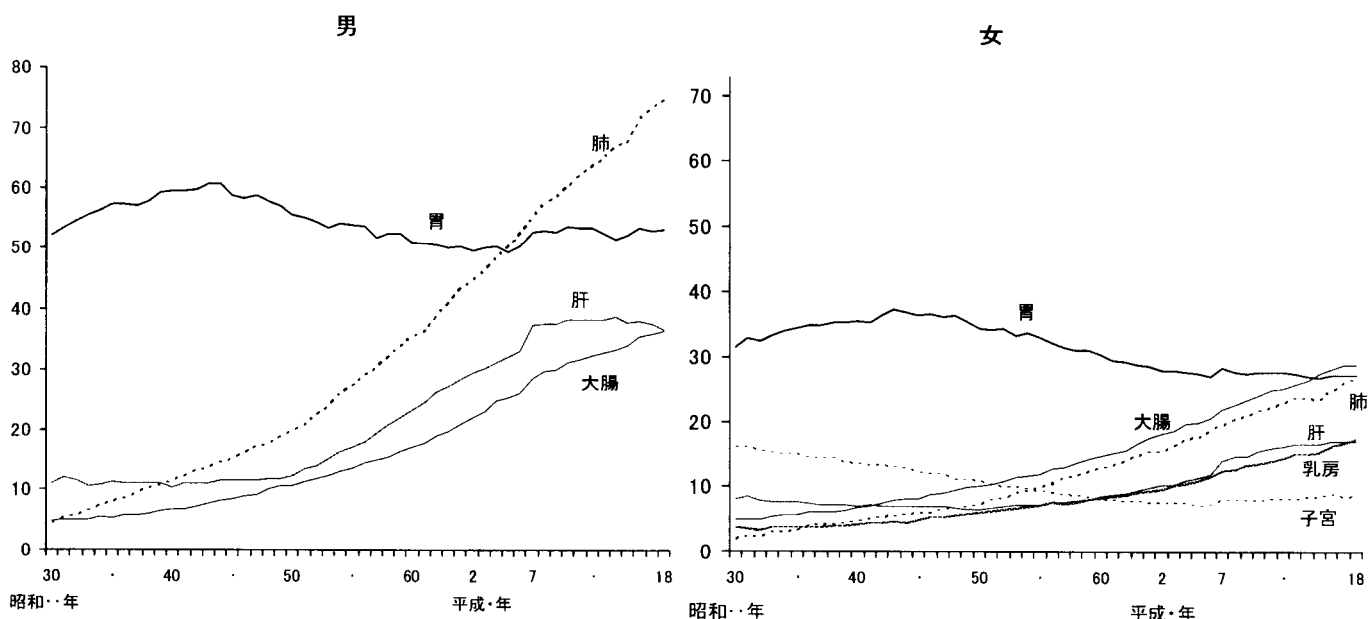
また、女の「大腸」は上昇傾向が続いており、平成15年に「胃」を上回って第1位となり、平成18年の死亡数は1万8653人、死亡率（人口10万対）は28.9となっている。「乳房」は平成18年にこれまで下回っていた「肝」を上回った。（表8、図8）

表8 悪性新生物の主な部位別にみた死亡数・死亡率（人口10万対）

部位	昭和30年	40	50	60	平成7年	17	18
死 亡 数							
男							
胃	22 899	28 636	30 403	30 146	32 015	32 643	32 732
肝	4 877	5 006	6 677	13 780	22 773	23 203	22 574
肺	1 893	5 404	10 711	20 837	33 389	45 189	45 927
大腸 <sup>1)</sup>	2 079	3 265	5 799	10 112	17 312	22 146	22 380
女							
胃	14 407	17 749	19 454	18 756	18 061	17 668	17 670
肝	3 700	3 499	3 696	5 192	8 934	11 065	11 086
肺	818	2 321	4 048	7 753	12 356	16 874	17 307
乳房	1 572	1 966	3 262	4 922	7 763	10 721	11 175
子宮	7 289	6 689	6 075	4 912	4 865	5 381	5 510
大腸 <sup>1)</sup>	2 160	3 335	5 654	8 926	13 962	18 684	18 653
死 亡 率							
男							
胃	52.2	59.4	55.6	51.1	52.6	53.0	53.2
肝	11.1	10.4	12.2	23.3	37.4	37.7	36.7
肺	4.3	11.2	19.6	35.3	54.8	73.3	74.6
大腸 <sup>1)</sup>	4.7	6.8	10.6	17.1	28.4	35.9	36.4
女							
胃	31.7	35.5	34.4	30.6	28.5	27.4	27.4
肝	8.1	7.0	6.5	8.5	14.1	17.1	17.2
肺	1.8	4.6	7.2	12.7	19.5	26.1	26.8
乳房	3.5	3.9	5.8	8.0	12.2	16.6	17.3
子宮	16.0	13.4	10.7	8.0	7.7	8.3	8.5
大腸 <sup>1)</sup>	4.8	6.7	10.0	14.6	22.0	28.9	28.9

注：1）大腸の悪性新生物は、結腸の悪性新生物と直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物を示す。

図8 悪性新生物の主な部位別死亡率（人口10万対）の年次推移



## 4 婚姻

平成18年の婚姻件数は73万973組で、前年の71万4265組より1万6708組増加し、婚姻率（人口千対）は5.8で前年の5.7を上回った。

婚姻件数は昭和40年代後半には100万組を超え、婚姻率（人口千対）も10.0以上で、婚姻ブームを呈した。その後は組数・率とも低下傾向となり、63年以降は増加に転じ、平成5年以降は増減を繰り返しながらほぼ横ばいで推移していたが、平成14年から4年連続で減少し、平成18年は5年ぶりに増加し、平成15年に次ぐ婚姻件数となった。（図9）

初婚の妻の年齢（各歳）別婚姻件数の構成割合を10年ごとにみると、ピーク時の年齢が上昇し、その割合の高さは低下し、高い年齢の割合が増加している（図10）。

年齢（5歳階級）別にみた妻の5年初婚率（女子人口百対）の推移をみると、20歳代前半は前年の横ばいから上昇し、20歳代後半は前年に続き上昇し、30歳代は上昇を続けている（表9）。

平成18年の平均初婚年齢は、夫30.0歳、妻28.2歳で、夫、妻ともに前年より0.2歳上昇しており、平成13年からの5年間で1歳上昇している。これを都道府県別にみると、平均初婚年齢が最も低いのは、夫は、宮崎県で28.7歳、妻は福島県で27.3歳であり、最も高いのは夫・妻とも東京都で、夫31.3歳、妻29.3歳である。（表10-1、表10-2）

再婚の割合をみると、平成18年は夫は18.8%、妻は16.3%で、前年と比べると夫0.6ポイント、妻0.3ポイント増加している（表11）。

図9 婚姻件数及び婚姻率の年次推移

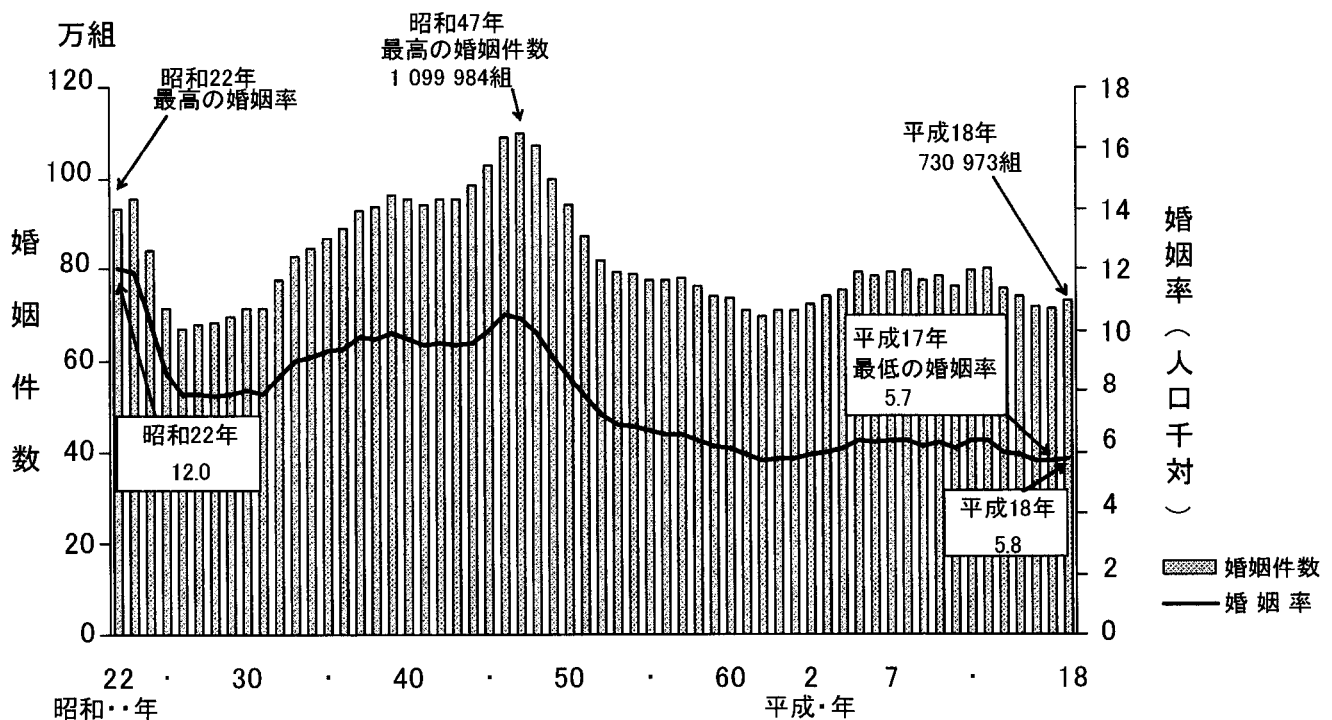
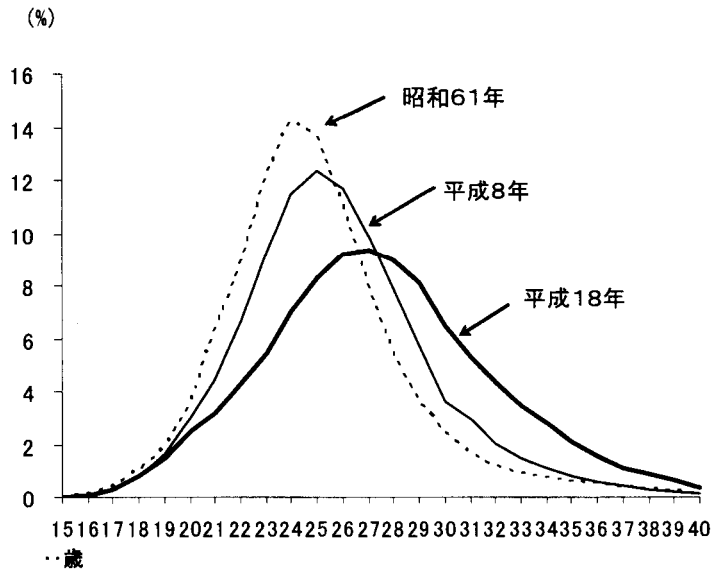


図10 初婚の妻の年齢（各歳）別婚姻件数の割合



注：各届出年に結婚生活に入ったもの。

表9 年齢（5歳階級）別にみた妻の5年初婚率（女子人口百対）の年次推移

	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳
平成 3 年	26.8	35.2	6.8	1.3
8	23.9	34.3	9.5	2.1
13	21.2	32.5	11.2	2.9
14	19.4	31.0	11.3	2.9
15	18.1	30.4	11.6	3.1
16	17.1	29.7	11.8	3.3
17	17.1	30.0	12.2	3.6
18	17.4	30.8	12.9	3.9

注:1) 各届出年に結婚生活に入ったもの。  
2) 5年初婚率は各年齢階級別の初婚率を5倍したものである。各年齢階級の値は、概ね「その年齢階級の女子人口のうち5年以内に未婚から初婚となる人口の割合(%)」に相当する。

表11 全婚姻件数に対する再婚件数の割合の年次推移

	夫	妻
	%	%
昭和50 年	9.1	7.5
55	10.8	9.5
60	12.2	10.8
平成 2 年	13.4	11.7
7	13.2	11.6
12	15.0	13.4
13	15.7	14.0
14	16.3	14.8
15	17.1	15.4
16	17.8	15.9
17	18.2	16.0
18	18.8	16.3

表10-1 平均初婚年齢の年次推移

	夫	妻
	歳	歳
平成 3 年	28.4	25.9
8	28.5	26.4
13	29.0	27.2
16	29.6	27.8
17	29.8	28.0
18	30.0	28.2

注：各届出年に結婚生活に入ったもの。

表10-2 都道府県別にみた平均初婚年齢

都道府県	平成18年	
	夫	妻
	歳	歳
北海道	29.3	27.9
青森	29.2	27.5
岩手	29.7	27.6
宮城	29.5	27.7
秋田	29.4	27.6
山形	29.6	27.6
福島	29.3	27.3
茨城	29.8	27.7
栃木	29.8	27.7
群馬	29.9	27.9
埼玉	30.4	28.3
千葉	30.4	28.4
東京都	31.3	29.3
神奈川県	30.8	28.8
新潟	29.7	27.9
富山	29.9	27.9
石川	29.6	28.0
福井	29.6	27.6
山梨	30.5	28.3
長野	30.4	28.3
岐阜	29.7	27.6
静岡県	29.9	27.9
愛知県	29.9	27.9
三重	29.6	27.7
滋賀	29.7	27.9
京都	30.1	28.4
大阪	30.0	28.3
兵庫県	29.9	28.2
奈良	29.7	28.1
和歌山	29.2	27.6
鳥取	29.3	27.4
島根	29.5	27.5
岡山	29.2	27.5
広島	29.5	27.8
山口	29.2	27.5
徳島	29.2	27.6
香川	29.2	27.7
愛媛	29.1	27.5
高知	29.6	27.9
福岡	29.5	28.0
佐賀	29.0	27.6
長崎	29.2	27.8
熊本	29.1	27.6
熊大	29.3	27.7
宮崎	28.7	27.4
鹿児島	29.0	27.5
沖縄	29.4	27.9

注：平成18年に結婚生活に入ったもの。



## 5 離婚

平成18年の離婚件数は25万7484組で、前年の26万1917組より4433組減少した。

離婚件数は昭和39年以降毎年増加し、46年には10万組を超えた。その後も増加を続け、58年をピークに減少に転じ、平成3年から再び増加していたが、15年から4年連続で減少している。

(図11)

離婚率(人口千対)は2.04で、前年の2.08を下回った(統計表第2表)。

離婚件数を同居期間別にみると、ほぼ全ての期間で減少している(表12、図12)。

図11 離婚件数及び離婚率の年次推移

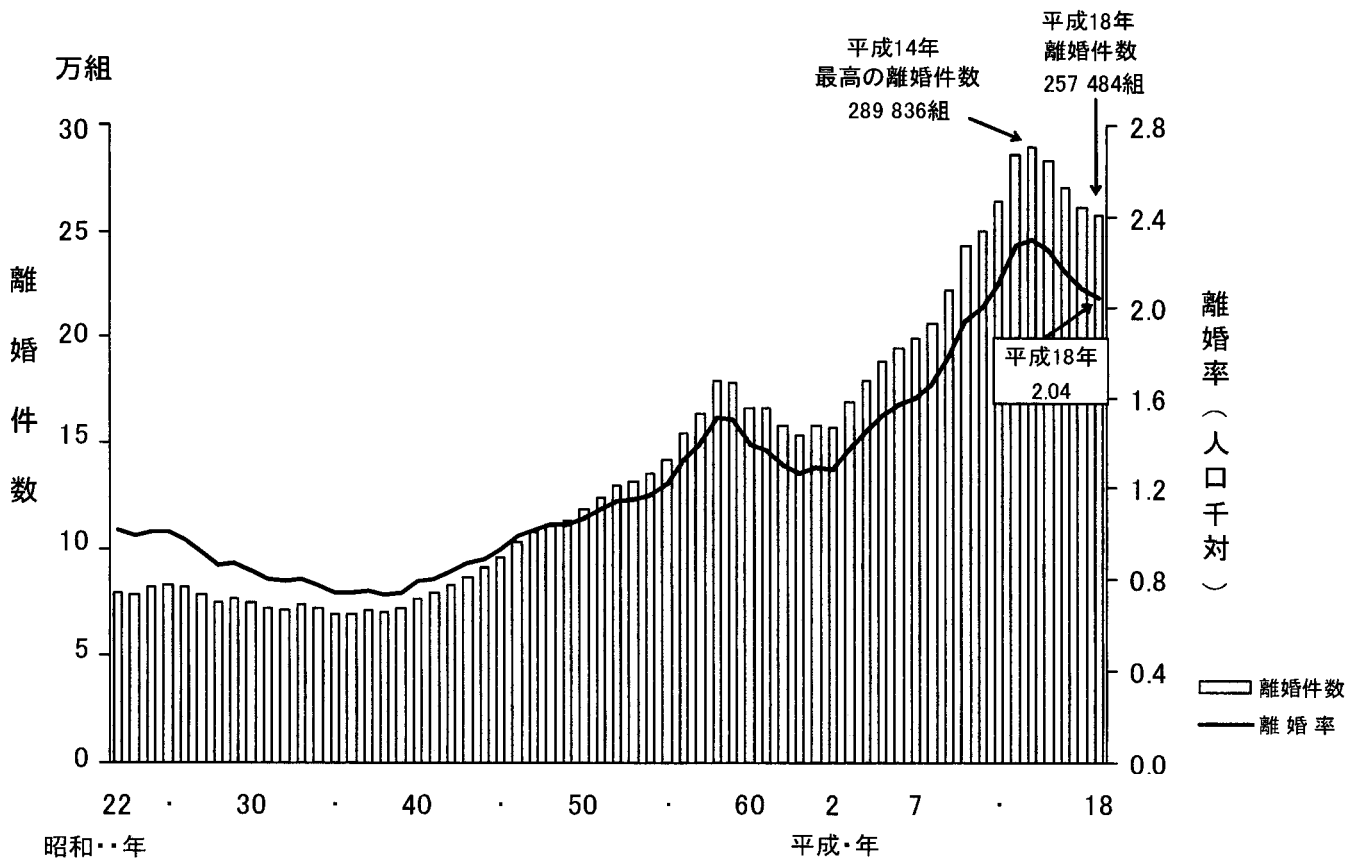
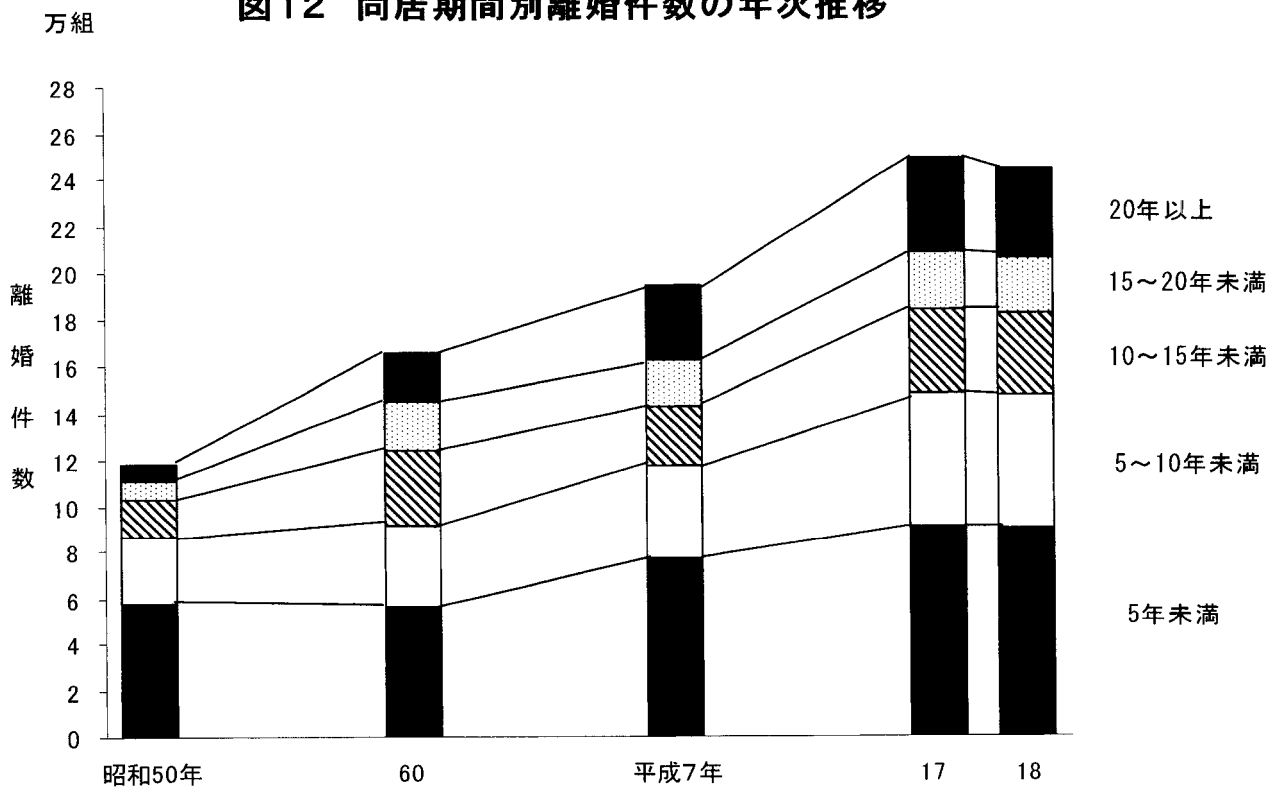


表 1 2 同居期間別離婚件数の年次推移

同居期間	昭和50年	60	平成7年	17	18	対前年 増 減	対前年 増加率 (%)
1) 総 数	119 135	166 640	199 016	261 917	257 484	△ 4 433	△ 1.7
5年未満	58 336	56 438	76 710	90 885	89 658	△ 1 227	△ 1.4
1年未満	14 773	12 655	14 893	16 558	17 350	792	4.8
1～2	13 014	12 815	18 081	20 159	19 536	△ 623	△ 3.1
2～3	11 731	11 710	16 591	19 435	18 918	△ 517	△ 2.7
3～4	10 141	10 437	14 576	18 144	17 425	△ 719	△ 4.0
4～5	8 677	8 821	12 569	16 589	16 429	△ 160	△ 1.0
5～10	28 597	35 338	41 185	57 562	58 003	441	0.8
10～15	16 206	32 312	25 308	35 093	34 741	△ 352	△ 1.0
15～20	8 172	21 529	19 153	24 885	23 674	△ 1 211	△ 4.9
20年以上	6 810	20 435	31 877	40 395	37 786	△ 2 609	△ 6.5
20～25年未満	4 050	12 706	17 847	18 401	17 062	△ 1 339	△ 7.3
25～30	1 894	4 827	8 684	10 747	10 029	△ 718	△ 6.7
30～35	566	1 793	3 506	6 453	5 948	△ 505	△ 7.8
35年以上	300	1 109	1 840	4 794	4 747	△ 47	△ 1.0

注：1)総数には同居期間不詳を含む。

図12 同居期間別離婚件数の年次推移





# 統計表

第1表 人口動態総覧の年次推移 (2-1)

年次		出生数	死亡数	(再掲)		自然増加数
				乳児死亡数	新生児死亡数	
1899	明治 32年	1 386 981	932 087	213 359	108 077	454 894
1900	33	1 420 534	910 744	220 211	112 259	509 790
1901	34	1 501 591	925 810	225 107	115 794	575 781
1902	35	1 510 835	959 126	232 652	116 654	551 709
1903	36	1 489 816	931 008	226 982	112 909	558 808
1904	37	1 440 371	955 400	218 756	106 477	484 971
1905	38	1 452 770	1 004 661	220 450	103 382	448 109
1906	39	1 394 295	955 256	214 148	105 307	439 039
1907	40	1 614 472	1 016 798	244 300	118 617	597 674
1908	41	1 662 815	1 029 447	262 801	123 867	633 368
1909	42	1 693 850	1 091 264	283 436	129 629	602 586
1910	43	1 712 857	1 064 234	276 136	126 910	648 623
1911	44	1 747 803	1 043 906	276 798	127 302	703 897
1912	大正 元年	1 737 674	1 037 016	268 025	123 902	700 658
1913	2	1 757 441	1 027 257	267 281	124 213	730 184
1914	3	1 808 402	1 101 815	286 678	125 745	706 587
1915	4	1 799 326	1 093 793	288 634	125 337	705 533
1916	5	1 804 822	1 187 832	307 283	132 000	616 990
1917	6	1 812 413	1 199 669	313 872	139 717	612 744
1918	7	1 791 992	1 493 162	337 919	145 710	298 830
1919	8	1 778 685	1 281 965	303 202	129 072	496 720
1920	9	2 025 564	1 422 096	335 613	139 681	603 468
1921	10	1 990 876	1 288 570	335 143	136 342	702 306
1922	11	1 969 314	1 286 941	327 604	132 856	682 373
1923	12	2 043 297	1 332 485	333 930	135 504	710 812
1924	13	1 998 520	1 254 946	312 267	126 385	743 574
1925	14	2 086 091	1 210 706	297 008	121 238	875 385
1926	昭和 元年	2 104 405	1 160 734	289 275	119 642	943 671
1927	2	2 060 737	1 214 323	292 084	116 240	846 414
1928	3	2 135 852	1 236 711	293 881	115 682	899 141
1929	4	2 077 026	1 261 228	295 178	115 009	815 798
1930	5	2 085 101	1 170 867	258 703	104 101	914 234
1931	6	2 102 784	1 240 891	276 584	108 812	861 893
1932	7	2 182 742	1 175 344	256 505	104 573	1 007 398
1933	8	2 121 253	1 193 987	257 251	102 887	927 266
1934	9	2 043 783	1 234 684	255 063	103 408	809 099
1935	10	2 190 704	1 161 936	233 706	97 994	1 028 768
1936	11	2 101 969	1 230 278	245 357	101 043	871 691
1937	12	2 180 734	1 207 899	230 701	95 465	972 835
1938	13	1 928 321	1 259 805	220 695	89 159	668 516
1939	14	1 901 573	1 268 760	202 018	84 204	632 813
1940	15	2 115 867	1 186 595	190 509	81 869	929 272
1941	16	2 277 283	1 149 559	191 420	77 829	1 127 724
1942	17	2 233 660	1 166 630	190 897	76 177	1 067 030
1943	18	2 253 535	1 213 811	195 219	76 588	1 039 724
1947	22	2 678 792	1 138 238	205 360	84 204	1 540 554
1948	23	2 681 624	950 610	165 406	73 855	1 731 014
1949	24	2 696 638	945 444	168 467	72 432	1 751 194
1950	25	2 337 507	904 876	140 515	64 142	1 432 631
1951	26	2 137 689	838 998	122 869	58 686	1 298 691
1952	27	2 005 162	765 068	99 114	51 015	1 240 094
1953	28	1 868 040	772 547	91 424	47 580	1 095 493
1954	29	1 769 580	721 491	78 944	42 726	1 048 089

注：\*印は概数である。

年 次		出 生 数	死 亡 数	(再 掲) 乳児死亡数	新 生 児 死 亡 数	自然増加数
1955	昭和 30 年	1 730 692	693 523	68 801	38 646	1 037 169
1956	31	1 665 278	724 460	67 691	38 232	940 818
1957	32	1 566 713	752 445	62 678	33 847	814 268
1958	33	1 653 469	684 189	57 052	32 237	969 280
1959	34	1 626 088	689 959	54 768	30 235	936 129
1960	35	1 606 041	706 599	49 293	27 362	899 442
1961	36	1 589 372	695 644	45 465	26 255	893 728
1962	37	1 618 616	710 265	42 797	24 777	908 351
1963	38	1 659 521	670 770	38 442	22 965	988 751
1964	39	1 716 761	673 067	34 967	21 344	1 043 694
1965	40	1 823 697	700 438	33 742	21 260	1 123 259
1966	41	1 360 974	670 342	26 217	16 296	690 632
1967	42	1 935 647	675 006	28 928	19 248	1 260 641
1968	43	1 871 839	686 555	28 600	18 326	1 185 284
1969	44	1 889 815	693 787	26 874	17 116	1 196 028
1970	45	1 934 239	712 962	25 412	16 742	1 221 277
1971	46	2 000 973	684 521	24 805	16 450	1 316 452
1972	47	2 038 682	683 751	23 773	15 817	1 354 931
1973	48	2 091 983	709 416	23 683	15 473	1 382 567
1974	49	2 029 989	710 510	21 888	14 472	1 319 479
1975	50	1 901 440	702 275	19 103	12 912	1 199 165
1976	51	1 832 617	703 270	17 105	11 638	1 129 347
1977	52	1 755 100	690 074	15 666	10 773	1 065 026
1978	53	1 708 643	695 821	14 327	9 628	1 012 822
1979	54	1 642 580	689 664	12 923	8 590	952 916
1980	55	1 576 889	722 801	11 841	7 796	854 088
1981	56	1 529 455	720 262	10 891	7 188	809 193
1982	57	1 515 392	711 883	9 969	6 425	803 509
1983	58	1 508 687	740 038	9 406	5 894	768 649
1984	59	1 489 780	740 247	8 920	5 527	749 533
1985	60	1 431 577	752 283	7 899	4 910	679 294
1986	61	1 382 946	750 620	7 251	4 296	632 326
1987	62	1 346 658	751 172	6 711	3 933	595 486
1988	63	1 314 006	793 014	6 265	3 592	520 992
1989	平成 元年	1 246 802	788 594	5 724	3 214	458 208
1990	2	1 221 585	820 305	5 616	3 179	401 280
1991	3	1 223 245	829 797	5 418	2 978	393 448
1992	4	1 208 989	856 643	5 477	2 905	352 346
1993	5	1 188 282	878 532	5 169	2 765	309 750
1994	6	1 238 328	875 933	5 261	2 889	362 395
1995	7	1 187 064	922 139	5 054	2 615	264 925
1996	8	1 206 555	896 211	4 546	2 438	310 344
1997	9	1 191 665	913 402	4 403	2 307	278 263
1998	10	1 203 147	936 484	4 380	2 353	266 663
1999	11	1 177 669	982 031	4 010	2 137	195 638
2000	12	1 190 547	961 653	3 830	2 106	228 894
2001	13	1 170 662	970 331	3 599	1 909	200 331
2002	14	1 153 855	982 379	3 497	1 937	171 476
2003	15	1 123 610	1 014 951	3 364	1 879	108 659
2004	16	1 110 721	1 028 602	3 122	1 622	82 119
2005	17	1 062 530	1 083 796	2 958	1 510	△ 21 266
2006	* 18	1 092 662	1 084 488	2 863	1 444	8 174

第1表 人口動態総覧の年次推移 (2-2)

(参考)

年次		死産数			周産期 死亡数 <sup>2)</sup>	婚姻件数	離婚件数	周産期 死亡数 <sup>3)</sup>
		総数	自然死産	人工死産				
1899	明治 32年	135 727	...	...	...	297 372	66 545	...
1900	33	137 987	...	...	...	346 528	63 828	...
1901	34	155 489	...	...	...	378 457	63 442	...
1902	35	157 708	...	...	...	394 165	64 139	...
1903	36	153 920	...	...	...	370 961	65 392	...
1904	37	147 058	...	...	...	398 930	63 913	...
1905	38	142 092	...	...	...	350 898	60 061	...
1906	39	149 731	...	...	...	352 857	65 398	...
1907	40	158 814	...	...	...	432 949	61 058	...
1908	41	162 676	...	...	...	461 254	60 226	...
1909	42	161 576	...	...	...	437 882	58 936	...
1910	43	157 392	...	...	...	441 222	59 432	...
1911	44	155 319	...	...	...	433 117	58 067	...
1912	大正 元年	147 545	...	...	...	430 422	59 143	...
1913	2	147 769	...	...	...	431 287	59 536	...
1914	3	145 692	...	...	...	452 932	59 992	...
1915	4	141 301	...	...	...	445 210	59 943	...
1916	5	139 998	...	...	...	433 680	60 254	...
1917	6	140 328	...	...	...	447 970	55 812	...
1918	7	142 507	...	...	...	500 580	56 474	...
1919	8	132 939	...	...	...	480 136	56 812	...
1920	9	144 038	...	...	...	546 207	55 511	...
1921	10	138 301	...	...	...	519 217	53 402	...
1922	11	132 244	...	...	...	515 916	53 053	...
1923	12	133 863	...	...	...	512 689	51 212	...
1924	13	125 839	...	...	...	513 130	51 770	...
1925	14	124 403	...	...	...	521 438	51 687	...
1926	昭和 元年	124 038	...	...	...	502 847	50 119	...
1927	2	116 922	...	...	...	487 850	50 626	...
1928	3	120 191	...	...	...	499 555	49 119	...
1929	4	116 971	...	...	...	497 410	51 222	...
1930	5	117 730	...	...	...	506 674	51 259	...
1931	6	116 509	...	...	...	496 574	50 609	...
1932	7	119 579	...	...	...	515 270	51 437	...
1933	8	114 138	...	...	...	486 058	49 282	...
1934	9	113 043	...	...	...	512 654	48 610	...
1935	10	115 593	...	...	...	556 730	48 528	...
1936	11	111 056	...	...	...	549 116	46 167	...
1937	12	111 485	...	...	...	674 500	46 500	...
1938	13	99 528	...	...	...	538 831	44 656	...
1939	14	98 349	...	...	...	554 321	45 970	...
1940	15	102 034	...	...	...	666 575	48 556	...
1941	16	103 400	...	...	...	791 625	49 424	...
1942	17	95 448	...	...	...	679 044	46 268	...
1943	18	92 889	...	...	...	743 842	49 705	...
1947	22	123 837	...	...	...	934 170	79 551	...
1948	23	1) 143 963	* 104 325	* 31 055	...	953 999	79 032	...
1949	24	1) 192 677	* 114 161	* 75 585	...	842 170	82 575	...
1950	25	216 974	106 594	110 380	...	715 081	83 689	108 843
1951	26	217 231	101 237	115 994	...	671 905	82 331	99 865
1952	27	203 824	94 508	109 316	...	676 995	79 021	91 527
1953	28	193 274	89 751	103 523	...	682 077	75 255	85 932
1954	29	187 119	87 201	99 918	...	697 809	76 759	79 776

注： \*印は概数である。

1) 昭和23年、24年の死産には自然・人工死産の不詳を含む。

2) 妊娠満22週以後の死産に早期新生児死亡を加えたものである。

3) 妊娠満28週以後の死産に早期新生児死亡を加えたものである。

(参考)

年次		死産数			2) 周産期 死亡数	婚姻件数	離婚件数	3) 周産期 死亡数
		総数	自然死産	人工死産				
1955	昭和30年	183 265	85 159	98 106	…	714 861	75 267	75 918
1956	31	179 007	86 558	92 449	…	715 934	72 040	75 706
1957	32	176 353	86 895	89 458	…	773 362	71 651	70 502
1958	33	185 148	92 282	92 866	…	826 902	74 004	72 625
1959	34	181 893	92 688	89 205	…	847 135	72 455	69 912
1960	35	179 281	93 424	85 857	…	866 115	69 410	66 552
1961	36	179 895	96 032	83 863	…	890 158	69 323	65 063
1962	37	177 363	97 256	80 107	…	928 341	71 394	62 650
1963	38	175 424	97 711	77 713	…	937 516	69 996	60 049
1964	39	168 046	97 357	70 689	…	963 130	72 306	56 827
1965	40	161 617	94 476	67 141	…	954 852	77 195	54 904
1966	41	148 248	83 253	64 995	…	940 120	79 432	42 583
1967	42	149 389	90 938	58 451	…	953 096	83 478	50 846
1968	43	143 259	87 381	55 878	…	956 312	87 327	45 921
1969	44	139 211	85 788	53 423	…	984 142	91 280	43 419
1970	45	135 095	84 073	51 022	…	1 029 405	95 937	41 917
1971	46	130 920	83 827	47 093	…	1 091 229	103 595	40 900
1972	47	125 154	81 741	43 413	…	1 099 984	108 382	38 754
1973	48	116 171	78 613	37 558	…	1 071 923	111 877	37 598
1974	49	109 738	74 618	35 120	…	1 000 455	113 622	34 383
1975	50	101 862	67 643	34 219	…	941 628	119 135	30 513
1976	51	101 930	64 046	37 884	…	871 543	124 512	27 133
1977	52	95 247	60 330	34 917	…	821 029	129 485	24 708
1978	53	87 463	55 818	31 645	…	793 257	132 146	22 217
1979	54	82 311	51 083	31 228	36 190	788 505	135 250	20 481
1980	55	77 446	47 651	29 795	32 422	774 702	141 689	18 385
1981	56	79 222	46 296	32 926	30 274	776 531	154 221	16 531
1982	57	78 107	44 135	33 972	28 204	781 252	163 980	15 303
1983	58	71 941	40 108	31 833	25 925	762 552	179 150	14 035
1984	59	72 361	37 976	34 385	25 149	739 991	178 746	12 998
1985	60	69 009	33 114	35 895	22 379	735 850	166 640	11 470
1986	61	65 678	31 050	34 628	20 389	710 962	166 054	10 148
1987	62	63 834	29 956	33 878	18 699	696 173	158 227	9 317
1988	63	59 636	26 804	32 832	16 839	707 716	153 600	8 508
1989	平成元年	55 204	24 558	30 646	15 183	708 316	157 811	7 450
1990	2	53 892	23 383	30 509	13 704	722 138	157 608	7 001
1991	3	50 510	22 317	28 193	10 426	742 264	168 969	6 544
1992	4	48 896	21 689	27 207	9 888	754 441	179 191	6 321
1993	5	45 090	20 205	24 885	9 226	792 658	188 297	5 989
1994	6	42 962	19 754	23 208	9 286	782 738	195 106	6 134
1995	7	39 403	18 262	21 141	8 412	791 888	199 016	5 526
1996	8	39 536	18 329	21 207	8 080	795 080	206 955	5 321
1997	9	39 546	17 453	22 093	7 624	775 651	222 635	4 974
1998	10	38 988	16 936	22 052	7 447	784 595	243 183	4 927
1999	11	38 452	16 711	21 741	7 102	762 028	250 529	4 665
2000	12	38 393	16 200	22 193	6 881	798 138	264 246	4 562
2001	13	37 467	15 704	21 763	6 476	799 999	285 911	4 238
2002	14	36 978	15 161	21 817	6 333	757 331	289 836	4 224
2003	15	35 330	14 644	20 686	5 929	740 191	283 854	3 995
2004	16	34 365	14 288	20 077	5 541	720 417	270 804	3 671
2005	17	31 818	13 502	18 316	5 149	714 265	261 917	3 492
2006	* 18	30 912	13 419	17 493	5 096	730 973	257 484	3 417



第2表 人口動態総覧（率）の年次推移（2-1）

年次		出生率	死亡率	乳児死亡率	新生児死亡率	自然増加率	死産率 <sup>1)</sup>	自然死産率	人工死産率
		(人口千対)		(出生千対)		(人口千対)	(出産千対)		
1899	明治 32年	32.0	21.5	153.8	77.9	10.5	89.1	...	...
1900	33	32.4	20.8	155.0	79.0	11.6	88.5	...	...
1901	34	33.9	20.9	149.9	77.1	13.0	93.8	...	...
1902	35	33.6	21.3	154.0	77.2	12.3	94.5	...	...
1903	36	32.7	20.4	152.4	75.8	12.3	93.6	...	...
1904	37	31.2	20.7	151.9	73.9	10.5	92.6	...	...
1905	38	31.2	21.6	151.7	71.2	9.6	89.1	...	...
1906	39	29.6	20.3	153.6	75.5	9.3	97.0	...	...
1907	40	34.0	21.4	151.3	73.5	12.6	89.6	...	...
1908	41	34.7	21.5	158.0	74.5	13.2	89.1	...	...
1909	42	34.9	22.5	167.3	76.5	12.4	87.1	...	...
1910	43	34.8	21.6	161.2	74.1	13.2	84.2	...	...
1911	44	35.1	20.9	158.4	72.8	14.1	81.6	...	...
1912	大正元年	34.4	20.5	154.2	71.3	13.9	78.3	...	...
1913	2	34.3	20.0	152.1	70.7	14.2	77.6	...	...
1914	3	34.8	21.2	158.5	69.5	13.6	74.6	...	...
1915	4	34.1	20.7	160.4	69.7	13.4	72.8	...	...
1916	5	33.7	22.2	170.3	73.1	11.5	72.0	...	...
1917	6	33.5	22.2	173.2	77.1	11.3	71.9	...	...
1918	7	32.7	27.3	188.6	81.3	5.5	73.7	...	...
1919	8	32.3	23.3	170.5	72.6	9.0	69.5	...	...
1920	9	36.2	25.4	165.7	69.0	10.8	66.4	...	...
1921	10	35.1	22.7	168.3	68.5	12.4	65.0	...	...
1922	11	34.3	22.4	166.4	67.5	11.9	62.9	...	...
1923	12	35.2	22.9	163.4	66.3	12.2	61.5	...	...
1924	13	33.9	21.3	156.2	63.2	12.6	59.2	...	...
1925	14	34.9	20.3	142.4	58.1	14.7	56.3	...	...
1926	昭和元年	34.6	19.1	137.5	56.9	15.5	55.7	...	...
1927	2	33.4	19.7	141.7	56.4	13.7	53.7	...	...
1928	3	34.1	19.8	137.6	54.2	14.4	53.3	...	...
1929	4	32.7	19.9	142.1	55.4	12.9	53.3	...	...
1930	5	32.4	18.2	124.1	49.9	14.2	53.4	...	...
1931	6	32.1	19.0	131.5	51.7	13.2	52.5	...	...
1932	7	32.9	17.7	117.5	47.9	15.2	51.9	...	...
1933	8	31.5	17.7	121.3	48.5	13.8	51.1	...	...
1934	9	29.9	18.1	124.8	50.6	11.8	52.4	...	...
1935	10	31.6	16.8	106.7	44.7	14.9	50.1	...	...
1936	11	30.0	17.5	116.7	48.1	12.4	50.2	...	...
1937	12	30.9	17.1	105.8	43.8	13.8	48.6	...	...
1938	13	27.2	17.7	114.4	46.2	9.4	49.1	...	...
1939	14	26.6	17.8	106.2	44.3	8.9	49.2	...	...
1940	15	29.4	16.5	90.0	38.7	12.9	46.0	...	...
1941	16	31.8	16.0	84.1	34.2	15.7	43.4	...	...
1942	17	30.9	16.1	85.5	34.1	14.7	41.0	...	...
1943	18	30.9	16.7	86.6	33.8	14.3	39.6	...	...
1947	22	34.3	14.6	76.7	31.4	19.7	44.2	...	...
1948	23	33.5	11.9	61.7	27.5	21.6	50.9	* 36.9	* 10.9
1949	24	33.0	11.6	62.5	26.9	21.4	66.7	* 39.1	* 25.9
1950	25	28.1	10.9	60.1	27.4	17.2	84.9	41.7	43.2
1951	26	25.3	9.9	57.5	27.5	15.4	92.2	43.0	49.3
1952	27	23.4	8.9	49.4	25.4	14.4	92.3	42.8	49.5
1953	28	21.5	8.9	48.9	25.5	12.6	93.8	43.5	50.2
1954	29	20.0	8.2	44.6	24.1	11.9	95.6	44.6	51.1

注： \*印は概数による率である。  
 1) 死産率は死産数を出産数（死産数に出生数を加えたもの）で除している。

年 次		出生率	死亡率	乳児死亡率	新生児死亡率	自然増加率	死産率 <sup>1)</sup>	自然死産率	人工死産率
		(人口千対)	(人口千対)	(出生千対)	(出生千対)	(人口千対)	(出産千対)		
1955	昭和30年	19.4	7.8	39.8	22.3	11.6	95.8	44.5	51.3
1956	31	18.4	8.0	40.6	23.0	10.4	97.1	46.9	50.1
1957	32	17.2	8.3	40.0	21.6	8.9	101.2	49.9	51.3
1958	33	18.0	7.4	34.5	19.5	10.5	100.7	50.2	50.5
1959	34	17.5	7.4	33.7	18.6	10.1	100.6	51.3	49.3
1960	35	17.2	7.6	30.7	17.0	9.6	100.4	52.3	48.1
1961	36	16.9	7.4	28.6	16.5	9.5	101.7	54.3	47.4
1962	37	17.0	7.5	26.4	15.3	9.5	98.8	54.2	44.6
1963	38	17.3	7.0	23.2	13.8	10.3	95.6	53.3	42.4
1964	39	17.7	6.9	20.4	12.4	10.7	89.2	51.7	37.5
1965	40	18.6	7.1	18.5	11.7	11.4	81.4	47.6	33.8
1966	41	13.7	6.8	19.3	12.0	7.0	98.2	55.2	43.1
1967	42	19.4	6.8	14.9	9.9	12.7	71.6	43.6	28.0
1968	43	18.6	6.8	15.3	9.8	11.8	71.1	43.4	27.7
1969	44	18.5	6.8	14.2	9.1	11.7	68.6	42.3	26.3
1970	45	18.8	6.9	13.1	8.7	11.8	65.3	40.6	24.7
1971	46	19.2	6.6	12.4	8.2	12.6	61.4	39.3	22.1
1972	47	19.3	6.5	11.7	7.8	12.8	57.8	37.8	20.1
1973	48	19.4	6.6	11.3	7.4	12.8	52.6	35.6	17.0
1974	49	18.6	6.5	10.8	7.1	12.1	51.3	34.9	16.4
1975	50	17.1	6.3	10.0	6.8	10.8	50.8	33.8	17.1
1976	51	16.3	6.3	9.3	6.4	10.0	52.7	33.1	19.6
1977	52	15.5	6.1	8.9	6.1	9.4	51.5	32.6	18.9
1978	53	14.9	6.1	8.4	5.6	8.8	48.7	31.1	17.6
1979	54	14.2	6.0	7.9	5.2	8.3	47.7	29.6	18.1
1980	55	13.6	6.2	7.5	4.9	7.3	46.8	28.8	18.0
1981	56	13.0	6.1	7.1	4.7	6.9	49.2	28.8	20.5
1982	57	12.8	6.0	6.6	4.2	6.8	49.0	27.7	21.3
1983	58	12.7	6.2	6.2	3.9	6.5	45.5	25.4	20.1
1984	59	12.5	6.2	6.0	3.7	6.3	46.3	24.3	22.0
1985	60	11.9	6.3	5.5	3.4	5.6	46.0	22.1	23.9
1986	61	11.4	6.2	5.2	3.1	5.2	45.3	21.4	23.9
1987	62	11.1	6.2	5.0	2.9	4.9	45.3	21.2	24.0
1988	63	10.8	6.5	4.8	2.7	4.3	43.4	19.5	23.9
1989	平成元年	10.2	6.4	4.6	2.6	3.7	42.4	18.9	23.5
1990	2	10.0	6.7	4.6	2.6	3.3	42.3	18.3	23.9
1991	3	9.9	6.7	4.4	2.4	3.2	39.7	17.5	22.1
1992	4	9.8	6.9	4.5	2.4	2.9	38.9	17.2	21.6
1993	5	9.6	7.1	4.3	2.3	2.5	36.6	16.4	20.2
1994	6	10.0	7.1	4.2	2.3	2.9	33.5	15.4	18.1
1995	7	9.6	7.4	4.3	2.2	2.1	32.1	14.9	17.2
1996	8	9.7	7.2	3.8	2.0	2.5	31.7	14.7	17.0
1997	9	9.5	7.3	3.7	1.9	2.2	32.1	14.2	17.9
1998	10	9.6	7.5	3.6	2.0	2.1	31.4	13.6	17.8
1999	11	9.4	7.8	3.4	1.8	1.6	31.6	13.7	17.9
2000	12	9.5	7.7	3.2	1.8	1.8	31.2	13.2	18.1
2001	13	9.3	7.7	3.1	1.6	1.6	31.0	13.0	18.0
2002	14	9.2	7.8	3.0	1.7	1.4	31.1	12.7	18.3
2003	15	8.9	8.0	3.0	1.7	0.9	30.5	12.6	17.8
2004	16	8.8	8.2	2.8	1.5	0.7	30.0	12.5	17.5
2005	17	8.4	8.6	2.8	1.4	△ 0.2	29.1	12.3	16.7
2006	* 18	8.7	8.6	2.6	1.3	0.1	27.5	11.9	15.6

第2表 人口動態総覧（率）の年次推移 (2-2)

(参考)

年次	周産期死亡率 (出産千対) <sup>2)</sup>	婚姻率 (人口千対)	離婚率 (人口千対)	合計特殊出生率	年齢調整死亡率 <sup>3)</sup> (人口千対)		周産期死亡率 (出生千対) <sup>4)</sup>	
					男	女		
1899	明治 32 年	...	6.9	1.53	...	...	...	
1900	33	...	7.9	1.46	...	...	...	
1901	34	...	8.5	1.43	...	...	...	
1902	35	...	8.8	1.43	...	...	...	
1903	36	...	8.1	1.44	...	...	...	
1904	37	...	8.6	1.39	...	...	...	
1905	38	...	7.5	1.29	...	...	...	
1906	39	...	7.5	1.39	...	...	...	
1907	40	...	9.1	1.29	...	...	...	
1908	41	...	9.6	1.26	...	...	...	
1909	42	...	9.0	1.21	...	...	...	
1910	43	...	9.0	1.21	...	...	...	
1911	44	...	8.7	1.16	...	...	...	
1912	大正 元年	...	8.5	1.17	...	...	...	
1913	2	...	8.4	1.16	...	...	...	
1914	3	...	8.7	1.15	...	...	...	
1915	4	...	8.4	1.14	...	...	...	
1916	5	...	8.1	1.13	...	...	...	
1917	6	...	8.3	1.03	...	...	...	
1918	7	...	9.1	1.03	...	...	...	
1919	8	...	8.7	1.03	...	...	...	
1920	9	...	9.8	0.99	...	...	...	
1921	10	...	9.2	0.94	...	...	...	
1922	11	...	9.0	0.92	...	...	...	
1923	12	...	8.8	0.88	...	...	...	
1924	13	...	8.7	0.88	...	...	...	
1925	14	...	8.7	0.87	...	...	...	
1926	昭和 元年	...	8.3	0.83	...	...	...	
1927	2	...	7.9	0.82	...	...	...	
1928	3	...	8.0	0.78	...	...	...	
1929	4	...	7.8	0.81	...	...	...	
1930	5	...	7.9	0.80	...	...	...	
1931	6	...	7.6	0.77	...	...	...	
1932	7	...	7.8	0.77	...	...	...	
1933	8	...	7.2	0.73	...	...	...	
1934	9	...	7.5	0.71	...	...	...	
1935	10	...	8.0	0.70	...	...	...	
1936	11	...	7.8	0.66	...	...	...	
1937	12	...	9.5	0.66	...	...	...	
1938	13	...	7.6	0.63	...	...	...	
1939	14	...	7.8	0.64	...	...	...	
1940	15	...	9.3	0.68	...	...	...	
1941	16	...	11.0	0.69	...	...	...	
1942	17	...	9.4	0.64	...	...	...	
1943	18	...	10.2	0.68	...	...	...	
1947	22	...	12.0	1.02	4.54	23.6	18.3	...
1948	23	...	11.9	0.99	4.40	19.3	15.4	...
1949	24	...	10.3	1.01	4.32	18.9	15.0	...
1950	25	...	8.6	1.01	3.65	18.6	14.6	46.6
1951	26	...	7.9	0.97	3.26	16.9	13.4	46.7
1952	27	...	7.9	0.92	2.98	15.7	12.4	45.6
1953	28	...	7.8	0.86	2.69	16.4	12.6	46.0
1954	29	...	7.9	0.87	2.48	15.2	11.3	45.1

注：\*印は概数による率である。

- 2) 妊娠満22週以後の死産数に早期新生児死亡数を加えたものを出産数(妊娠満22週以後の死産数に出生数を加えたもの)で除している。
- 3) 年齢調整死亡率は、人口構成の異なる集団間での死亡率を比較するために、年齢階級別死亡率を一定の基準人口(昭和60年モデル人口)にあてはめて算出した指標である。
- 4) 妊娠満28週以後の死産数に早期新生児死亡数を加えたものを出生数で除している。

(参考)

年次		周産期 死亡率 <sup>2)</sup> (出産千対)	婚姻率 (人口千対)	離婚率	合計特殊 出生率	年齢調整死亡率 <sup>3)</sup> (人口千対)		周産期 死亡率 <sup>4)</sup> (出生千対)
						男	女	
1955	昭和 30 年	...	8.0	0.84	2.37	14.8	11.0	43.9
1956	31	...	7.9	0.80	2.22	15.6	11.5	45.5
1957	32	...	8.5	0.79	2.04	16.3	11.8	45.0
1958	33	...	9.0	0.80	2.11	14.4	10.4	43.9
1959	34	...	9.1	0.78	2.04	14.4	10.2	43.0
1960	35	...	9.3	0.74	2.00	14.8	10.4	41.4
1961	36	...	9.4	0.74	1.96	14.3	10.0	40.9
1962	37	...	9.8	0.75	1.98	14.6	10.0	38.7
1963	38	...	9.7	0.73	2.00	13.4	9.3	36.2
1964	39	...	9.9	0.74	2.05	13.2	9.1	33.1
1965	40	...	9.7	0.79	2.14	13.7	9.3	30.1
1966	41	...	9.5	0.80	1.58	12.7	8.7	31.3
1967	42	...	9.6	0.84	2.23	12.6	8.5	26.3
1968	43	...	9.5	0.87	2.13	12.5	8.4	24.5
1969	44	...	9.6	0.89	2.13	12.4	8.2	23.0
1970	45	...	10.0	0.93	2.13	12.3	8.2	21.7
1971	46	...	10.5	0.99	2.16	11.5	7.6	20.4
1972	47	...	10.4	1.02	2.14	11.2	7.4	19.0
1973	48	...	9.9	1.04	2.14	11.2	7.4	18.0
1974	49	...	9.1	1.04	2.05	10.9	7.2	16.9
1975	50	...	8.5	1.07	1.91	10.4	6.9	16.0
1976	51	...	7.8	1.11	1.85	10.1	6.6	14.8
1977	52	...	7.2	1.14	1.80	9.6	6.2	14.1
1978	53	...	6.9	1.15	1.79	9.4	6.0	13.0
1979	54	21.6	6.8	1.17	1.77	9.0	5.7	12.5
1980	55	20.2	6.7	1.22	1.75	9.2	5.8	11.7
1981	56	19.5	6.6	1.32	1.74	8.9	5.6	10.8
1982	57	18.3	6.6	1.39	1.77	8.5	5.2	10.1
1983	58	16.9	6.4	1.51	1.80	8.6	5.2	9.3
1984	59	16.6	6.2	1.50	1.81	8.3	5.0	8.7
1985	60	15.4	6.1	1.39	1.76	8.1	4.8	8.0
1986	61	14.6	5.9	1.37	1.72	7.8	4.6	7.3
1987	62	13.7	5.7	1.30	1.69	7.6	4.4	6.9
1988	63	12.7	5.8	1.26	1.66	7.7	4.5	6.5
1989	平成 元年	12.1	5.8	1.29	1.57	7.4	4.2	6.0
1990	2	11.1	5.9	1.28	1.54	7.5	4.2	5.7
1991	3	8.5	6.0	1.37	1.53	7.4	4.1	5.3
1992	4	8.1	6.1	1.45	1.50	7.4	4.0	5.2
1993	5	7.7	6.4	1.52	1.46	7.3	4.0	5.0
1994	6	7.5	6.3	1.57	1.50	7.1	3.8	5.0
1995	7	7.0	6.4	1.60	1.42	7.2	3.8	4.7
1996	8	6.7	6.4	1.66	1.43	6.8	3.6	4.4
1997	9	6.4	6.2	1.78	1.39	6.7	3.5	4.2
1998	10	6.2	6.3	1.94	1.38	6.6	3.4	4.1
1999	11	6.0	6.1	2.00	1.34	6.7	3.4	4.0
2000	12	5.8	6.4	2.10	1.36	6.3	3.2	3.8
2001	13	5.5	6.4	2.27	1.33	6.2	3.1	3.6
2002	14	5.5	6.0	2.30	1.32	6.0	3.0	3.7
2003	15	5.3	5.9	2.25	1.29	6.0	3.0	3.6
2004	16	5.0	5.7	2.15	1.29	5.9	3.0	3.3
2005	17	4.8	5.7	2.08	1.26	5.9	3.0	3.3
2006	* 18	4.6	5.8	2.04	1.32	...	...	3.1

第3表 出生数の年次推移，母の年齢（5歳階級）別

母の年齢	昭和50年	60	平成7年	15	16	17	18
総 <sup>1)</sup> 数	1 901 440	1 431 577	1 187 064	1 123 610	1 110 721	1 062 530	1 092 662
～14歳	9	23	37	49	45	42	41
15～19	15 990	17 854	16 075	19 532	18 546	16 531	15 933
20～24	479 041	247 341	193 514	142 068	136 486	128 135	130 929
25～29	1 014 624	682 885	492 714	395 975	370 220	339 328	335 766
30～34	320 060	381 466	371 773	408 585	415 903	404 700	417 773
35～39	62 663	93 501	100 053	139 489	150 222	153 440	170 773
40～44	8 727	8 224	12 472	17 478	18 790	19 750	21 605
45～49	312	244	414	402	483	564	523
50歳以上	7	1	-	19	16	34	9

注：1) 総数には母の年齢不詳を含む。

第4表 出生数の年次推移，出生順位別

出生順位	昭和50年	60	平成7年	15	16	17	18
総数	1 901 440	1 431 577	1 187 064	1 123 610	1 110 721	1 062 530	1 092 662
第1子	862 356	602 005	567 530	547 170	537 913	512 412	524 574
第2子	767 669	562 920	428 394	419 100	417 647	399 307	408 529
第3子以上	271 415	266 652	191 140	157 340	155 161	150 811	159 559

第5表 死亡率（人口10万対）の年次推移，性・年齢（5歳階級）別

総数 (3-1)

年 齢	昭和30年	40	50	60	平成7年	17	18
総数 <sup>1)</sup>	776.8	712.7	631.2	625.5	741.9	858.8	859.7
0～4歳	1 074.8	523.4	260.5	145.3	118.3	73.9	72.3
5～9	129.0	57.8	36.1	21.1	19.0	11.1	10.4
10～14	68.9	39.4	24.9	16.5	15.9	9.8	9.6
15～19	127.4	68.0	60.2	47.2	39.6	27.6	28.0
20～24	230.7	114.7	81.4	57.1	52.1	46.9	44.5
25～29	254.6	133.5	82.6	60.9	53.4	51.5	50.7
30～34	272.3	162.9	106.5	74.5	64.4	62.0	59.6
35～39	321.6	214.7	152.9	104.2	88.7	86.9	81.3
40～44	419.4	292.8	241.6	175.6	143.7	128.5	128.5
45～49	617.2	458.0	354.8	277.1	228.9	205.9	201.6
50～54	936.3	713.4	510.8	455.6	371.5	331.3	316.5
55～59	1 403.6	1 147.9	802.9	654.3	565.3	484.9	474.9
60～64	2 229.4	1 922.6	1 297.2	948.7	917.4	730.1	720.0
65～69	3 556.2	3 161.2	2 230.4	1 554.0	1 397.9	1 088.9	1 045.2
70～74	5 756.7	5 297.3	3 931.4	2 717.5	2 191.5	1 821.1	1 729.3
75～79	8 831.6	8 927.2	6 712.6	4 980.5	3 827.8	3 029.1	2 953.0
80～84	13 110.6	14 918.1	11 461.4	8 540.5	6 882.0	5 109.4	4 895.9
85～89	19 985.6	21 656.2	18 042.0	14 725.6	11 847.5	8 947.0	8 626.9
90～94 <sup>2)</sup>	29 973.2	28 683.1	29 126.2	23 364.8	21 468.2	15 167.7	14 694.7
95～99	...	...	...	...	...	23 894.8	22 969.8
100歳以上	...	...	...	...	...	37 771.1	35 655.2

注：1) 総数には年齢不詳を含む。

2) 昭和30年～平成7年の90～94歳は90歳以上の数値である。

第5表 死亡率（人口10万対）の年次推移，性・年齢（5歳階級）別

男 (3-2)

年 齢	昭和30年	40	50	60	平成7年	17	18
総 数 <sup>1)</sup>	832.7	785.0	690.4	690.6	822.9	949.4	944.3
0～4歳	1 136.2	587.6	292.6	158.8	129.0	80.6	77.2
5～9	145.0	70.7	44.7	26.6	22.6	13.5	11.5
10～14	75.0	48.4	30.0	19.9	18.8	11.8	11.7
15～19	147.4	91.7	86.5	69.8	55.4	36.4	37.0
20～24	270.1	149.2	107.0	81.4	73.1	62.4	59.3
25～29	284.5	162.2	103.5	80.7	73.3	70.1	66.3
30～34	293.2	199.8	132.3	93.3	81.7	80.5	78.2
35～39	345.6	260.1	194.2	131.9	113.5	113.1	105.3
40～44	466.6	360.0	315.8	227.7	183.8	169.3	167.2
45～49	713.6	566.8	458.8	371.7	295.2	275.6	268.8
50～54	1 102.4	892.5	654.2	624.6	498.6	448.1	424.5
55～59	1 688.0	1 465.3	1 070.5	906.7	784.7	675.9	660.5
60～64	2 724.3	2 483.4	1 720.9	1 314.9	1 311.6	1 046.2	1 041.4
65～69	4 342.3	4 022.8	2 949.0	2 159.4	2 002.8	1 559.7	1 494.0
70～74	6 986.0	6 641.2	5 045.4	3 707.7	3 154.7	2 637.3	2 490.6
75～79	10 495.3	10 802.0	8 267.6	6 581.0	5 461.1	4 401.7	4 288.8
80～84	15 182.6	17 517.4	13 470.6	10 799.1	9 484.5	7 328.5	6 975.4
85～89	22 368.0	25 131.8	20 562.4	18 136.2	15 648.6	12 638.9	12 103.3
90～94 <sup>2)</sup>	35 271.9	30 164.6	30 858.0	25 429.3	26 734.7	20 217.3	19 467.9
95～99	…	…	…	…	…	30 937.2	29 604.4
100歳以上	…	…	…	…	…	46 157.9	43 350.0

注：1) 総数には年齢不詳を含む。

2) 昭和30年～平成7年の90～94歳は90歳以上の数値である。

第5表 死亡率（人口10万対）の年次推移，性・年齢（5歳階級）別

女 (3-3)

年 齢	昭和30年	40	50	60	平成7年	17	18
総 数 <sup>1)</sup>	722.8	643.1	574.0	562.7	664.0	772.3	779.0
0～4歳	1 010.7	456.6	226.8	131.2	107.2	66.9	67.1
5～9	112.2	44.3	27.1	15.3	15.2	8.6	9.3
10～14	62.6	30.2	19.5	13.1	12.9	7.8	7.4
15～19	107.2	43.7	33.0	23.7	22.9	18.4	18.5
20～24	191.3	80.8	55.5	31.8	30.2	30.5	28.9
25～29	225.2	105.2	61.5	40.7	32.8	32.2	34.5
30～34	254.8	125.6	80.6	55.6	46.6	43.1	40.4
35～39	301.7	169.3	111.6	76.0	63.5	60.2	56.7
40～44	377.6	236.0	167.0	124.1	103.2	86.9	88.9
45～49	525.0	368.2	252.2	184.6	162.1	135.8	134.0
50～54	769.3	556.9	392.6	289.7	246.8	214.9	208.9
55～59	1 117.5	852.2	590.4	414.9	353.7	297.4	293.0
60～64	1 751.3	1 392.7	948.6	663.0	548.9	430.7	416.0
65～69	2 866.9	2 379.6	1 630.1	1 106.4	864.2	659.0	634.3
70～74	4 843.1	4 187.7	3 036.7	1 998.4	1 513.4	1 130.4	1 081.7
75～79	7 765.1	7 611.8	5 590.0	3 871.3	2 814.8	1 998.0	1 941.4
80～84	11 982.3	13 493.9	10 227.3	7 165.7	5 429.7	3 870.6	3 683.7
85～89	18 945.1	20 153.1	16 820.0	13 067.1	10 072.4	7 364.1	7 154.9
90～94 <sup>2)</sup>	28 149.7	28 134.0	28 499.9	22 490.8	19 574.7	13 480.3	13 113.2
95～99	…	…	…	…	…	22 176.4	21 398.4
100歳以上	…	…	…	…	…	36 310.6	35 858.3

注：1) 総数には年齢不詳を含む。

2) 昭和30年～平成7年の90～94歳は90歳以上の数値である。



第6表 死亡数・死亡率（人口10万対），死因简单分類別

(4-1)

死因简单 分類コード	死 因	死 亡 数		死 亡 率		死亡総数 に占める 割合(%)
		平成18年	平成17年	平成18年	平成17年	平成18年
	総 数	1 084 488	1 083 796	859.7	858.8	100.0
01000	感染症及び寄生虫症	23 904	23 538	18.9	18.7	2.2
01100	腸管感染症	2 189	1 752	1.7	1.4	0.2
01200	結 核	2 267	2 296	1.8	1.8	0.2
01201	呼吸器結核	1 995	2 086	1.6	1.7	0.2
01202	その他の結核	272	210	0.2	0.2	0.0
01300	敗 血 症	8 850	8 504	7.0	6.7	0.8
01400	ウイルス肝炎	5 809	6 042	4.6	4.8	0.5
01401	B型ウイルス肝炎	688	786	0.5	0.6	0.1
01402	C型ウイルス肝炎	4 782	4 855	3.8	3.8	0.4
01403	その他のウイルス肝炎	339	401	0.3	0.3	0.0
01500	ヒト免疫不全ウイルス [H I V] 病	60	69	0.0	0.1	0.0
01600	その他の感染症及び寄生虫症	4 729	4 875	3.7	3.9	0.4
02000	新 生 物	339 298	335 870	269.0	266.1	31.3
02100	悪性新生物	329 198	325 941	260.9	258.3	30.4
02101	口唇、口腔及び咽頭の悪性新生物	5 540	5 679	4.4	4.5	0.5
02102	食道の悪性新生物	11 344	11 182	9.0	8.9	1.0
02103	胃の悪性新生物	50 402	50 311	40.0	39.9	4.6
02104	結腸の悪性新生物	27 300	27 121	21.6	21.5	2.5
02105	直腸S状結腸移行部及び 直腸の悪性新生物	13 733	13 709	10.9	10.9	1.3
02106	肝及び肝内胆管の悪性新生物	33 660	34 268	26.7	27.2	3.1
02107	胆のう及び その他の胆道の悪性新生物	16 844	16 586	13.4	13.1	1.6
02108	膵の悪性新生物	23 344	22 927	18.5	18.2	2.2
02109	喉頭の悪性新生物	1 003	1 090	0.8	0.9	0.1
02110	気管、気管支及び肺の悪性新生物	63 234	62 063	50.1	49.2	5.8
02111	皮膚の悪性新生物	1 261	1 207	1.0	1.0	0.1
02112	乳房の悪性新生物	11 272	10 808	8.9	8.6	1.0
02113	子宮の悪性新生物 <sup>1)</sup>	5 510	5 381	8.5	8.3	0.5
02114	卵巣の悪性新生物 <sup>1)</sup>	4 436	4 467	6.9	6.9	0.4
02115	前立腺の悪性新生物 <sup>2)</sup>	9 525	9 265	15.5	15.0	0.9
02116	膀胱の悪性新生物	6 125	6 029	4.9	4.8	0.6

注：1) 女子人口10万に対する率である。

2) 男子人口10万に対する率である。

死因簡単 分類コード	死 因	死 亡 数		死 亡 率		死亡総数 に占める 割合(%)
		平成18年	平成17年	平成18年	平成17年	
02117	中枢神経系の悪性新生物	1 708	1 681	1.4	1.3	0.2
02118	悪性リンパ腫	8 633	8 537	6.8	6.8	0.8
02119	白血球	7 427	7 283	5.9	5.8	0.7
02120	その他のリンパ組織、造血組織及び 関連組織の悪性新生物	3 908	3 932	3.1	3.1	0.4
02121	その他の悪性新生物	22 989	22 415	18.2	17.8	2.1
02200	その他の新生物	10 100	9 929	8.0	7.9	0.9
02201	中枢神経系のその他の新生物	2 985	2 864	2.4	2.3	0.3
02202	中枢神経系を除くその他の新生物	7 115	7 065	5.6	5.6	0.7
03000	血液及び造血器の疾患並びに 免疫機構の障害	4 176	4 173	3.3	3.3	0.4
03100	貧 血	1 588	1 668	1.3	1.3	0.1
03200	その他の血液及び造血器の疾患 並びに免疫機構の障害	2 588	2 505	2.1	2.0	0.2
04000	内分泌、栄養及び代謝疾患	19 594	19 726	15.5	15.6	1.8
04100	糖 尿 病	13 632	13 621	10.8	10.8	1.3
04200	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	5 962	6 105	4.7	4.8	0.5
05000	精神及び行動の障害	5 157	4 602	4.1	3.6	0.5
05100	血管性及び詳細不明の認知症 <sup>3)</sup>	3 915	3 334	3.1	2.6	0.4
05200	その他の精神及び行動の障害	1 242	1 268	1.0	1.0	0.1
06000	神経系の疾患	14 232	13 004	11.3	10.3	1.3
06100	髄 膜 炎	342	378	0.3	0.3	0.0
06200	脊髄性筋萎縮症及び関連症候群	1 759	1 730	1.4	1.4	0.2
06300	パーキンソン病	3 855	3 634	3.1	2.9	0.4
06400	アルツハイマー病	2 283	1 814	1.8	1.4	0.2
06500	その他の神経系の疾患	5 993	5 448	4.8	4.3	0.6
07000	眼及び付属器の疾患	10	3	0.0	0.0	0.0
08000	耳及び乳様突起の疾患	15	14	0.0	0.0	0.0
09000	循環器系の疾患	324 504	329 475	257.2	261.1	29.9
09100	高血圧性疾患	5 806	5 835	4.6	4.6	0.5
09101	高血圧性心疾患及び心腎疾患	3 347	3 470	2.7	2.7	0.3
09102	その他の高血圧性疾患	2 459	2 365	1.9	1.9	0.2
09200	心疾患（高血圧性を除く）	172 875	173 125	137.0	137.2	15.9
09201	慢性リウマチ性心疾患	2 440	2 520	1.9	2.0	0.2
09202	急性心筋梗塞	45 039	47 193	35.7	37.4	4.2
09203	その他の虚血性心疾患	30 293	29 310	24.0	23.2	2.8
09204	慢性非リウマチ性心内膜疾患	7 472	7 532	5.9	6.0	0.7

注：3) 「統計調査に用いる産業分類並びに疾病、障害及び死因分類を定める政令の規定に基づき、疾病、障害及び死因に関する分類の名称及び分類表を定める等の件」（平成6年総務省告示第75号）の一部改正（平成18年1月1日施行）に伴い、分類名が変更された。

第6表 死亡数・死亡率（人口10万対），死因簡単分類別

（4-3）

死因簡単 分類コード	死 因	死 亡 数		死 亡 率		死亡総数 に占める 割合(%)
		平成18年	平成17年	平成18年	平成17年	平成18年
09205	心筋症	3 649	3 625	2.9	2.9	0.3
09206	不整脈及び伝導障害	21 284	22 517	16.9	17.8	2.0
09207	心不全	58 403	56 327	46.3	44.6	5.4
09208	その他の心疾患	4 295	4 101	3.4	3.2	0.4
09300	脳血管疾患	128 203	132 847	101.6	105.3	11.8
09301	くも膜下出血	14 462	14 883	11.5	11.8	1.3
09302	脳内出血	33 264	33 362	26.4	26.4	3.1
09303	脳梗塞	76 975	80 964	61.0	64.2	7.1
09304	その他の脳血管疾患	3 502	3 638	2.8	2.9	0.3
09400	大動脈瘤及び解離	11 635	11 392	9.2	9.0	1.1
09500	その他の循環器系疾患	5 985	6 276	4.7	5.0	0.6
10000	呼吸器系の疾患	162 801	165 999	129.0	131.5	15.0
10100	インフルエンザ	866	1 818	0.7	1.4	0.1
10200	肺炎	107 189	107 241	85.0	85.0	9.9
10300	急性気管支炎	853	962	0.7	0.8	0.1
10400	慢性閉塞性肺疾患	14 341	14 416	11.4	11.4	1.3
10500	喘息	2 770	3 198	2.2	2.5	0.3
10600	その他の呼吸器系の疾患	36 782	38 364	29.2	30.4	3.4
11000	消化器系の疾患	42 352	41 802	33.6	33.1	3.9
11100	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	3 390	3 490	2.7	2.8	0.3
11200	ヘルニア及び腸閉塞	5 579	5 260	4.4	4.2	0.5
11300	肝疾患	16 248	16 430	12.9	13.0	1.5
11301	肝硬変（アルコール性を除く）	9 063	9 387	7.2	7.4	0.8
11302	その他の肝疾患	7 185	7 043	5.7	5.6	0.7
11400	その他の消化器系の疾患	17 135	16 622	13.6	13.2	1.6
12000	皮膚及び皮下組織の疾患	983	969	0.8	0.8	0.1
13000	筋骨格系及び結合組織の疾患	4 672	4 603	3.7	3.6	0.4
14000	腎尿路生殖器系の疾患 <sup>3)</sup>	27 872	26 952	22.1	21.4	2.6
14100	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	3 160	3 028	2.5	2.4	0.3
14200	腎不全	21 182	20 528	16.8	16.3	2.0
14201	急性腎不全	4 013	4 012	3.2	3.2	0.4
14202	慢性腎不全	12 064	11 539	9.6	9.1	1.1
14203	詳細不明の腎不全	5 105	4 977	4.0	3.9	0.5
14300	その他の腎尿路生殖器系の疾患 <sup>3)</sup>	3 530	3 396	2.8	2.7	0.3

注：3）「統計調査に用いる産業分類並びに疾病、障害及び死因分類を定める政令の規定に基づき、疾病、障害及び死因に関する分類の名称及び分類表を定める等の件」（平成6年総務省告示第75号）の一部改正（平成18年1月1日施行）に伴い、分類名が変更された。

死因簡単 分類コード	死 因	死 亡 数		死 亡 率		死亡総数 に占める 割合(%)
		平成18年	平成17年	平成18年	平成17年	平成18年
15000	妊娠, 分娩及び産じょく <sup>1)</sup>	63	66	0.1	0.1	0.0
16000	周産期に発生した病態	828	842	0.7	0.7	0.1
16100	妊娠期間及び胎児発育に関連する障害	86	67	0.1	0.1	0.0
16200	出産外傷	9	7	0.0	0.0	0.0
16300	周産期に特異的な呼吸障害 及び心血管障害	402	425	0.3	0.3	0.0
16400	周産期に特異的な感染症	69	64	0.1	0.1	0.0
16500	胎児及び新生児の出血性障害 及び血液障害	151	161	0.1	0.1	0.0
16600	その他の周産期に発生した病態	111	118	0.1	0.1	0.0
17000	先天奇形, 変形及び染色体異常	2 302	2 324	1.8	1.8	0.2
17100	神経系の先天奇形	96	119	0.1	0.1	0.0
17200	循環器系の先天奇形	1 174	1 215	0.9	1.0	0.1
17201	心臓の先天奇形	883	931	0.7	0.7	0.1
17202	その他の循環器系の先天奇形	291	284	0.2	0.2	0.0
17300	消化器系の先天奇形	107	97	0.1	0.1	0.0
17400	その他の先天奇形及び変形	634	663	0.5	0.5	0.1
17500	染色体異常, 他に分類されないもの	291	230	0.2	0.2	0.0
18000	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査 所見で他に分類されないもの	38 846	34 454	30.8	27.3	3.6
18100	老 衰	27 745	26 360	22.0	20.9	2.6
18200	乳幼児突然死症候群	193	196	0.2	0.2	0.0
18300	その他の症状, 徴候及び異常臨床所見 ・異常検査所見で他に分類されないもの	10 908	7 898	8.6	6.3	1.0
20000	傷病及び死亡の外因	72 879	75 380	57.8	59.7	6.7
20100	不慮の事故	38 145	39 863	30.2	31.6	3.5
20101	交通事故	8 980	10 028	7.1	7.9	0.8
20102	転倒・転落	6 286	6 702	5.0	5.3	0.6
20103	不慮の溺死及び溺水	6 027	6 222	4.8	4.9	0.6
20104	不慮の窒息	9 101	9 319	7.2	7.4	0.8
20105	煙, 火及び火災への曝露	1 534	1 593	1.2	1.3	0.1
20106	有害物質による不慮の中毒及び 有害物質への曝露	842	891	0.7	0.7	0.1
20107	その他の不慮の事故	5 375	5 108	4.3	4.0	0.5
20200	自 殺	29 887	30 553	23.7	24.2	2.8
20300	他 殺	581	600	0.5	0.5	0.1
20400	その他の外因	4 266	4 364	3.4	3.5	0.4
22000	特殊目的用コード <sup>1)</sup>	-	...	-	...	-
22100	重症急性呼吸器症候群 [SARS]	-	...	-	...	-

注: 4) 「統計調査に用いる産業分類並びに疾病、障害及び死因分類を定める政令の規定に基づき、疾病、障害及び死因に関する分類の名称及び分類表を定める等の件」(平成6年総務省告示第75号)の一部改正(平成18年1月1日施行)に伴い、追加された。

第7表 死因順位<sup>1)</sup> (1~5位) 別死亡数・死亡率 (人口10万対), 性・

総数 (3-1)

年 齢	第1位			第2位			第3位		
	死 因	死亡数	死亡率	死 因	死亡数	死亡率	死 因	死亡数	死亡率
3) 総 数	悪性新生物	329 198	260.9	心 疾 患	172 825	137.0	脳血管疾患	128 203	101.6
2) 0 歳	先天奇形等	1 003	91.8	呼吸障害等	389	35.6	乳幼児突然死群 症候群	176	16.1
1~4	不慮の事故	206	4.7	先天奇形等	163	3.7	悪性新生物	87	2.0
5~9	不慮の事故	169	2.9	悪性新生物	114	1.9	先天奇形等	48	0.8
10~14	悪性新生物	133	2.2	不慮の事故	106	1.8	自 殺	76	1.3
15~19	不慮の事故	606	9.5	自 殺	500	7.9	悪性新生物	189	3.0
20~24	自 殺	1 392	19.6	不慮の事故	740	10.4	悪性新生物	255	3.6
25~29	自 殺	1 780	22.8	不慮の事故	659	8.5	悪性新生物	446	5.7
30~34	自 殺	1 439	15.2	悪性新生物	925	9.8	不慮の事故	722	7.6
35~39	自 殺	2 153	23.7	悪性新生物	1 657	18.2	心 疾 患	790	8.7
40~44	悪性新生物	2 834	36.2	自 殺	2 238	28.6	心 疾 患	1 204	15.4
45~49	悪性新生物	5 280	69.6	自 殺	2 401	31.7	心 疾 患	1 909	25.2
50~54	悪性新生物	10 928	131.1	心 疾 患	3 099	37.2	自 殺	2 819	33.8
55~59	悪性新生物	23 130	215.1	心 疾 患	6 205	57.7	脳血管疾患	4 529	42.1
60~64	悪性新生物	27 688	342.2	心 疾 患	7 334	90.6	脳血管疾患	5 114	63.2
65~69	悪性新生物	37 000	487.8	心 疾 患	10 156	133.9	脳血管疾患	7 055	93.0
70~74	悪性新生物	50 912	750.3	心 疾 患	15 812	233.0	脳血管疾患	11 815	174.1
75~79	悪性新生物	58 532	1 085.3	心 疾 患	23 566	437.0	脳血管疾患	18 460	342.3
80~84	悪性新生物	50 414	1 383.5	心 疾 患	30 171	828.0	脳血管疾患	23 604	647.7
85~89	悪性新生物	34 417	1 780.5	心 疾 患	31 598	1 634.7	肺 炎	24 465	1 265.6
90~94	心 疾 患	26 397	2 972.6	肺 炎	22 286	2 509.7	脳血管疾患	19 137	2 155.1
95~99	心 疾 患	11 304	4 810.2	肺 炎	9 827	4 181.7	脳血管疾患	7 332	3 120.0
100歳以上	老 衰	2 411	8 313.8	心 疾 患	2 016	6 951.7	肺 炎	1 904	6 565.5

注: 1) (1) 乳児(0歳)の死因については乳児死因順位に用いる分類項目を使用している。

(2) 死因名は次のように略称した。

心疾患←心疾患(高血圧性を除く)

先天奇形等←先天奇形, 変形及び染色体異常

呼吸障害等←周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害

出血性障害等←胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害

2) 0歳の死亡率は出生10万に対する率である。

3) 総数には年齢不詳を含む。

# 年齢（5歳階級）別

平成18年

第4位			第5位			年 齢
死 因	死亡数	死亡率	死 因	死亡数	死亡率	
肺 炎	107 189	85.0	不慮の事故	38 145	30.2	総 数
出血性障害等	150	13.7	不慮の事故	148	13.5	0 歳
心 疾 患	75	1.7	肺 炎	56	1.3	1～4
肺 炎	29	0.5	心 疾 患	28	0.5	5～9
心 疾 患	43	0.7	先 天 奇 形 等	34	0.6	10～14
心 疾 患	90	1.4	脳 血 管 疾 患	33	0.5	15～19
心 疾 患	170	2.4	肺 炎	49	0.7	20～24
心 疾 患	279	3.6	脳 血 管 疾 患	84	1.1	25～29
心 疾 患	1 439	15.2	脳 血 管 疾 患	231	2.4	30～34
不慮の事故	780	8.6	脳 血 管 疾 患	437	4.8	35～39
不慮の事故	808	10.3	脳 血 管 疾 患	803	10.3	40～44
脳 血 管 疾 患	1 441	19.0	不慮の事故	936	12.3	45～49
脳 血 管 疾 患	2 436	29.2	不慮の事故	1 323	15.9	50～54
自 殺	3 962	36.8	不慮の事故	2 357	21.9	55～59
自 殺	2 682	33.1	不慮の事故	2 309	28.5	60～64
肺 炎	3 365	44.4	不慮の事故	2 855	37.6	65～69
肺 炎	6 930	102.1	不慮の事故	3 916	57.7	70～74
肺 炎	13 618	252.5	不慮の事故	5 239	97.1	75～79
肺 炎	20 738	569.1	不慮の事故	5 583	153.2	80～84
脳 血 管 疾 患	24 403	1 262.4	老 衰	5 377	278.2	85～89
悪 性 新 生 物	18 599	2 094.5	老 衰	9 484	1 068.0	90～94
老 衰	6 982	2 971.1	悪 性 新 生 物	5 082	2 162.6	95～99
脳 血 管 疾 患	1 173	4 044.8	悪 性 新 生 物	537	1 851.7	100歳以上

第7表 死因順位<sup>1)</sup> (1~5位) 別死亡数・死亡率 (人口10万対), 性・

男 (3-2)

年 齢	第1位			第2位			第3位		
	死 因	死亡数	死亡率	死 因	死亡数	死亡率	死 因	死亡数	死亡率
3) 総 数	悪性新生物	197 984	321.6	心 疾 患	82 715	134.3	脳血管疾患	61 314	99.6
2) 0 歳	先天奇形等	541	96.5	呼吸障害等	195	34.8	乳幼児突然死候群	111	19.8
1~4	不慮の事故	118	5.3	先天奇形等	95	4.2	悪性新生物	46	2.1
5~9	不慮の事故	109	3.6	悪性新生物	66	2.2	先天奇形等	23	0.8
10~14	悪性新生物	74	2.4	不慮の事故	71	2.3	自 殺	56	1.8
15~19	不慮の事故	470	14.4	自 殺	324	9.9	悪性新生物	112	3.4
20~24	自 殺	933	25.5	不慮の事故	602	16.5	悪性新生物	139	3.8
25~29	自 殺	1 226	30.9	不慮の事故	507	12.8	悪性新生物	225	5.7
30~34	自 殺	1 439	30.0	不慮の事故	580	12.1	悪性新生物	428	8.9
35~39	自 殺	1 588	34.5	悪性新生物	704	15.3	不慮の事故	622	13.5
40~44	自 殺	1 709	43.2	悪性新生物	1 251	31.6	心 疾 患	934	23.6
45~49	悪性新生物	2 618	68.8	自 殺	1 933	50.8	心 疾 患	1 500	39.4
50~54	悪性新生物	6 075	146.1	心 疾 患	2 437	58.6	自 殺	2 199	52.9
55~59	悪性新生物	14 306	268.8	心 疾 患	4 874	91.6	脳血管疾患	3 144	59.1
60~64	悪性新生物	18 642	473.7	心 疾 患	5 567	141.5	脳血管疾患	3 564	90.6
65~69	悪性新生物	25 122	693.0	心 疾 患	7 229	199.4	脳血管疾患	4 698	129.6
70~74	悪性新生物	34 580	1 108.7	心 疾 患	10 123	324.6	脳血管疾患	7 552	242.1
75~79	悪性新生物	38 833	1 671.0	心 疾 患	13 489	580.4	脳血管疾患	10 931	470.4
80~84	悪性新生物	29 262	2 178.9	心 疾 患	13 746	1 023.5	肺 炎	12 351	919.7
85~89	悪性新生物	16 309	2 836.3	肺 炎	12 055	2 096.5	心 疾 患	11 138	1 937.0
90~94	肺 炎	8 920	4 036.2	心 疾 患	7 406	3 351.1	悪性新生物	7 376	3 337.6
95~99	肺 炎	3 003	6 673.3	心 疾 患	2 434	5 408.9	悪性新生物	1 658	3 684.4
100歳以上	肺 炎	394	9 850.0	老 衰	328	8 200.0	心 疾 患	283	7 075.0

注：1) [1] 乳児(0歳)の死因については乳児死因順位に用いる分類項目を使用している。

[2] 死因名は次のように略称した。

心疾患←心疾患(高血圧性を除く)

先天奇形等←先天奇形, 変形及び染色体異常

呼吸障害等←周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害

出血性障害等←胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害

2) 0歳の死亡率は出生10万に対する率である。

3) 総数には年齢不詳を含む。

# 年齢(5歳階級)別

平成18年

第4位			第5位			年 齢
死 因	死亡数	死亡率	死 因	死亡数	死亡率	
肺 炎	56 544	91.8	不 慮 の 事 故	23 265	37.8	総 数
不 慮 の 事 故	90	16.1	出 血 性 障 害 等	81	14.5	0 歳
心 疾 患	41	1.8	肺 炎	31	1.4	1~4
肺 炎	17	0.6	心 疾 患 殺	15	0.5	5~9
心 疾 患	27	0.9	先 天 奇 形 等	21	0.7	10~14
心 疾 患	61	1.9	そ の 他 新 生 物 等	19	0.6	15~19
心 疾 患	126	3.4	先 天 奇 形 等			
心 疾 患	207	5.2	肺 炎	27	0.7	20~24
心 疾 患	1 439	30.0	脳 血 管 疾 患	52	1.3	25~29
心 疾 患	611	13.3	脳 血 管 疾 患	165	3.4	30~34
不 慮 の 事 故	639	16.2	脳 血 管 疾 患	308	6.7	35~39
脳 血 管 疾 患	1 006	26.4	脳 血 管 疾 患	538	13.6	40~44
脳 血 管 疾 患	1 677	40.3	不 慮 の 事 故	734	19.3	45~49
自 殺	3 117	58.6	不 慮 の 事 故	1 009	24.3	50~54
自 殺	2 019	51.3	不 慮 の 事 故	1 759	33.0	55~59
肺 炎	2 499	68.9	不 慮 の 事 故	1 683	42.8	60~64
肺 炎	5 003	160.4	不 慮 の 事 故	1 955	53.9	65~69
肺 炎	9 393	404.2	不 慮 の 事 故	2 555	81.9	70~74
脳 血 管 疾 患	11 186	832.9	不 慮 の 事 故	3 211	138.2	75~79
脳 血 管 疾 患	9 073	1 577.9	不 慮 の 事 故	2 953	219.9	80~84
脳 血 管 疾 患	5 535	2 504.5	慢 性 閉 塞 性 肺 疾 患	2 135	371.3	85~89
脳 血 管 疾 患	1 618	3 595.6	老 衰	2 146	971.0	90~94
脳 血 管 疾 患	174	4 350.0	老 衰	1 323	2 940.0	95~99
			悪 性 新 生 物	135	3 375.0	100歳以上



第7表 死因順位<sup>1)</sup> (1~5位) 別死亡数・死亡率 (人口10万対), 性・

女 (3-3)

年 齢	第1位			第2位			第3位		
	死 因	死亡数	死亡率	死 因	死亡数	死亡率	死 因	死亡数	死亡率
<sup>3)</sup> 総 数	悪性新生物	131 214	203.2	心 疾 患	90 160	139.6	脳血管疾患	66 889	103.6
<sup>2)</sup> 0 歳	先天奇形等	462	86.8	呼吸障害等	194	36.5	出血性障害等	69	13.0
1~4	不慮の事故	88	4.1	先天奇形等	68	3.2	悪性新生物	41	1.9
5~9	不慮の事故	60	2.1	悪性新生物	48	1.7	先天奇形等	25	0.9
10~14	悪性新生物	59	2.0	不慮の事故	35	1.2	自 殺	20	0.7
15~19	自 殺	176	5.7	不慮の事故	136	4.4	悪性新生物	77	2.5
20~24	自 殺	459	13.3	不慮の事故	138	4.0	悪性新生物	116	3.4
25~29	自 殺	554	14.5	悪性新生物	221	5.8	不慮の事故	152	4.0
30~34	自 殺	1 439	31.0	悪性新生物	497	10.7	不慮の事故	142	3.1
35~39	悪性新生物	953	21.2	自 殺	565	12.6	心 疾 患	179	4.0
40~44	悪性新生物	1 583	40.8	自 殺	529	13.6	心 疾 患	270	7.0
45~49	悪性新生物	2 662	70.5	自 殺	468	12.4	脳血管疾患	435	11.5
50~54	悪性新生物	4 853	116.2	脳血管疾患	759	18.2	心 疾 患	662	15.9
55~59	悪性新生物	8 824	162.5	脳血管疾患	1 385	25.5	心 疾 患	1 331	24.5
60~64	悪性新生物	9 046	217.7	心 疾 患	1 767	42.5	脳血管疾患	1 550	37.3
65~69	悪性新生物	11 878	299.9	心 疾 患	2 927	73.9	脳血管疾患	2 357	59.5
70~74	悪性新生物	16 332	445.4	心 疾 患	5 689	155.1	脳血管疾患	4 263	116.3
75~79	悪性新生物	19 699	641.9	心 疾 患	10 077	328.3	脳血管疾患	7 529	245.3
80~84	悪性新生物	21 152	919.7	心 疾 患	16 425	714.1	脳血管疾患	12 418	539.9
85~89	心 疾 患	20 460	1 506.6	悪性新生物	18 108	1 333.4	脳血管疾患	15 330	1 128.9
90~94	心 疾 患	18 991	2 847.2	脳血管疾患	13 602	2 039.3	肺 炎	13 366	2 003.9
95~99	心 疾 患	8 870	4 668.4	肺 炎	6 824	3 591.6	脳血管疾患	5 714	3 007.4
100歳以上	老 衰	2 083	8 679.2	心 疾 患	1 733	7 220.8	肺 炎	1 510	6 291.7

注: 1) [1] 乳児(0歳)の死因については乳児死因順位に用いる分類項目を使用している。

[2] 死因名は次のように略称した。

心疾患←心疾患(高血圧性を除く)

先天奇形等←先天奇形, 変形及び染色体異常

呼吸障害等←周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害

出血性障害等←胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害

2) 0歳の死亡率は出生10万に対する率である。

3) 総数には年齢不詳を含む。

# 年齢（5歳階級）別

平成18年

第4位			第5位			年 齢
死 因	死亡数	死亡率	死 因	死亡数	死亡率	
肺 炎	50 645	78.4	老 衰	20 878	32.3	総 数
乳幼児突然死 症候群	65	12.2	不慮の事故	58	10.9	0 歳
心 疾 患	34	1.6	肺 炎	25	1.2	1～4
その他新生物	14	0.5	心 疾 患	13	0.5	5～9
心 疾 患	16	0.6	先 天 奇 形 等	13	0.4	10～14
心 疾 患	29	0.9	脳 血 管 疾 患	17	0.6	15～19
心 疾 患	44	1.3	肺 炎	22	0.6	20～24
心 疾 患	72	1.9	脳 血 管 疾 患	32	0.8	25～29
心 疾 患	1 439	31.0	脳 血 管 疾 患	66	1.4	30～34
不慮の事故	158	3.5	脳 血 管 疾 患	129	2.9	35～39
脳 血 管 疾 患	265	6.8	不慮の事故	169	4.4	40～44
心 疾 患	409	10.8	不慮の事故	202	5.3	45～49
自 殺	620	14.9	不慮の事故	314	7.5	50～54
自 殺	845	15.6	不慮の事故	598	11.0	55～59
自 殺	663	16.0	不慮の事故	626	15.1	60～64
不慮の事故	900	22.7	肺 炎	866	21.9	65～69
肺 炎	1 927	52.5	不慮の事故	1 361	37.1	70～74
肺 炎	4 225	137.7	不慮の事故	2 028	66.1	75～79
肺 炎	8 387	364.7	不慮の事故	2 630	114.3	80～84
肺 炎	12 410	913.8	老 衰	3 770	277.6	85～89
悪性新生物	11 223	1 682.6	老 衰	7 338	1 100.1	90～94
老 衰	5 659	2 978.4	悪性新生物	3 424	1 802.1	95～99
脳 血 管 疾 患	999	4 162.5	悪性新生物	402	1 675.0	100歳以上

第8表 人口動態総覧，都道府県（16大都市再掲）別

都道府県 <sup>1)</sup>	出生数			死亡数			(再掲)			新生児 死亡数
	総数	男	女	総数	男	女	乳児死亡数			
							総数	男	女	
全 国	1 092 662	560 434	532 228	1 084 488	581 392	503 096	2 863	1 555	1 308	1 444
北海道	42 204	21 899	20 305	50 232	27 521	22 711	116	60	56	53
青森	10 556	5 301	5 255	14 732	7 954	6 778	32	15	17	22
岩手	10 556	5 325	5 231	14 562	7 687	6 875	26	11	15	19
宮城	19 706	10 041	9 665	19 797	10 676	9 121	41	24	17	23
秋田	7 726	3 999	3 727	13 557	7 190	6 367	21	10	11	11
山形	9 513	4 861	4 652	13 229	7 024	6 205	31	19	12	17
福島	17 542	8 952	8 590	20 528	10 989	9 539	41	18	23	19
茨城	25 128	12 911	12 217	26 062	14 108	11 954	65	30	35	32
栃群	17 647	9 099	8 548	17 947	9 743	8 204	56	29	27	28
群馬	17 061	8 696	8 365	18 061	9 637	8 424	40	22	18	21
埼玉	61 201	31 334	29 867	48 583	26 960	21 623	163	88	75	78
千葉	51 760	26 580	25 180	44 779	24 629	20 150	136	77	59	72
東京	101 671	52 390	49 281	93 588	50 898	42 690	290	156	134	154
神奈川	79 117	40 724	38 393	58 899	33 018	25 881	236	122	114	127
新潟	18 985	9 689	9 296	23 939	12 640	11 299	46	25	21	29
富山	8 965	4 632	4 333	10 963	5 732	5 231	24	12	12	17
石川	10 235	5 156	5 079	10 294	5 405	4 889	25	15	10	11
福井	7 324	3 760	3 564	7 725	3 989	3 736	17	6	11	8
山梨	7 094	3 612	3 482	8 381	4 430	3 951	22	13	9	7
長野	18 773	9 638	9 135	21 117	10 921	10 196	39	28	11	13
岐阜	18 092	9 188	8 904	18 639	10 021	8 618	60	29	31	35
静岡	32 905	16 803	16 102	32 002	17 134	14 868	87	50	37	43
愛知	69 996	35 933	34 063	52 293	28 542	23 751	188	105	83	72
三重	15 816	8 027	7 789	17 157	8 939	8 218	45	25	20	25
滋賀	13 450	7 024	6 426	10 507	5 490	5 017	41	20	21	27
京都	22 100	11 368	10 732	22 418	11 487	10 931	48	19	29	29
大阪	77 639	39 735	37 904	69 007	37 664	31 343	204	114	90	97
兵庫	48 771	25 096	23 675	46 476	24 701	21 775	118	66	52	62
奈良	11 476	5 785	5 691	11 685	6 133	5 552	29	11	18	15
和歌山	7 930	4 003	3 927	11 034	5 855	5 179	22	13	9	10
鳥取	5 186	2 679	2 507	6 328	3 255	3 073	10	8	2	5
島根	6 011	3 090	2 921	8 453	4 357	4 096	16	11	5	8
岡山	17 279	8 974	8 305	18 317	9 626	8 691	32	17	15	15
広島	25 331	13 053	12 278	25 724	13 622	12 102	67	35	32	31
山口	11 692	5 935	5 757	16 414	8 574	7 840	31	17	14	19
徳島	6 257	3 218	3 039	8 721	4 607	4 114	19	17	2	10
香川	8 663	4 446	4 217	10 241	5 364	4 877	24	15	9	9
愛媛	11 752	5 917	5 835	15 335	8 016	7 319	17	7	10	6
高知	6 015	3 064	2 951	8 926	4 634	4 292	18	12	6	14
福岡	45 304	23 323	21 981	43 271	22 730	20 541	90	51	39	46
佐賀	7 647	4 023	3 624	8 446	4 270	4 176	15	7	8	10
長崎	12 409	6 321	6 088	14 941	7 798	7 143	37	21	16	21
熊本	16 189	8 175	8 014	18 084	9 293	8 791	35	21	14	16
大宮	10 156	5 171	4 985	12 092	6 257	5 835	24	14	10	14
分崎	10 093	5 148	4 945	11 144	5 733	5 411	24	15	9	9
鹿児島	15 080	7 792	7 288	18 829	9 675	9 154	53	33	20	17
沖縄	16 483	8 461	8 022	9 124	4 851	4 273	39	22	17	15
外国	176	83	93	192	121	71	1	-	1	1
不詳	.	.	.	1 713	1 492	221	2	-	2	2
(再掲)										
東京都	67 729	34 911	32 818	65 145	35 528	29 617	197	109	88	108
札幌市	14 731	7 596	7 135	13 267	7 224	6 043	34	13	21	16
仙台市	9 363	4 776	4 587	6 494	3 495	2 999	21	11	10	11
さいたま市	10 885	5 613	5 272	7 563	4 251	3 312	31	18	13	14
千葉市	8 004	4 117	3 887	5 921	3 306	2 615	22	10	12	16
横浜市	32 571	16 903	15 668	23 459	13 216	10 243	94	43	51	52
川崎市	13 647	7 055	6 592	8 017	4 709	3 308	38	24	14	22
静岡市	5 771	2 971	2 800	6 073	3 277	2 796	18	11	7	8
名古屋	19 772	10 070	9 702	17 291	9 525	7 766	49	28	21	19
京都市	11 845	6 109	5 736	12 389	6 320	6 069	30	12	18	17
大阪市	22 946	11 915	11 031	23 753	13 261	10 492	62	33	29	31
堺市 <sup>2)</sup>	5 884	3 009	2 875	4 741	2 471	2 270	10	5	5	4
神戸市	12 720	6 571	6 149	12 450	6 649	5 801	35	18	17	18
広島市	11 155	5 730	5 425	8 116	4 343	3 773	24	14	10	11
九州	8 457	4 322	4 135	9 585	5 156	4 429	21	10	11	11
福岡	13 222	6 845	6 377	8 910	4 734	4 176	24	17	7	10

注：1)都道府県別の表章は出生は子の住所、死亡は死亡者の住所、死産は母の住所、婚姻は夫の住所、離婚は別居する前の住所による。  
2)堺市は平成18年4月1日から指定都市となったため、4月分からの累計である。

自 然 増 加 数	死 産 数			周 産 期 死 亡 数			婚 姻 件 数	離 婚 件 数	都 道 府 県 <sup>1)</sup>
	総 数	自然死産	人工死産	総 数	妊娠満22週 以後の死産	早 産 期 生 児 死 亡			
8 174	30 912	13 419	17 493	5 096	4 043	1 053	730 973	257 484	全 国
△ 8 028	1 551	610	941	213	173	40	30 211	13 182	北 海 道
△ 4 176	382	166	216	68	50	18	6 642	3 044	青 森 県
△ 4 006	338	131	207	53	38	15	6 458	2 391	岩 手 県
△ 91	610	238	372	101	86	15	13 035	4 757	宮 城 県
△ 5 831	262	110	152	46	37	9	4 785	1 899	秋 田 県
△ 3 716	267	117	150	45	33	12	5 661	2 036	山 形 県
△ 2 986	525	202	323	71	54	17	10 512	4 152	福 島 県
△ 934	744	318	426	116	90	26	16 029	5 877	茨 城 県
△ 300	502	217	285	86	66	20	11 331	4 083	栃 木 県
△ 1 000	448	200	248	96	79	17	10 877	3 899	群 馬 県
12 618	1 603	797	806	313	261	52	40 907	14 117	埼 玉 県
6 981	1 337	706	631	241	192	49	36 389	12 440	千 葉 県
8 083	2 783	1 244	1 539	477	365	112	89 413	26 350	東 京 都
20 218	1 875	929	946	397	305	92	57 046	18 448	神 奈 川 県
△ 4 954	531	254	277	100	77	23	11 437	3 660	新 潟 県
△ 1 998	248	141	107	61	48	13	5 342	1 768	富 山 県
△ 59	245	144	101	52	44	8	6 267	2 007	石 川 県
△ 401	181	69	112	31	23	8	4 224	1 342	福 井 県
△ 1 287	176	76	100	26	20	6	4 588	1 707	山 梨 県
△ 2 344	485	219	266	83	71	12	11 755	3 872	長 野 県
△ 547	461	207	254	99	74	25	10 772	3 447	岐 阜 県
903	840	401	439	136	108	28	21 663	7 282	静 岡 県
17 703	1 702	780	922	298	246	52	46 374	13 861	愛 知 県
△ 1 341	426	197	229	83	64	19	9 889	3 508	三 重 県
2 943	329	190	139	83	62	21	7 705	2 459	滋 賀 県
△ 318	559	224	335	90	72	18	14 477	5 092	京 都 府
8 632	2 150	886	1 264	335	270	65	53 143	20 465	大 阪 府
2 295	1 247	580	667	192	148	44	31 044	10 914	兵 庫 県
△ 209	340	159	181	71	62	9	7 000	2 549	和 歌 山 県
△ 3 104	206	80	126	37	28	9	5 000	2 261	和 歌 山 県
△ 1 142	157	69	88	24	20	4	2 983	1 201	鳥 取 県
△ 2 442	160	56	104	24	18	6	3 305	1 199	島 根 県
△ 1 038	523	193	330	73	63	10	10 292	3 739	岡 山 県
△ 393	629	256	373	92	71	21	16 209	5 484	広 島 県
△ 4 722	338	156	182	60	44	16	7 218	2 729	山 口 県
△ 2 464	168	62	106	26	19	7	3 648	1 557	徳 島 県
△ 1 578	244	125	119	38	30	8	5 290	2 034	香 川 県
△ 3 583	356	120	236	45	41	4	7 460	3 056	愛 媛 県
△ 2 911	178	59	119	29	18	11	3 612	1 720	高 知 県
2 033	1 495	505	990	177	143	34	30 006	11 293	福 岡 県
△ 799	228	86	142	29	22	7	4 270	1 658	佐 賀 県
△ 2 532	488	174	314	59	43	16	7 009	2 927	長 崎 県
△ 1 895	576	197	379	74	61	13	9 313	3 632	熊 本 県
△ 1 936	337	124	213	53	40	13	6 201	2 478	大 宮 市
△ 1 051	447	142	305	36	29	7	6 211	2 675	大 宮 市
△ 3 749	596	211	385	68	59	9	9 117	3 583	鹿 児 島 県
7 359	615	281	334	83	73	10	8 853	3 650	沖 縄 県
△ 16	11	4	7	1	-	1	.	.	外 国
.	13	7	6	5	3	2	.	.	不 詳
2 584	1 915	845	1 070	317	240	77	65 569	18 693	(再掲) 東京都
1 464	544	211	333	66	53	13	11 644	4 698	東 京 都 区
2 869	269	95	174	32	26	6	6 674	2 072	札幌市
3 322	248	107	141	53	43	10	7 346	2 161	仙台市
2 083	171	105	66	42	29	13	5 554	1 914	さいたま市
9 112	752	381	371	154	119	35	23 038	7 414	千葉市
5 630	283	146	137	69	52	17	10 876	2 944	横 濱 市
△ 302	171	77	94	29	22	7	3 970	1 385	川 崎 市
2 481	529	230	299	79	65	14	14 933	4 695	静 岡 市
△ 544	306	110	196	42	31	11	8 613	3 052	名 古 屋 市
△ 807	706	266	440	92	74	18	18 313	7 014	京 都 府
1 143	155	71	84	29	26	3	3 585	1 364	大 阪 市
270	310	140	170	44	29	15	8 531	3 209	堺 市
3 039	261	112	149	40	33	7	7 412	2 380	神 戸 市
△ 1 128	267	76	191	35	25	10	5 565	2 293	広 島 市
4 312	460	150	310	48	39	9	9 859	3 244	北 九 州 市

第9表 人口動態総覧（率），都道府県（16大都市再掲）別

都道府県	出生率	死亡率	乳児死亡率	新生児死亡率	自然増加率
	(人口千対)		(出生千対)		(人口千対)
全国	8.7	8.6	2.6	1.3	0.1
北海道	7.6	9.0	2.7	1.3	△ 1.4
青森	7.4	10.4	3.0	2.1	△ 2.9
岩手	7.7	10.6	2.5	1.8	△ 2.9
宮城	8.4	8.4	2.1	1.2	△ 0.0
秋田	6.8	12.0	2.7	1.4	△ 5.2
山形	7.9	11.0	3.3	1.8	△ 3.1
福島	8.5	9.9	2.3	1.1	△ 1.4
茨城	8.6	8.9	2.6	1.3	△ 0.3
栃木	8.9	9.0	3.2	1.6	△ 0.2
群馬	8.6	9.1	2.3	1.2	△ 0.5
埼玉県	8.8	7.0	2.7	1.3	1.8
千葉県	8.6	7.5	2.6	1.4	1.2
東京都	8.2	7.5	2.9	1.5	0.7
神奈川県	9.1	6.8	3.0	1.6	2.3
新潟県	7.9	9.9	2.4	1.5	△ 2.1
富山県	8.2	10.0	2.7	1.9	△ 1.8
石川県	8.8	8.9	2.4	1.1	△ 0.1
福井県	9.1	9.6	2.3	1.1	△ 0.5
山梨県	8.2	9.7	3.1	1.0	△ 1.5
長野県	8.7	9.8	2.1	0.7	△ 1.1
岐阜県	8.8	9.0	3.3	1.9	△ 0.3
静岡県	8.8	8.6	2.6	1.3	0.2
愛知県	9.8	7.3	2.7	1.0	2.5
三重県	8.6	9.4	2.8	1.6	△ 0.7
滋賀県	9.9	7.7	3.0	2.0	2.2
京都府	8.5	8.6	2.2	1.3	△ 0.1
大阪府	9.0	8.0	2.6	1.2	1.0
兵庫県	8.9	8.4	2.4	1.3	0.4
奈良県	8.2	8.3	2.5	1.3	△ 0.1
和歌山県	7.8	10.8	2.8	1.3	△ 3.0
鳥取県	8.6	10.5	1.9	1.0	△ 1.9
島根県	8.2	11.5	2.7	1.3	△ 3.3
岡山県	8.9	9.5	1.9	0.9	△ 0.5
広島県	8.9	9.0	2.6	1.2	△ 0.1
山口県	7.9	11.2	2.7	1.6	△ 3.2
徳島県	7.8	10.9	3.0	1.6	△ 3.1
香川県	8.6	10.2	2.8	1.0	△ 1.6
愛媛県	8.1	10.6	1.4	0.5	△ 2.5
高知県	7.6	11.3	3.0	2.3	△ 3.7
福岡県	9.0	8.6	2.0	1.0	0.4
佐賀県	8.9	9.8	2.0	1.3	△ 0.9
長崎県	8.5	10.2	3.0	1.7	△ 1.7
熊本県	8.9	9.9	2.2	1.0	△ 1.0
大宮	8.5	10.1	2.4	1.4	△ 1.6
鹿児島	8.8	9.7	2.4	0.9	△ 0.9
鹿儿岛	8.7	10.8	3.5	1.1	△ 2.2
沖縄	12.1	6.7	2.4	0.9	5.4
(再掲)					
東京都区部	7.9	7.6	2.9	1.6	0.3
札幌市	7.8	7.0	2.3	1.1	0.8
仙台市	9.1	6.3	2.2	1.2	2.8
さいたま市	9.2	6.4	2.8	1.3	2.8
千葉市	8.6	6.4	2.7	2.0	2.2
横浜川崎市	9.0	6.5	2.9	1.6	2.5
静岡市	10.2	6.0	2.8	1.6	4.2
名古屋市	8.1	8.5	3.1	1.4	△ 0.4
名古屋市	8.9	7.8	2.5	1.0	1.1
名古屋市	8.0	8.4	2.5	1.4	△ 0.4
大阪市	8.7	9.0	2.7	1.4	△ 0.3
堺市 <sup>3)</sup>	...	...	...	...	...
神戸市	8.3	8.1	2.8	1.4	0.2
広島市	9.6	7.0	2.2	1.0	2.6
北九州	8.5	9.7	2.5	1.3	△ 1.1
福岡市	9.4	6.3	1.8	0.8	3.0

注：1) 死産率は死産数を出産数（死産数に出生数を加えたもの）で除している。  
 2) 周産期死亡数を出産数（妊娠満22週以後の死産数に出生数を加えたもの）で除している。  
 3) 堺市は、平成18年4月1日から指定都市になったため率は算出してない。

死産率 <sup>1)</sup>	自然死産率		人工死産率	周産期死亡率 <sup>2)</sup>	婚姻率	離婚率	都道府県
	( 出 産 千 対 )						
27.5	11.9	15.6	4.6	5.8	2.04	全 国	
35.4	13.9	21.5	5.0	5.4	2.36	北 海 道	
34.9	15.2	19.7	6.4	4.7	2.15	青 森 県	
31.0	12.0	19.0	5.0	4.7	1.75	岩 手 県	
30.0	11.7	18.3	5.1	5.6	2.03	宮 城 県	
32.8	13.8	19.0	5.9	4.2	1.68	秋 田 県	
27.3	12.0	15.3	4.7	4.7	1.70	山 形 県	
29.1	11.2	17.9	4.0	5.1	2.01	福 島 県	
28.8	12.3	16.5	4.6	5.5	2.00	茨 城 県	
27.7	12.0	15.7	4.9	5.7	2.05	栃 木 県	
25.6	11.4	14.2	5.6	5.5	1.96	群 馬 県	
25.5	12.7	12.8	5.1	5.9	2.02	埼 千 県	
25.2	13.3	11.9	4.6	6.1	2.07	東 京 都	
26.6	11.9	14.7	4.7	7.2	2.12	神 奈 川 県	
23.2	11.5	11.7	5.0	6.5	2.12	新 潟 県	
27.2	13.0	14.2	5.2	4.7	1.52	富 山 県	
26.9	15.3	11.6	6.8	4.9	1.61	石 川 県	
23.4	13.7	9.6	5.1	5.4	1.73	福 山 県	
24.1	9.2	14.9	4.2	5.2	1.66	山 梨 県	
24.2	10.5	13.8	3.7	5.3	1.97	山 梨 県	
25.2	11.4	13.8	4.4	5.5	1.80	山 梨 県	
24.8	11.2	13.7	5.4	5.2	1.67	岐 阜 県	
24.9	11.9	13.0	4.1	5.8	1.96	静 岡 県	
23.7	10.9	12.9	4.2	6.5	1.94	愛 知 県	
26.2	12.1	14.1	5.2	5.4	1.91	三 重 県	
23.9	13.8	10.1	6.1	5.7	1.80	滋 賀 県	
24.7	9.9	14.8	4.1	5.6	1.96	京 都 府	
26.9	11.1	15.8	4.3	6.1	2.37	大 阪 府	
24.9	11.6	13.3	3.9	5.6	1.98	兵 庫 県	
28.8	13.5	15.3	6.2	5.0	1.81	奈 良 県	
25.3	9.8	15.5	4.6	4.9	2.21	和 歌 山 県	
29.4	12.9	16.5	4.6	5.0	2.00	鳥 取 県	
25.9	9.1	16.9	4.0	4.5	1.64	島 根 県	
29.4	10.8	18.5	4.2	5.3	1.93	岡 山 県	
24.2	9.9	14.4	3.6	5.7	1.93	広 島 県	
28.1	13.0	15.1	5.1	4.9	1.86	山 口 県	
26.1	9.6	16.5	4.1	4.6	1.94	徳 島 県	
27.4	14.0	13.4	4.4	5.3	2.03	香 川 県	
29.4	9.9	19.5	3.8	5.1	2.10	愛 媛 県	
28.7	9.5	19.2	4.8	4.6	2.19	高 知 県	
31.9	10.8	21.2	3.9	6.0	2.25	福 岡 県	
29.0	10.9	18.0	3.8	5.0	1.93	佐 賀 県	
37.8	13.5	24.3	4.7	4.8	2.00	長 崎 県	
34.4	11.8	22.6	4.6	5.1	1.99	熊 本 県	
32.1	11.8	20.3	5.2	5.2	2.07	大 分 県	
42.4	13.5	28.9	3.6	5.4	2.34	宮 崎 県	
38.0	13.5	24.6	4.5	5.2	2.06	鹿 児 島 県	
36.0	16.4	19.5	5.0	6.5	2.68	沖 縄 県	
27.5	12.1	15.4	4.7	7.7	2.18	( 再 掲 ) 東 京 都 区 部	
35.6	13.8	21.8	4.5	6.2	2.49	札 幌 市	
27.9	9.9	18.1	3.4	6.5	2.02	仙 台 市	
22.3	9.6	12.7	4.8	6.2	1.83	さい たま 市	
20.9	12.8	8.1	5.2	6.0	2.06	千 葉 市	
22.6	11.4	11.1	4.7	6.4	2.06	横 濱 市	
20.3	10.5	9.8	5.0	8.1	2.19	川 崎 市	
28.8	13.0	15.8	5.0	5.6	1.95	静 岡 市	
26.1	11.3	14.7	4.0	6.7	2.11	名 古 屋 市	
25.2	9.1	16.1	3.5	5.8	2.07	京 都 市	
29.8	11.2	18.6	4.0	6.9	2.66	大 阪 市	
...	...	...	...	...	...	...	
23.8	10.7	13.0	3.5	5.6	2.10	大 塚 市	
22.9	9.8	13.1	3.6	6.4	2.06	神 戸 市	
30.6	8.7	21.9	4.1	5.6	2.31	北 九 州 市	
33.6	11.0	22.7	3.6	7.0	2.29	福 岡 市	

第10表 主な死因の死亡数・死亡率（人口10万対），都道府県

都道府県	全死因		02100 悪性新生物		09200 心疾患		09300 脳血管疾患		10200 肺炎	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
全 国	1 084 488	859.7	329 198	260.9	172 875	137.0	128 203	101.6	107 189	85.0
北海道	50 232	899.4	16 108	288.4	8 206	146.9	5 662	101.4	4 785	85.7
青森	14 732	1 038.2	4 454	313.9	2 428	171.1	1 913	134.8	1 478	104.2
岩手	14 562	1 062.9	4 008	292.6	2 492	181.9	2 301	168.0	1 327	96.9
宮城	19 797	844.9	6 007	256.4	3 161	134.9	2 701	115.3	1 809	77.2
秋田	13 557	1 199.7	3 873	342.7	2 000	177.0	1 928	170.6	1 491	131.9
山形	13 229	1 101.5	3 836	319.4	2 088	173.9	1 789	149.0	1 469	122.3
福島	20 528	991.7	5 890	284.5	3 562	172.1	2 702	130.5	1 945	94.0
茨城	26 062	888.3	7 608	259.3	4 283	146.0	3 480	118.6	2 556	87.1
栃木	17 947	902.8	5 163	259.7	2 967	149.2	2 487	125.1	1 787	89.9
群馬	18 061	909.9	5 272	265.6	2 882	145.2	2 277	114.7	1 921	96.8
埼玉県	48 583	695.1	15 545	222.4	8 360	119.6	5 761	82.4	4 647	66.5
千葉県	44 779	746.4	13 750	229.2	7 629	127.2	5 248	87.5	4 243	70.7
東京都	93 588	754.4	30 212	243.5	14 741	118.8	10 765	86.8	8 774	70.7
神奈川県	58 899	676.2	19 361	222.3	8 925	102.5	6 767	77.7	5 489	63.0
新潟県	23 939	994.1	7 275	302.1	3 641	151.2	3 448	143.2	2 050	85.1
富山県	10 963	998.5	3 152	287.1	1 538	140.1	1 418	129.1	1 274	116.0
石川県	10 294	885.1	3 158	271.5	1 684	144.8	1 206	103.7	1 093	94.0
福井県	7 725	956.1	2 234	276.5	1 315	162.7	910	112.6	835	103.3
山梨県	8 381	966.7	2 410	278.0	1 337	154.2	998	115.1	774	89.3
長野県	21 117	980.4	5 707	264.9	3 381	157.0	3 214	149.2	1 843	85.6
岐阜県	18 639	903.1	5 392	261.2	3 278	158.8	2 156	104.5	1 782	86.3
静岡県	32 002	860.5	9 360	251.7	4 929	132.5	4 036	108.5	2 920	78.5
愛知県	52 293	732.8	15 928	223.2	8 285	116.1	6 094	85.4	4 987	69.9
三重県	17 157	936.5	4 716	257.4	2 791	152.3	2 022	110.4	1 633	89.1
滋賀県	10 507	770.9	3 204	235.1	1 652	121.2	1 209	88.7	1 016	74.5
京都府	22 418	862.9	6 995	269.2	3 802	146.3	2 393	92.1	2 222	85.5
大阪府	69 007	798.5	22 855	264.5	10 699	123.8	6 529	75.5	7 112	82.3
兵庫県	46 476	844.1	14 752	267.9	7 256	131.8	4 762	86.5	4 429	80.4
奈良県	11 685	830.5	3 738	265.7	2 139	152.0	1 163	82.7	1 165	82.8
和歌山県	11 034	1 078.6	3 271	319.7	1 868	182.6	1 121	109.6	1 047	102.3
鳥取県	6 328	1 054.7	1 831	305.2	1 018	169.7	827	137.8	595	99.2
島根県	8 453	1 154.8	2 440	333.3	1 342	183.3	1 019	139.2	833	113.8
岡山県	18 317	945.1	5 093	262.8	2 929	151.1	2 271	117.2	2 101	108.4
広島県	25 724	903.9	7 578	266.3	4 208	147.9	2 883	101.3	2 696	94.7
山口県	16 414	1 115.8	4 678	318.0	2 687	182.7	2 016	137.0	1 910	129.8
徳島県	8 721	1 088.8	2 367	295.5	1 359	169.7	1 047	130.7	981	122.5
香川県	10 241	1 021.0	2 879	287.0	1 703	169.8	1 031	102.8	1 254	125.0
愛媛県	15 335	1 055.4	4 170	287.0	2 906	200.0	1 726	118.8	1 584	109.0
高知県	8 926	1 134.2	2 462	312.8	1 471	186.9	1 158	147.1	922	117.2
福岡県	43 271	862.8	13 900	277.2	5 483	109.3	4 500	89.7	4 556	90.8
佐賀県	8 446	983.2	2 628	305.9	1 215	141.4	1 025	119.3	918	106.9
長崎県	14 941	1 022.7	4 457	305.1	2 354	161.1	1 744	119.4	1 622	111.0
熊本県	18 084	988.7	5 091	278.3	2 810	153.6	2 140	117.0	1 882	102.9
大宮市	12 092	1 008.5	3 452	287.9	1 857	154.9	1 488	124.1	1 243	103.7
分岐市	11 144	973.3	3 086	269.5	1 827	159.6	1 363	119.0	1 093	95.5
鹿嶋市	18 829	1 083.4	5 051	290.6	2 906	167.2	2 536	145.9	2 151	123.8
沖縄県	9 124	670.4	2 521	185.2	1 297	95.3	803	59.0	833	61.2
外 国	192	.	38	.	14	.	13	.	8	.
(再掲)										
東京都	65 145	760.3	21 147	246.8	10 148	118.4	7 450	87.0	5 772	67.4
札幌市	13 267	702.3	4 564	241.6	2 066	109.4	1 405	74.4	1 117	59.1
仙台市	6 494	632.3	2 087	203.2	968	94.3	776	75.6	566	55.1
さいたま市	7 563	639.3	2 425	205.0	1 357	114.7	850	71.9	720	60.9
千葉市	5 921	636.7	1 950	209.7	912	98.1	586	63.0	566	60.9
横浜市	23 459	651.3	7 848	217.9	3 503	97.3	2 614	72.6	2 210	61.4
川崎市	8 018	597.5	2 725	203.1	1 184	88.2	931	69.4	665	49.6
静岡市	6 073	852.9	1 855	260.5	970	136.2	716	100.6	566	79.5
名古屋市	17 291	777.8	5 402	243.0	2 797	125.8	1 906	85.7	1 574	70.8
京都市	12 389	841.1	3 895	264.4	2 112	143.4	1 336	90.7	1 176	79.8
大阪市	23 753	901.4	7 702	292.3	3 344	126.9	2 270	86.1	2 430	92.2
堺市	4 741	...	1 660	...	713	...	461	...	480	...
神戸市	12 450	814.3	4 163	272.3	1 761	115.2	1 168	76.4	1 097	71.7
広島市	8 116	700.9	2 532	218.7	1 391	120.1	879	75.9	737	63.6
北九州市	9 585	967.2	3 198	322.7	1 262	127.3	1 057	106.7	919	92.7
福岡市	8 910	630.1	2 965	209.7	1 030	72.8	780	55.2	877	62.0

注：1) 全国値には、住所地不詳を含む。

2) 堺市は平成18年4月1日から指定都市となったため、4月分からの累計である。なお、死亡率は算出してない。

(16大都市再掲) 別

平成18年

20100 不慮の事故		20200 自殺		18100 老衰		14200 腎不全		11300 肝疾患		10400 慢性閉塞性肺疾患		都道府県							
死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率								
38	145	30.2	29	887	23.7	27	745	22.0	21	182	16.8	16	248	12.9	14	341	11.4	全	1)国
1	601	28.7	1	471	26.3	782	14.0	1	260	22.6	606	10.9	553	9.9	北	海	道	森	
486	34.2	440	31.0	379	26.7	355	25.0	193	13.6	119	8.4	青	森	手	城	田	形		
568	41.5	468	34.2	389	28.4	272	19.9	176	12.8	199	14.5	岩	岩	宮	秋	山	島		
718	30.6	602	25.7	514	21.9	350	14.9	233	9.9	209	8.9	宮	宮	城	木	馬	城		
528	46.7	482	42.7	366	32.4	286	25.3	134	11.9	144	12.7	秋	秋	木	馬	馬	馬		
494	41.1	381	31.7	429	35.7	251	20.9	148	12.3	177	14.7	山	山	玉	葉	京	川		
681	32.9	618	29.9	710	34.3	350	16.9	238	11.5	282	13.6	福	福	葉	京	川	川		
1	010	34.4	731	24.9	749	25.5	461	15.7	383	13.1	343	11.7	茨	茨	東	東	東	東	
625	31.4	493	24.8	577	29.0	342	17.2	272	13.7	210	10.6	栃	栃	神	神	神	神		
672	33.9	503	25.3	457	23.0	310	15.6	235	11.8	263	13.2	群	群	新	新	新	新		
1	462	20.9	1	449	20.7	993	14.2	841	12.0	739	10.6	582	8.3	埼	埼	埼	埼		
1	511	25.2	1	291	21.5	1	230	20.5	778	13.0	655	10.9	531	8.9	千	千	千	千	
2	429	19.6	2	502	20.2	1	993	16.1	1	720	13.9	1	282	10.3	東	東	東	東	
1	983	22.8	1	683	19.3	1	411	16.2	940	10.8	1	284	14.7	767	8.8	神	神	神	神
993	41.2	738	30.6	785	32.6	396	16.4	251	10.4	300	12.5	新	新	湯	湯	湯	湯		
505	46.0	293	26.7	243	22.1	212	19.3	128	11.7	110	10.0	富	富	山	山	山	山		
409	35.2	265	22.8	260	22.4	186	16.0	121	10.4	132	11.3	石	石	川	川	川	川		
341	42.2	181	22.4	208	25.7	147	18.2	97	12.0	126	15.6	福	福	井	井	井	井		
310	35.8	248	28.6	304	35.1	164	18.9	128	14.8	125	14.4	山	山	梨	梨	梨	梨		
818	38.0	492	22.8	963	44.7	341	15.8	231	10.7	290	13.5	長	長	野	野	野	野		
742	35.9	471	22.8	683	33.1	326	15.8	238	11.5	261	12.6	岐	岐	阜	阜	阜	阜		
1	176	31.6	790	21.2	1	216	32.7	695	18.7	387	10.4	418	11.2	静	静	岡	岡		
2	020	28.3	1	452	20.3	1	332	18.7	1	038	14.5	703	9.9	558	7.8	愛	愛		
741	40.4	398	21.7	812	44.3	368	20.1	193	10.5	246	13.4	三	三	重	重	重	重		
411	30.2	277	20.3	253	18.6	199	14.6	120	8.8	191	14.0	滋	滋	賀	賀	賀	賀		
620	23.9	523	20.1	537	20.7	462	17.8	281	10.8	341	13.1	京	京	都	都	都	都		
2	091	24.2	1	965	22.7	988	11.4	1	446	16.7	1	506	17.4	893	10.3	大	大		
1	734	31.5	1	219	22.1	1	179	21.4	962	17.5	763	13.9	649	11.8	兵	兵	庫	庫	
392	27.9	253	18.0	236	16.8	195	13.9	158	11.2	191	13.6	奈	奈	良	良	良	良		
422	41.3	255	24.9	408	39.9	204	19.9	165	16.1	189	18.5	和	和	山	山	山	山		
254	42.3	148	24.7	185	30.8	114	19.0	59	9.8	74	12.3	鳥	鳥	取	取	取	取		
271	37.0	232	31.7	285	38.9	163	22.3	119	16.3	102	13.9	島	島	根	根	根	根		
753	38.9	368	19.0	502	25.9	409	21.1	265	13.7	232	12.0	岡	岡	山	山	山	山		
900	31.6	649	22.8	670	23.5	557	19.6	383	13.5	340	11.9	広	広	島	島	島	島		
491	33.4	376	25.6	425	28.9	326	22.2	233	15.8	185	12.6	山	山	口	口	口	口		
340	42.4	152	19.0	255	31.8	190	23.7	143	17.9	142	17.7	徳	徳	島	島	島	島		
437	43.6	222	22.1	275	27.4	239	23.8	169	16.8	137	13.7	香	香	川	川	川	川		
594	40.9	385	26.5	486	33.4	340	23.4	225	15.5	195	13.4	愛	愛	媛	媛	媛	媛		
393	49.9	216	27.4	208	26.4	193	24.5	126	16.0	118	15.0	高	高	知	知	知	知		
1	696	33.8	1	287	25.7	794	15.8	800	16.0	620	12.4	607	12.1	福	福	岡	岡		
328	38.2	233	27.1	199	23.2	127	14.8	106	12.3	134	15.6	佐	佐	賀	賀	賀	賀		
507	34.7	395	27.0	306	20.9	306	20.9	197	13.5	233	15.9	長	長	崎	崎	崎	崎		
651	35.6	501	27.4	501	27.4	433	23.7	235	12.8	288	15.7	熊	熊	本	本	本	本		
435	36.3	299	24.9	360	30.0	272	22.7	155	12.9	194	16.2	大	大	分	分	分	分		
455	39.7	361	31.5	287	25.1	228	19.9	145	12.7	175	15.3	宮	宮	崎	崎	崎	崎		
671	38.6	506	29.1	424	24.4	453	26.1	256	14.7	309	17.8	鹿	鹿	児	児	児	児		
314	23.1	371	27.3	192	14.1	162	11.9	222	16.3	186	13.7	沖	沖	島	島	島	島		
9	.	9	.	-	.	2	.	2	.	1	.	外	外	国	国	国	国		
1	731	20.2	1	778	20.8	1	280	14.9	1	244	14.5	1	329	15.5	945	11.0	(再掲)	都	
413	21.9	408	21.6	128	6.8	288	15.2	157	8.3	134	7.1	東	東	京	京	京	京		
204	19.9	205	20.0	167	16.3	120	11.7	99	9.6	63	6.1	札	札	台	台	台	台		
215	18.2	216	18.3	127	10.7	113	9.6	114	9.6	87	7.4	仙	仙	台	台	台	台		
182	19.6	183	19.7	121	13.0	94	10.1	95	10.2	65	7.0	さ	さ	い	い	い	い		
822	22.8	645	17.9	546	15.2	404	11.2	561	15.6	306	8.5	千	千	葉	葉	葉	葉		
285	21.2	257	19.2	147	11.0	111	8.3	216	16.1	108	8.0	横	横	浜	浜	浜	浜		
217	30.5	143	20.1	192	27.0	117	16.4	71	10.0	87	12.2	川	川	崎	崎	崎	崎		
598	26.9	453	20.4	326	14.7	418	18.8	225	10.1	183	8.2	静	静	岡	岡	岡	岡		
299	20.3	299	20.3	273	18.5	251	17.0	156	10.6	190	12.9	名	名	古	古	古	古		
756	28.7	708	26.9	325	12.3	502	19.1	612	23.2	305	11.6	京	京	都	都	都	都		
136	...	138	...	69	...	106	...	88	...	49	...	大	大	阪	阪	阪	阪		
482	31.5	347	22.7	272	17.8	227	14.8	234	15.3	188	12.3	神	神	戸	戸	戸	戸		
244	21.1	230	19.9	182	15.7	157	13.6	115	9.9	106	9.2	広	広	島	島	島	島		
347	35.0	242	24.4	146	14.7	170	17.2	158	15.9	131	13.2	北	北	九	九	九	九		
346	24.5	351	24.8	105	7.4	154	10.9	131	9.3	125	8.8	福	福	岡	岡	岡	岡		



## 合計特殊出生率について

### 1. 期間合計特殊出生率とコーホート合計特殊出生率

- 合計特殊出生率は「15～49歳までの女子の年齢別出生率を合計したもの」であり、次の2つの種類がある。

#### A 「期間」合計特殊出生率

ある期間（1年間）の出生状況に着目したもので、その時点における各年齢（15～49歳）の女性の出生率を合計したもの。

どの年齢の女子の人数も同じとして算定される出生率なので、女子人口の年齢構成の違いを除いた「その年の出生率」であり、年次比較、国際比較、地域比較に用いられている。

#### B 「コーホート」合計特殊出生率

ある世代の出生状況に着目したもので、同一年生まれ（コーホート）の女性の各年齢（15～49歳）の出生率を過去から積み上げたもの。

「その世代の出生率」である。

- 実際に「一人の女性が一生の間に生む子どもの数」はBのコーホート合計特殊出生率であるが、それに相当するものとして一般に用いられているのはAの期間合計特殊出生率である。

これは、各年齢の出生率が世代（コーホート）によらず同じであれば、この二つの「合計特殊出生率」は同じ値になるからである。

- 晩婚化・晩産化が進行している状況では、各世代の結婚や出産の行動に違いがあり、各年齢の出生率が世代により異なるため、別々の世代の年齢別出生率の合計であるAの期間合計特殊出生率は、同一世代のBのコーホート合計特殊出生率の値と異なる。

### 2. コーホート合計特殊出生率（ごく粗い計算）

コーホート合計特殊出生率は同一世代の女性の出生率を過去から積み上げるため、その世代が50歳になるまで得られないが、現段階で得られる到達年齢までのコーホート合計特殊出生率を、5歳階級ごとに1つの世代とみてごく粗く計算した。

例えば1967～1971年生まれ（平成18年における35～39歳の世代）についての39歳までのコーホート合計特殊出生率は約1.44であり、実際にこの世代の「一人の女性が一生の間に生む子どもの数」は、少なくともこの水準を上回ると見込まれる。

平成18年の期間合計特殊出生率は、現在、晩産化の進行中であり、出産を終えた世代の高年齢時における低い出生率と、晩婚化・晩産化により出産を先送りしている世代の若年齢時の低い出生率の合計であって、「実際に1人の女性が一生の間に生む子どもの数」より低く現れている。

① 期間合計特殊出生率の年次推移(年齢階級別内訳)

	昭和51年 (1976)	56年 (1981)	61年 (1981)	平成3年 (1991)	8年 (1996)	13年 (2001)	平成18年 (2006)
母の年齢	1.85	1.74	1.72	1.53	1.43	1.33	1.32
15～19歳	0.0186	0.0196	0.0196	0.0188	0.0188	0.0289	0.0250
20～24	0.4825	0.3697	0.3016	0.2244	0.1988	0.1980	0.1871
25～29	0.9266	0.9074	0.8557	0.6956	0.5631	0.4782	0.4352
30～34	0.3446	0.3669	0.4473	0.4722	0.4895	0.4425	0.4516
35～39	0.0694	0.0693	0.0891	0.1115	0.1395	0.1659	0.1886
40～44	0.0097	0.0082	0.0094	0.0118	0.0155	0.0199	0.0286
45～49	0.0004	0.0003	0.0003	0.0003	0.0004	0.0005	0.0005

② 各世代別(コホート)にみた母の年齢階級別出生率(ごく粗い計算)

	1957-1961 45～49歳の世代	1962-1966 40～44歳の世代	1967-1971 35～39歳の世代	1972-1976 30～34歳の世代	1977-1981 25～29歳の世代	1982-1986 20～24歳の世代	1987-1991 15～19歳の世代
母の年齢							
15～19歳	0.0186	0.0196	0.0196	0.0188	0.0188	0.0289	0.0250
20～24	0.3697	0.3016	0.2244	0.1988	0.1980	0.1871	
25～29	0.8557	0.6956	0.5631	0.4782	0.4352		
30～34	0.4722	0.4895	0.4425	0.4516			
35～39	0.1395	0.1659	0.1886				
40～44	0.0199	0.0286					
45～49	0.0005						
コホート 合計特殊出生率	1.88	1.70	1.44	1.15	0.65	0.22	0.02

③ コホート合計特殊出生率(母の到達年齢別)(ごく粗い計算)

	1957-1961 45～49歳の世代	1962-1966 40～44歳の世代	1967-1971 35～39歳の世代	1972-1976 30～34歳の世代	1977-1981 25～29歳の世代	1982-1986 20～24歳の世代	1987-1991 15～19歳の世代
母の年齢							
15～19歳	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.03	0.02
15～24	0.39	0.32	0.24	0.22	0.22	0.22	
15～29	1.24	1.02	0.81	0.70	0.65		
15～34	1.72	1.51	1.25	1.15			
15～39	1.86	1.67	1.44				
15～44	1.88	1.70					
15～49	1.88						

\*「15～19歳の世代」は、昭和62～平成3年生まれ、「20～24歳の世代」は、昭和57～61年生まれ、  
「25～29歳の世代」は、昭和52～56年生まれ、「30～34歳の世代」は、昭和47～51年生まれ、  
「35～39歳の世代」は、昭和42～46年生まれ、「40～44歳の世代」は、昭和37～41年生まれ、  
「45～49歳の世代」は、昭和32～36年生まれ。

### 3. 出生数の動向と(期間)合計特殊出生率の動向の関係

- 出生数は次の3つの要素に分解できるので、その動向は、「(期間)合計特殊出生率」の動向だけでなく、「女子人口(15～49歳)」と「(15～49歳女子人口の)年齢構成の違い」の動向にもよる。各要素の動向は次頁のとおりである。

$\text{出生数} = \underbrace{\text{女子人口 (15～49歳)}}_{\substack{\text{(15～49歳のどの年齢の女子の人数} \\ \text{も同じとした場合に見込まれる出生数)}}} \times \frac{\text{(期間)合計特殊出生率}}{35^*} \times \text{(15～49歳女子人口の)年齢構成の違い}$
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <math>\uparrow</math>                  (出生数÷見込まれる出生数)             </div> </div>

\* (期間)合計特殊出生率は15～49歳までの35歳の年齢別出生率を加えたものであるため、女子人口(15～49歳)を乗じて出生数となるよう35で除している。

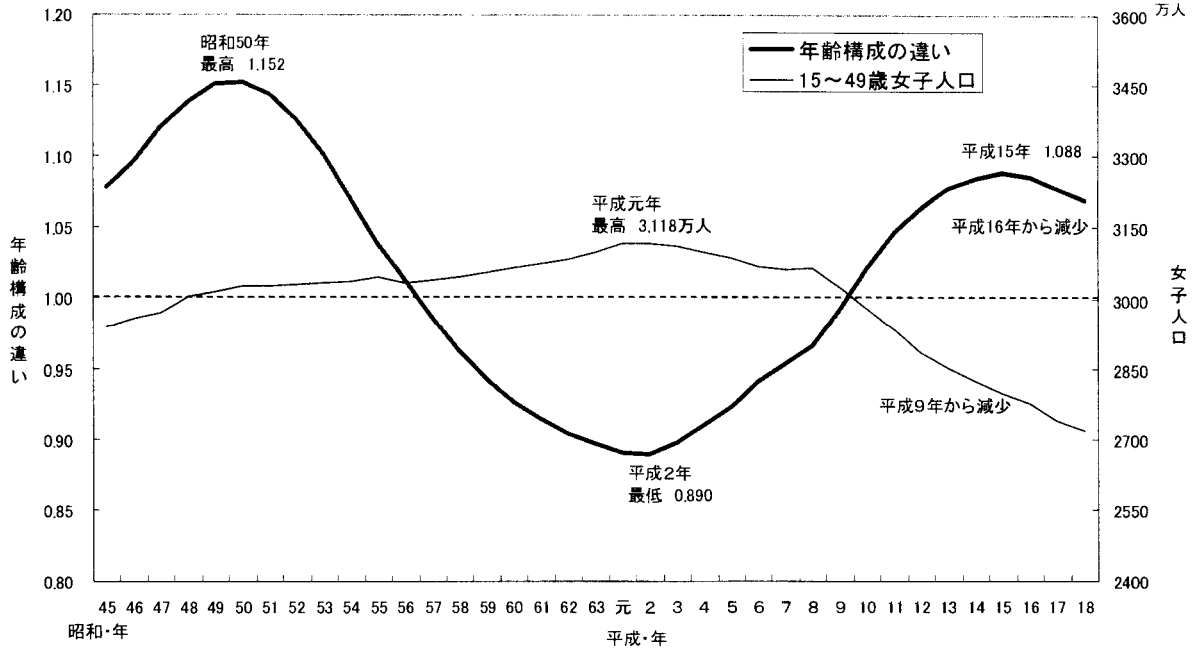
平成17年	$106.3\text{万人} = 2,738\text{万人} \times \frac{1.26}{35} \times 1.078$
	↓2.8%      ↓△0.8%      ↓4.5%      ↓△0.8%
平成18年	$109.3\text{万人} = 2,716\text{万人} \times \frac{1.32}{35} \times 1.069$

※合計特殊出生率が変わらなかった場合、出生数は△1.6%であったと見込まれる。

(説明)

- (1) その年の女子の年齢別出生率の合計である「(期間)合計特殊出生率」は、「その年の女子人口(15～49歳)について、仮にどの年齢の女子の人数も同じとした場合のその年の出生率」である。  
 このため、「女子人口(15～49歳)」に「(期間)合計特殊出生率/35」を乗じたものは、「15～49歳のどの年齢の女子の人数も同じとした場合に見込まれる出生数」となる。
- (2) 「(15～49歳女子人口の)年齢構成の違い」とは、「その年の女子の人数が年齢により異なっている状況(年齢構成)が、どの年齢の女子の人数も同じという状況(年齢構成)とどのくらい違うかを表すもの」である。  
 どの年齢の女子の人数も同じ場合には1となり、概ね、出生率の高い年齢の女子の人数が他の年齢より多い場合には1より大きく、少ない場合には1より小さくなる。
- (3) 「女子人口(15～49歳)」と「年齢構成の違い」が変わらない場合には、出生数は「(期間)合計特殊出生率」が高ければ多く、低ければ少なくなる。  
 また、「女子人口(15～49歳)」と「(期間)合計特殊出生率」が変わらない場合には、出生数は、「年齢構成の違い」が1より大きければ見込まれる出生数より多く、1より小さければ見込まれる出生数より少ない。

「女子人口(15～49歳)」と「年齢構成の違い」の動向



年次	実数				対前年増減率(%)			
	出生数 ①×②/35×③	15～49歳 女子人口 (千人) ①	合計特殊 出生率 ②	年齢構成 の違い ③	出生数	15～49歳 女子人口 (千人) ①	合計特殊 出生率 ②	年齢構成 の違い ③
昭和 45年	1 934 239	29 400	2.13	1.079	...	...	...	...
46	2 000 973	29 589	2.16	1.097	3.5	0.6	1.1	1.7
47	2 038 682	29 700	2.14	1.122	1.9	0.4	△ 0.7	2.2
48	2 091 983	30 035	2.14	1.139	2.6	1.1	△ 0.1	1.6
49	2 029 989	30 128	2.05	1.151	△ 3.0	0.3	△ 4.3	1.1
50	1 901 440	30 251	1.91	1.152	△ 6.3	0.4	△ 6.8	0.1
51	1 832 617	30 271	1.85	1.144	△ 3.6	0.1	△ 3.0	△ 0.7
52	1 755 100	30 289	1.80	1.126	△ 4.2	0.1	△ 2.8	△ 1.6
53	1 708 643	30 319	1.79	1.101	△ 2.6	0.1	△ 0.5	△ 2.2
54	1 642 580	30 351	1.77	1.071	△ 3.9	0.1	△ 1.2	△ 2.8
55	1 576 889	30 438	1.75	1.038	△ 4.0	0.3	△ 1.3	△ 3.0
56	1 529 455	30 333	1.74	1.013	△ 3.0	△ 0.3	△ 0.3	△ 2.4
57	1 515 392	30 404	1.77	0.986	△ 0.9	0.2	1.6	△ 2.7
58	1 508 687	30 463	1.80	0.963	△ 0.4	0.2	1.7	△ 2.3
59	1 489 780	30 549	1.81	0.942	△ 1.3	0.3	0.6	△ 2.1
60	1 431 577	30 644	1.76	0.927	△ 3.9	0.3	△ 2.6	△ 1.6
61	1 382 946	30 726	1.72	0.914	△ 3.4	0.3	△ 2.3	△ 1.4
62	1 346 658	30 834	1.69	0.904	△ 2.6	0.4	△ 1.9	△ 1.1
63	1 314 006	30 983	1.66	0.896	△ 2.4	0.5	△ 2.0	△ 0.9
平成 元	1 246 802	31 177	1.57	0.890	△ 5.1	0.6	△ 5.1	△ 0.6
2	1 221 585	31 154	1.54	0.890	△ 2.0	△ 0.1	△ 1.9	△ 0.1
3	1 223 245	31 094	1.53	0.897	0.1	△ 0.2	△ 0.5	0.9
4	1 208 989	30 974	1.50	0.910	△ 1.2	△ 0.4	△ 2.1	1.4
5	1 188 282	30 865	1.46	0.924	△ 1.7	△ 0.4	△ 2.9	1.6
6	1 238 328	30 681	1.50	0.942	4.2	△ 0.6	2.9	1.9
7	1 187 064	30 614	1.42	0.954	△ 4.1	△ 0.2	△ 5.2	1.3
8	1 206 555	30 651	1.43	0.967	1.6	0.1	0.2	1.3
9	1 191 665	30 249	1.39	0.993	△ 1.2	△ 1.3	△ 2.6	2.8
10	1 203 147	29 809	1.38	1.021	1.0	△ 1.5	△ 0.3	2.8
11	1 177 669	29 330	1.34	1.047	△ 2.1	△ 1.6	△ 3.0	2.6
12	1 190 547	28 821	1.36	1.064	1.1	△ 1.7	1.3	1.6
13	1 170 662	28 513	1.33	1.077	△ 1.7	△ 1.1	△ 1.9	1.3
14	1 153 855	28 240	1.32	1.085	△ 1.4	△ 1.0	△ 1.1	0.7
15	1 123 610	27 998	1.29	1.088	△ 2.6	△ 0.9	△ 2.1	0.4
16	1 110 721	27 773	1.29	1.086	△ 1.1	△ 0.8	△ 0.1	△ 0.2
17	1 062 530	27 385	1.26	1.078	△ 4.3	△ 1.4	△ 2.2	△ 0.8
18	1 092 662	27 165	1.32	1.069	2.8	△ 0.8	4.5	△ 0.8

注：1) 「合計特殊出生率」の転換年は昭和49年  
 2) 「年齢構成の違い」の転換年は昭和51年、平成3年、平成16年  
 3) 「15～49歳女子人口」の転換年は平成9年

人口動態総覧（率）の国際比較

国名	出生率 (人口千対)	死亡率 (人口千対)	乳児死亡率 (出生千対)	婚姻率 (人口千対)	離婚率 (人口千対)	合計特殊 出生率
日本	'06) 8.7	'06) 8.6	'06) 2.6	'06) 5.8	'06) 2.04	'06) 1.32
韓国	'06) *9.3	'05) 5.0	…	'06) 6.8	'06) 2.6	'06) *1.13
シンガポール	'05) 10.0	'05) 4.3	'05) 2.1	'05) 6.5	'05) 1.94	'05) 1.25
アメリカ	'05) *14.0	'05) *8.2	'05) *6.8	'05) *7.5	'05) *3.6	'05) *2.05
フランス	'06) *13.1	'06) *8.4	'06) *3.8	'06) *4.3	'04) 2.16	'06) *2.01
ドイツ	'04) 8.6	'04) 9.9	'04) 4.1	'04) 4.8	'04) 2.59	'04) 1.36
イタリア	'04) 9.7	'04) 9.4	'04) 4.1	'04) *4.3	'03) 0.73	'04) 1.33
スウェーデン	'04) 11.2	'04) 10.1	'04) 3.1	'04) 4.8	'04) 2.24	'04) 1.75
イギリス	'04) 12.0	'04) 9.8	'03) 5.3	'03) 5.1	'03) 2.80	'03) 1.71

注：\*印は暫定値である。

資料：(1) 日本は、人口動態統計月報年計（概数）の概況

(2) 韓国は、韓国統計庁資料

(3) シンガポールは、シンガポール統計局資料

(4) アメリカは、NCHS, National Vital Statistics Reports

(5) フランスは、フランス国立統計経済研究所資料

(6) フランスを除くヨーロッパの各国は、UN, Demographic Yearbook 2004

分母に用いた人口

① 年齢5歳階級・男女別（日本人人口）

年齢階級	総数	男	女
総数	126 154 000	61 568 000	64 586 000
0～4歳	5 451 000	2 792 000	2 659 000
5～9	5 872 000	3 011 000	2 861 000
10～14	5 961 000	3 055 000	2 906 000
15～19	6 348 000	3 260 000	3 089 000
20～24	7 115 000	3 656 000	3 459 000
25～29	7 791 000	3 966 000	3 825 000
30～34	9 440 000	4 792 000	4 648 000
35～39	9 087 000	4 600 000	4 487 000
40～44	7 833 000	3 953 000	3 881 000
45～49	7 586 000	3 808 000	3 777 000
50～54	8 333 000	4 158 000	4 175 000
55～59	10 752 000	5 323 000	5 429 000
60～64	8 092 000	3 935 000	4 156 000
65～69	7 585 000	3 625 000	3 961 000
70～74	6 786 000	3 119 000	3 667 000
75～79	5 393 000	2 324 000	3 069 000
80～84	3 644 000	1 343 000	2 300 000
85～89	1 933 000	575 000	1 358 000
90～94	888 000	221 000	667 000
95～99	235 000	45 000	190 000
100～	29 000	4 000	24 000

資料：「平成18年10月1日現在推計人口」（総務省統計局）

② 都道府県・男女別人口（日本人人口）

都道府県	総 数	男	女
全 国	126 154 000	61 568 000	64 586 000
北海道	5 585 000	2 651 000	2 934 000
青森	1 419 000	670 000	749 000
岩手	1 370 000	656 000	713 000
宮城	2 343 000	1 140 000	1 203 000
秋田	1 130 000	534 000	597 000
山形	1 201 000	579 000	622 000
福島	2 070 000	1 007 000	1 063 000
茨城	2 934 000	1 461 000	1 473 000
栃木	1 988 000	989 000	999 000
群馬	1 985 000	977 000	1 008 000
埼玉	6 989 000	3 523 000	3 466 000
千葉	5 999 000	3 003 000	2 996 000
東京	12 405 000	6 182 000	6 223 000
神奈川	8 710 000	4 402 000	4 308 000
新潟	2 408 000	1 166 000	1 242 000
富山	1 098 000	529 000	568 000
石川	1 163 000	562 000	602 000
福井	808 000	391 000	416 000
山梨	867 000	425 000	442 000
長野	2 154 000	1 050 000	1 105 000
岐阜	2 064 000	1 001 000	1 064 000
静岡	3 719 000	1 831 000	1 887 000
愛知	7 136 000	3 583 000	3 553 000
三重	1 832 000	891 000	941 000
滋賀	1 363 000	674 000	690 000
京都	2 598 000	1 248 000	1 349 000
大阪	8 642 000	4 192 000	4 450 000
兵庫	5 506 000	2 638 000	2 868 000
奈良	1 407 000	669 000	738 000
和歌山	1 023 000	482 000	541 000
鳥取	600 000	287 000	313 000
島根	732 000	349 000	383 000
岡山	1 938 000	931 000	1 008 000
広島	2 846 000	1 376 000	1 470 000
山口	1 471 000	694 000	778 000
徳島	801 000	381 000	420 000
香川	1 003 000	482 000	521 000
愛媛	1 453 000	685 000	768 000
高知	787 000	370 000	417 000
福岡	5 015 000	2 376 000	2 639 000
佐賀	859 000	405 000	454 000
長崎	1 461 000	682 000	778 000
熊本	1 829 000	861 000	968 000
大分	1 199 000	565 000	634 000
宮崎	1 145 000	538 000	607 000
鹿児島	1 738 000	813 000	925 000
沖縄	1 361 000	668 000	694 000

資料：「平成18年10月1日現在推計人口」（総務省統計局）

1.6 大都市・男女別人口（総人口）

1.6 大都市 (再掲)	総 数	男	女
東京都区部	8 568 000	4 249 000	4 319 000
札幌市	1 889 000	891 000	998 000
仙台市	1 027 000	501 000	527 000
さいたま市	1 183 000	594 000	589 000
千葉市	930 000	466 000	465 000
横浜市	3 602 000	1 813 000	1 789 000
川崎市	1 342 000	694 000	648 000
静岡市	712 000	347 000	366 000
名古屋市	2 223 000	1 104 000	1 119 000
京都市	1 473 000	702 000	771 000
大阪市	2 635 000	1 282 000	1 353 000
堺市	832 000	401 000	432 000
神戸市	1 529 000	725 000	804 000
広島市	1 158 000	561 000	597 000
北九州市	991 000	465 000	525 000
福岡市	1 414 000	679 000	736 000

資料：各指定都市及び東京都が推計した平成18年10月1日現在の総人口である。

(付表)  
年齢調整死亡率の算出に用いた人口  
基準人口（昭和60年モデル人口）

年齢階級	基準人口	年齢階級	基準人口
	人		人
0～4歳	8 180 000	50～54歳	7 616 000
5～9	8 338 000	55～59	6 581 000
10～14	8 497 000	60～64	5 546 000
15～19	8 655 000	65～69	4 511 000
20～24	8 814 000	70～74	3 476 000
25～29	8 972 000	75～79	2 441 000
30～34	9 130 000	80～84	1 406 000
35～39	9 289 000	85歳以上	784 000
40～44	9 400 000		
45～49	8 651 000	総 数	120 287 000

③ 年齢5歳階級別人口（日本人人口）の対前年比較

年齢階級	平成18年	平成17年	対前年増減
	人	人	人
総数	126 154 000	126 204 902	△ 50 902
0～4歳	5 451 000	5 547 395	△ 96 395
5～9	5 872 000	5 899 562	△ 27 562
10～14	5 961 000	5 990 607	△ 29 607
15～19	6 348 000	6 523 659	△ 175 659
20～24	7 115 000	7 192 988	△ 77 988
25～29	7 791 000	8 097 834	△ 306 834
30～34	9 440 000	9 592 355	△ 152 355
35～39	9 087 000	8 592 843	494 157
40～44	7 833 000	7 968 660	△ 135 660
45～49	7 586 000	7 650 199	△ 64 199
50～54	8 333 000	8 743 818	△ 410 818
55～59	10 752 000	10 223 859	528 141
60～64	8 092 000	8 526 772	△ 434 772
65～69	7 585 000	7 422 967	162 033
70～74	6 786 000	6 634 850	151 150
75～79	5 393 000	5 261 100	131 900
80～84	3 644 000	3 409 137	234 863
85～89	1 933 000	1 848 497	84 503
90～94	888 000	841 086	46 914
95～99	235 000	211 356	23 644
100～	29 000	25 358	3 642

資料：「平成18年10月1日現在推計人口」（総務省統計局）  
「平成17年国勢調査」（総務省統計局）-按分済み人口

④ 年齢5歳階級別人口（日本人女子人口）の対前年比較

年齢階級	平成18年	平成17年	対前年増減
	人	人	人
15～19歳	3 089 000	3 168 857	△ 79 857
20～24	3 459 000	3 504 081	△ 45 081
25～29	3 825 000	3 979 000	△ 154 000
30～34	4 648 000	4 726 334	△ 78 334
35～39	4 487 000	4 245 875	241 125
40～44	3 881 000	3 947 867	△ 66 867
45～49	3 777 000	3 812 550	△ 35 550
計	27 165 000	27 384 564	△ 219 564

資料：「平成18年10月1日現在推計人口」（総務省統計局）  
「平成17年国勢調査」（総務省統計局）-按分済み人口

## 「平成18年人口動態統計月報年計(概数)の概況」について

1 平成18年1月～12月の人口動態統計月報(概数)を取りまとめ、出生率や死亡等の集計・分析を行ったもの。

2 ポイントは以下のとおり。

(1) 出生数は、109万3千人（対前年3万人増加）。

➤ 合計特殊出生率（平成18年における15～49歳の女性の年齢別出生率の合計）は、1.32に上昇。昭和42年（丙午の翌年）以来の上昇幅。このため、15～49歳女子人口が減少し、高出生率年代人口が更に減少する中、減少の続いていた出生数は増加。

➤ 出生数は、減少の続いていた20歳代前半と第1子、第2子、第3子以上が増加。30歳代前半も再び増加。合計特殊出生率は、低下の続いていた20歳代と第1子、第3子以上が上昇。30歳代前半と第2子も再び上昇。

〔平成18年における「35～39歳」世代のこれまでのコーホート合計特殊出生率（この世代の女性の出生率を過去から積み上げたもの）は、約1.44で、実際に「一人の女性が一生の間に生む子どもの数」は、この水準を上回る見込み。〕

(2) 死亡数は、108万4千人（対前年1千人増加）。

➤ 高齢者数が増加したが、前年のインフルエンザ流行の影響などから、横ばい。戦後では、昭和22年に次いで多く、4年連続100万人超。

➤ 死因別の状況

① 悪性新生物による死亡数32万9千人。明治32年以来最高。

② 自殺による死亡数2万9千9百人。9年連続約3万人。

③ 交通事故による死亡数9千人。53年ぶりに1万人を下回る。

(3) 自然増加数（出生数－死亡数）は、8千人（対前年2万9千人増加）。

➤ 出生数増加と死亡数横ばいのため、前年のマイナスから再びプラス。

(4) 婚姻件数は、73万1千組（対前年1万7千組増加）。

➤ 平均初婚年齢は、夫30.0歳、妻28.2歳で、夫妻とも上昇。

➤ 妻の初婚率は、20歳代前半は前年の横ばいから上昇。20歳代後半と30歳代は前年に続き上昇。

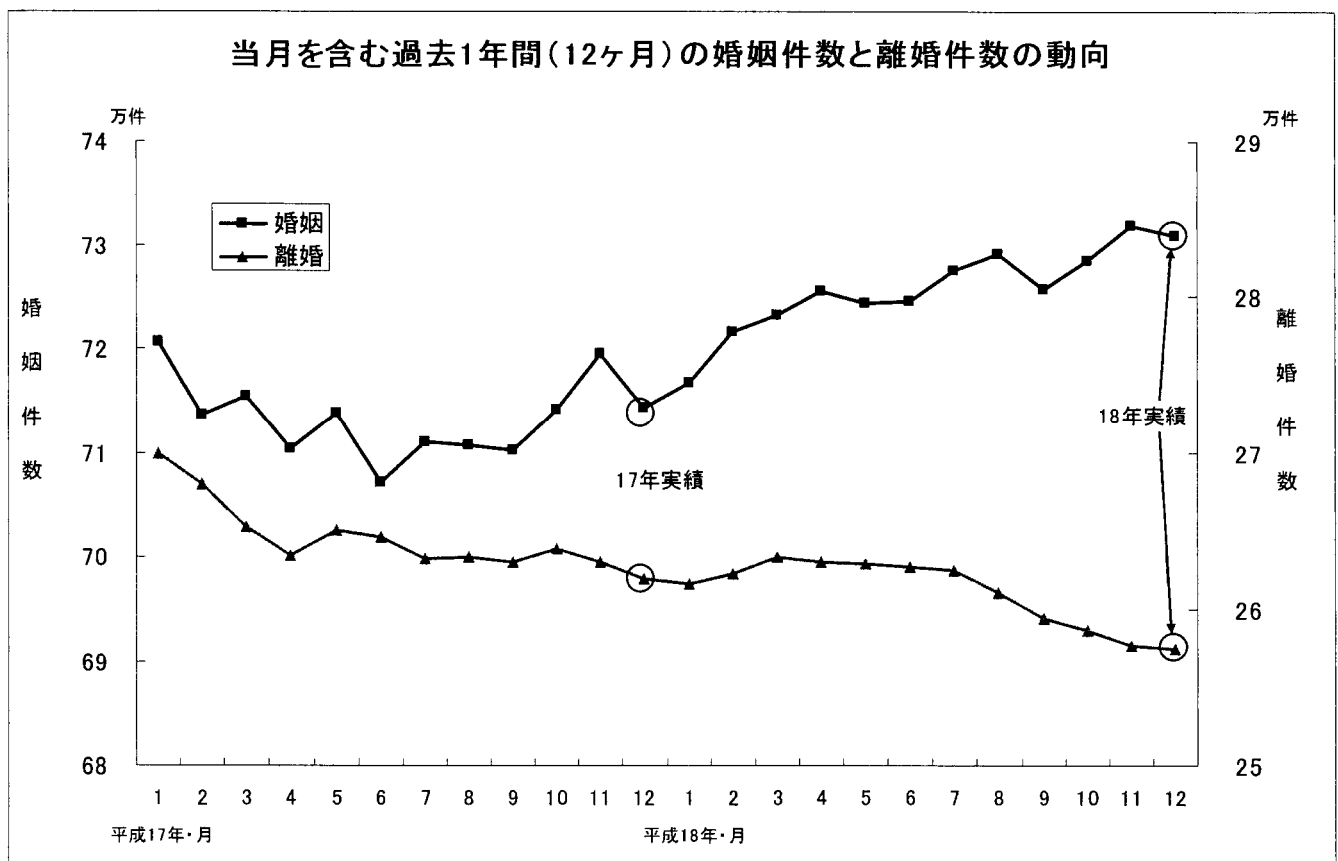
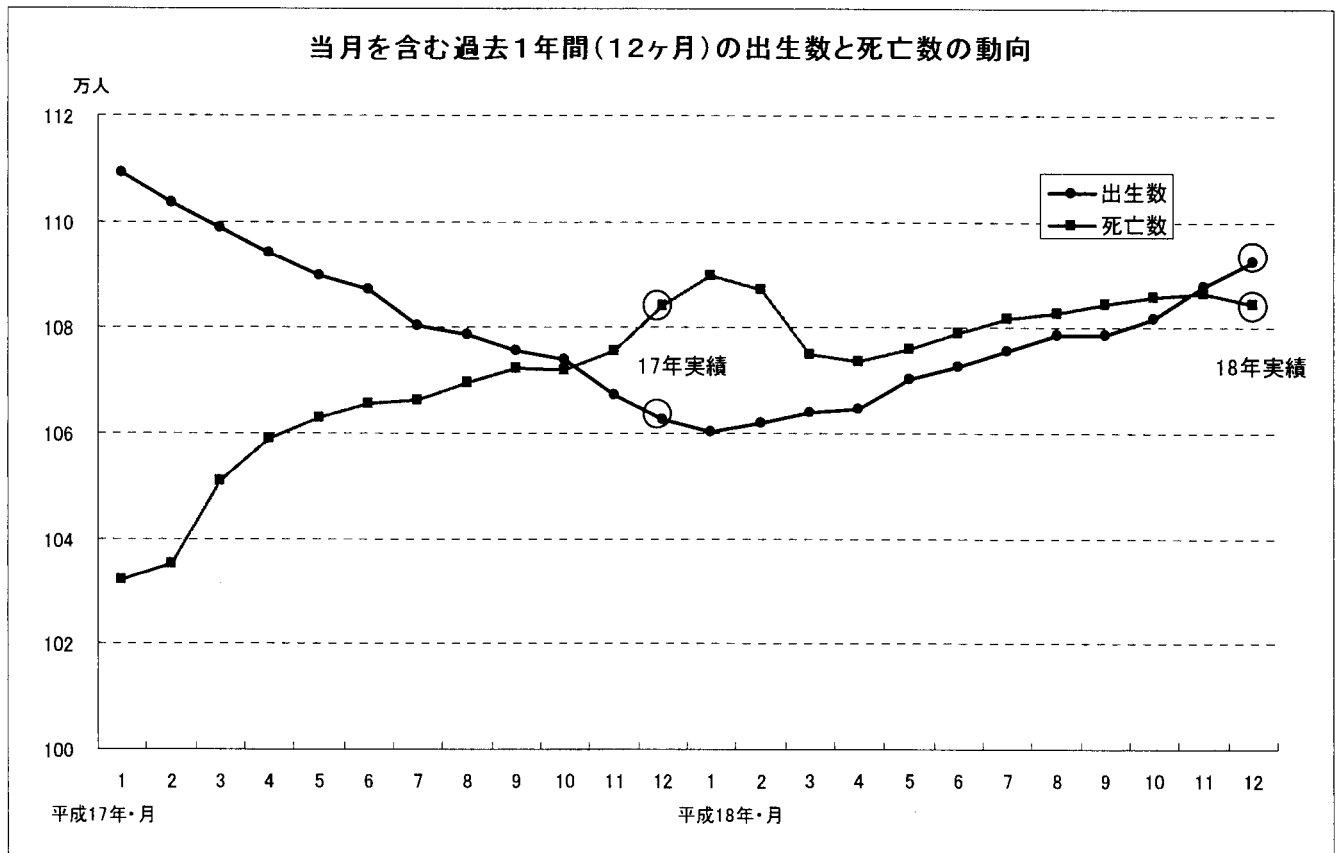
(5) 離婚件数は、25万7千組（対前年4千組減少）。

➤ 過去最高となった平成14年の後、平成15年から4年連続減少。

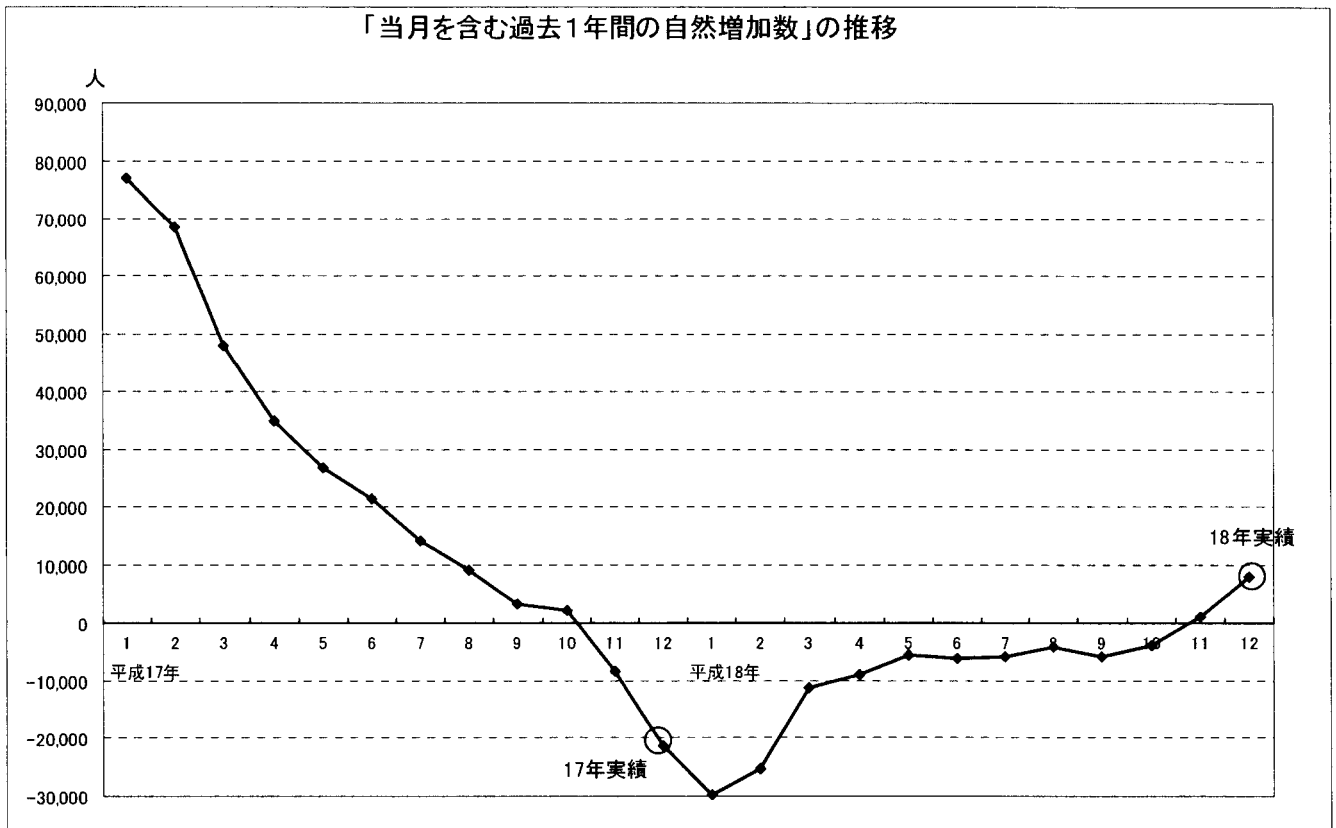
➤ 1年未満と5～10年を除くすべての同居期間別件数が減少。



人口動態統計月報（概数）における、出生数・死亡数・婚姻件数  
離婚件数・自然増加数の当月を含む過去1年間（12ヶ月）の動向



「当月を含む過去1年間の自然増加数」の推移



「当月を含む過去一年間（12ヶ月）の統計」のグラフの見方

1. グラフの各月の値は「当月を含む過去一年間（12ヶ月）の統計」であり、冬は死亡が多い等の季節変動の影響が除かれている。
2. グラフ上、当月の値が前月の値より上昇、低下していることは、当月分（1ヶ月分）が前年同月分（1ヶ月分）より増加、減少していることを示し、上昇幅、低下幅は、前年同月分との差である。
3. 平成17年12月の値（平成17年実績）から平成18年1月の値、2月の値、・・・とみていくと、平成18年12月の値（平成18年実績）までの動向がわかる。
4. 「当月を含む過去一年間の自然増加数」は、「当月の翌月1日現在の人口」と「一年前の同日現在の人口」の差のうちの自然増加数をあらわす。人口の差には、自然増加数以外に社会移動（国内外の移動）がある。

(例)

「平成18年10月1日現在人口」と「平成17年10月1日現在人口」の差は、

- ① 「平成17年10月分から平成18年9月分までの出生数」と「同じ期間の死亡数」の差  
(=平成18年9月を含む過去一年間の自然増加数)
  - ② 「同じ期間の入国数」と「同じ期間の出国数」の差 (=社会移動)
- を合わせたものである。

## 期間合計特殊出生率とコーホート合計特殊出生率の関係

### ①期間合計特殊出生率の年次推移(年齢階級別内訳)

	昭和51年 (1976)	56年 (1981)	61年 (1981)	平成3年 (1991)	8年 (1996)	13年 (2001)	平成18年 (2006)
母の年齢	1.85	1.74	1.72	1.53	1.43	1.33	1.32
15～19歳	0.0186	0.0196	<b>0.0196</b>	0.0188	0.0188	0.0289	0.0250
20～24	0.4825	0.3697	0.3016	<b>0.2244</b>	0.1988	0.1980	0.1871
25～29	0.9266	0.9074	0.8557	0.6956	<b>0.5631</b>	0.4782	0.4352
30～34	0.3446	0.3669	0.4473	0.4722	0.4895	<b>0.4425</b>	0.4516
35～39	0.0694	0.0693	0.0891	0.1115	0.1395	0.1659	<b>0.1886</b>
40～44	0.0097	0.0082	0.0094	0.0118	0.0155	0.0199	0.0286
45～49	0.0004	0.0003	0.0003	0.0003	0.0004	0.0005	<b>0.0007</b>

### ②各世代別(コーホート)にみた出生率の年次推移(ごく粗い計算)

(①表では、各世代は5年経過するごとに5歳分年齢が上昇しているのので、各世代別(コーホート)にみた出生率の年次推移(ごく粗い計算)として整理)

	昭和51年 (1976)	56年 (1981)	61年 (1981)	平成3年 (1991)	8年 (1996)	13年 (2001)	平成18年 (2006)	コーホート 合計特殊 出生率
世代(生まれ)	1.85	1.74	1.72	1.53	1.43	1.33	1.32	
昭和62年～平成3年							0.0250	0.02
昭和57年～61年						0.0289	0.1871	0.22
52～56					0.0188	0.1980	0.4352	0.65
47～51				0.0188	0.1988	0.4782	0.4516	1.15
42～46		<b>コーホート</b>	<b>0.0196</b>	<b>0.2244</b>	<b>0.5631</b>	<b>0.4425</b>	<b>0.1886</b>	1.44
37～41		0.0196	0.3016	0.6956	0.4895	0.1659	0.0286	1.70
32～36	0.0186	0.3697	0.8557	0.4722	0.1395	0.0199	0.0007	1.88

期間

### ③コーホート合計特殊出生率(母の到達年齢別)(ごく粗い計算)

(②表の各世代の到達年齢までの出生率の累計)

世代(生まれ)	15～19歳	15～24歳	15～29歳	15～34歳	15～39歳	15～44歳	15～49歳
昭和62年～平成3年	0.02						
昭和57年～61年	0.03	0.22					
52～56	0.02	0.22	0.65				
47～51	0.02	0.22	0.70	1.15			
42～46	0.02	0.24	0.81	1.25	1.44		
37～41	0.02	0.32	1.02	1.51	1.67	1.70	
32～36	0.02	0.39	1.24	1.72	1.86	1.88	1.88

## ICD-10 (2003年版) 準拠の適用について

疾病及び関連保健問題の国際統計分類について、わが国では、これまで第10回修正を使用してきましたが、医学の進歩等に対応するため一部改正が行われ2003年までの改正が蓄積されたICD-10(第2版)が2004年10月にWHOより勧告されました。わが国においてもWHOの最新の勧告の国内への適用(ICD-10(2003年版)準拠)について、平成17年1月の厚生労働大臣の諮問に対し、平成17年7月に社会保障審議会(統計分科会)から答申がなされ、平成17年10月の総務省告示第1147号により新たな分類を平成18年1月1日から適用することとされました。

### 主な改正点

ICD-10(2003年版)準拠の主な改正理由は、WHOの勧告に基づくもの、わが国の法令改正等に基づく名称の変更、医学の進歩等に対応した名称の変更であり、その内容は次のとおりです。

#### ①WHOの勧告に基づくもの

##### ア 新たな分類項目の設定(特殊目的用コード利用)

- ・重症急性呼吸器症候群(SARS)
- ・抗生物質に耐性の細菌性病原体

##### イ 項目の移動

- ・胃ポリープ 新生物から消化器系の疾患へ移動
- ・大腸<結腸>のポリープ 新生物から消化器系の疾患へ移動 等

##### ウ 分類項目の廃止及び新設(特殊目的用コード以外)

廃止 8

新設 13

- ・肝臓提供者<ドナー>、心臓提供者<ドナー> 等

##### エ 死亡統計における原死因選択ルール等の変更

死亡統計における原死因の選択について、コーディングルールの一部変更が行われ、また適用例が具体的に示される等の変更が行われました。

<原死因とは>

- ・直接に死亡を引き起こした一連の事象の起因となった疾病もしくは損傷
- ・致命傷を負わせた事故もしくは暴力の状況

<分類ルール>

原死因は死亡届に添付される死亡診断書の情報から、ルールに基づき選択、決定される。

#### ②法令の改正等に基づく名称の変更

- 精神分裂症 → 統合失調症
- 痴呆 → 認知症

#### ③医学の進歩等に対応した名称の変更

- 慢性関節リウマチ → 関節リウマチ
- 妊娠中毒症 → 妊娠高血圧症候群

## 初婚者数の動向と合計初婚率の動向の関係

- 初婚者数は次の3つの要素から計算されるため、その動向は、「合計初婚率」の動向のほか、「女子人口（16～49歳）」と「（16～49歳女子人口の）年齢構成の違い」の動向にもよる。

$$\text{初婚者数} = \text{女子人口 (16～49歳)} \times \frac{\text{(期間) 合計初婚率}}{34^*} \times \text{(16～49歳女子人口の) 年齢構成の違い}$$

↑

(16～49歳のどの年齢の女子の人数も同じとした場合に見込まれる初婚者数)

↑

(初婚者数÷見込まれる初婚者数)

\* (期間) 合計初婚率は16～49歳までの34個の年齢別初婚者を加えたものであるため、女子人口（16～49歳）を乗じて初婚者数となるよう34で除している。

その年の女子の49歳までの年齢別初婚率の合計である「合計初婚率」は、「その年の女子人口（16～49歳）について、仮にどの年齢の女子の人数も同じとした場合のその年の49歳までの初婚率」である。

	初婚者数 (16～49歳)	=	女子人口 (16～49歳)	×	合計初婚率 34	×	年齢構成の違い (16～49歳)
平成16年	60.3万人	=	2,716万人	×	$\frac{0.733}{34}$	×	1.031
	↓ △1.0%		↓ △1.4%		↓ 2.3%		↓ △1.9%
平成17年	59.7万人	=	2,679万人	×	$\frac{0.749}{34}$	×	1.011

※合計初婚率が変わらなかった場合、初婚者数は△3.3%であったと見込まれる。

### 「女子人口（16～49歳）」と「年齢構成の違い」の動向

